
会 告 ・ 通 知

一般社団法人電子情報通信学会平成 25 年定時社員総会報告

平成 25 年 5 月 25 日午後 2 時から、機械振興会館地下 2 階ホールにおいて、一般社団法人電子情報通信学会平成 25 年定時社員総会を開催した。

代議員総数 111 名に対し、出席代議員数 93 名（出席者 42 名、委任状 51 通）で、議決が可能な代議員総数の過半数の出席数に達した。

これにより、会長（理事）吉田 進が議長となって、下記の議案について報告及び審議を行い、審議議案については原案どおり満場一致で可決承認した。

記

第 1 号議案 平成 24 年度事業報告（532 ページ参照）

第 2 号議案 平成 24 年度決算書（審議）及び監査報告（563 ページ参照）

決算書について原案どおり満場一致で承認した。また、事業報告及び決算書は、本会の状況を正しく示しているものと認める旨の監査報告があった。

第 3 号議案 公益目的支出計画実施報告書及び監査報告

標記について報告があった。また、公益目的支出計画実施報告書は、本会の状況を正しく示しているものと認める旨の監査報告があった。

第 4 号議案 平成 25 年度事業計画（573 ページ参照）

第 5 号議案 平成 25 年度収支予算（586 ページ参照）

第 6 号議案 新理事・監事の選任について（審議）

定款第 14 条及び第 19 条に基づき、今回新たに理事 12 名及び監事 1 名をそれぞれ満場一致で選任した。

〔新任の理事及び監事〕

理事 酒井善則、理事 安藤 真、理事 安達文幸、理事 土井美和子、理事 荒木純道、
理事 宮本 裕、理事 浅井光太郎、理事 長谷山美紀、理事 藤原 融、理事 三宅 功、
理事 中野義昭、理事 安浦寛人、監事 桑原秀夫

なお、以下の理事及び監事は本定時社員総会の終結をもって任期を満了した。

理事 吉田 進、理事 喜連川 優、理事 間瀬憲一、理事 西原明法、理事 小林岳彦、
理事 斎藤 洋、理事 本島邦明、理事 佐々木 繁、理事 山本博資、理事 田中良明、
理事 荒木純道、理事 萩田紀博、監事 木戸出正継

〔【注記】 退任理事 荒木純道は、今回新たに新任理事として選任されている。〕

以上をもって議事を終了し、午後 3 時 30 分に閉会した。

平成 25 年 5 月 25 日

一般社団法人 電子情報通信学会

議長（理事）吉田 進、書記（理事）西原明法、書記（理事）小林岳彦

以上定時社員総会の第 6 号議案に続いての式典において、名誉員の推薦（455 ページ参照）、第 74 回功績賞（457 ページ参照）、第 50 回業績賞（462 ページ参照）、第 6 回喜安善市賞（472 ページ参照）、第 69 回論文賞（473 ページ参照）、広告賞がそれぞれの受賞者に贈られた。続いて吉田会長から退任役員を代表して挨拶があり、これに対して秋葉副会長から会員を代表して謝辞があった。平成 25 年度第 1 回理事会で就任を可決された井上新会長から会長就任の挨拶があった。（会長就任あいさつ 488 ページ参照）

◇平成 25 年定時社員総会報告	1
◇CEATEC JAPAN 2013 との連携企画開催のお知らせ	3
◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 7 月 4 日～8 月 2 日）	4
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	37
◇2013 年ソサイエティ大会開催案内	46
◇支部大会	
・平成 25 年度電気・情報関連学会北海道支部連合大会	47
・平成 25 年度信越支部大会	47
・平成 25 年電気関係学会関西連合大会	47
・平成 25 年度（第 64 回）電気・情報関連学会中国支部連合大会	48
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・信越支部 講演会	49
・関西支部 IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「OFDM 通信基礎講座」・「画像処理講座」	49
・本会が協賛等のもの	49
◇国際会議	52
◇受賞候補者募集等	52
◇求人欄	53
◇お知らせ	
・銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）口座自動引落しの割引特典のお知らせ	55
・論文誌の冊子体の廃止について	55
・平成 25 年 7 月号及び 8 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	55
◇論文特集原稿募集	
・SoC 設計手法小特集（英文論文誌 A）	56
・離散数学とその応用小特集（英文論文誌 A）	56
・若手研究者のための未来開拓特集（和文論文誌 B）	57
・無線技術の根幹を支えるアンテナ・伝搬技術論文特集（和文論文誌 B）	58
・エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術とその応用の進展小特集（英文論文誌 C）	58
・インターネット技術とその応用特集（和文論文誌 D）	59
・「画像の認識・理解」特集（和文論文誌 D）	60
・サイバーワールド小特集（英文論文誌 D）	61
◇論文特集論文募集カレンダー	62
◇IEICE Communications Express（ComEX）投稿案内	64
♣複写される方へ	51
♣各種証明，閲覧の手数料について	54
♣新刊案内	
・本会発行図書	
[新版 ULSI デバイス・プロセス技術]	45
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	55

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます。
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku.html>
 （本会ホームページ→各種お知らせ→会告・通知）

※平成 26 年 1 月号から会告・通知欄は，一部内容を除き本会ホームページのみの掲載となります。

—CEATEC JAPAN 2013 との連携企画開催のお知らせ—

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN2013 と、昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN2013 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN2013 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN2013 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN2013 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「未来を切り拓くスマートモビリティを実現する技術と将来ビジョン」及び東京支部主催シンポジウム（内容検討中）並びに下記 6 件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいませよう、御案内致します。

なお、今年度の CEATEC のテーマは「Smart Innovation—明日の暮らしと社会を創る技術力—」です。

<http://www.ceatec.com/2013/ja/application/about/about02.html>

【開催日】 10月3日（木）～4日（金）

【会場】 幕張メッセ（千葉市）

会場までのアクセスは URL (<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>) を御参照下さい。

【参加費】 無料

【申込方法】 当日会場に直接お越し下さい。なお、CEATEC JAPAN2013 展示会に参加される方は、下記 URL から展示会参加のための事前登録をお願い致します。<http://www.ceatec.com/> (8月初旬掲載予定)

本会が主催する内容は次のとおりです。

I 一般社団法人電子情報通信学会 特別シンポジウム

【開催日】 10月3日（木）14:00～17:30 開催予定

【会場】 国際会議場 2F コンベンションホール A

【テーマ】 未来を切り拓くスマートモビリティを実現する技術と将来ビジョン

③知的環境とセンサネットワーク研究専門委員会（ASN）

【開催日】 10月3日（木）10:00～13:00

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 知的環境が実現する社会生活基盤—医療、健康、スポーツとビッグデータ—

II 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部主催シンポジウム

【開催日】 10月3日（木）14:00～18:00 開催予定

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 検討中

④ ICT スマートグリッド技術時限研究専門委員会

【開催日】 10月4日（金）10:00～13:00

【会場】 国際会議場 3F 301B号室

【テーマ】 次世代 ICT スマートグリッドによる持続可能社会の実現に向けて

III 一般社団法人電子情報通信学会 研究会

①コンピュータシステム研究専門委員会（CPSY）

【開催日】 10月3日（木）9:00～17:00 開催予定

【会場】 国際会議場 3F 301B号室

【テーマ】 ユーザを支えるコンピューティング及び一般パーソナル機器からスマートシティまで—

⑤人工知能と知識処理研究専門委員会（AI）

【開催日】 10月4日（金）14:00～17:00

【会場】 国際会議場 3F 301B号室

【テーマ】 次世代の社会情報基盤を支えるエージェント技術

②パターン認識・メディア理解研究専門委員会（PRMU）

【開催日】 10月3日（木）・4日（金）9:00～17:30 開催予定

【会場】 国際会議場 3F 302号室

【テーマ】 地球をとらえる／大規模データとパターン認識・メディア理解

⑥電子ディスプレイ研究専門委員会（EID）

【開催日】 10月4日（金）13:00～17:00 開催予定

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 電子ディスプレイシンポジウム

※ CEATEC JAPAN (Combined Exhibition of Advanced Technologies) とは

CEATEC JAPAN は、世界最先端の技術・製品・サービス等が発表され、国内外の業界関係者を始めとする、幅広いユーザから大きな関心をもたれているアジア最大級の IT・エレクトロニクス産業に関連する業界の総合展示会です。

展示会場では、電子部品・デバイスから完成品まで多岐にわたる展示品目を、カテゴリーごとにゾーン分けを行い展開することで、顧客の的確な誘致と効率の良い情報収集を可能にします。展示会場で開催するコンファレンスセッションでは、産業界のトップエグゼクティブや、業界をリードするキーパーソンがビジネスの革新、躍進に役立つメッセージを発信します。

CEATEC JAPAN 2013 は、10月1日（火）～5日（土）の5日間、幕張メッセにて開催されます。

詳細 URL はこちら <http://www.ceatec.com/2013/ja/application/index.html>

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会 平成 25 年 7 月 4 日～8 月 2 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
安 全 性	25 日(木) 10 : 40～16 : 20	日本大学・理工学部・駿河台キャンパス	9
情 報 理 論	25 日(木) 13 : 00～17 : 50 26 日(金) 9 : 45～17 : 00	早稲田大学・西早稲田キャンパス	10
応 用 音 響	18 日(木) 10 : 30～17 : 00 19 日(金) 9 : 00～16 : 15	北海道医療大学・札幌サテライトキャンパスまたは ACU 大学共同利用施設	14
情報セキュリティ 技術と社会・倫理 情報通信システムセキュリティ マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	18 日(木) 9 : 10～17 : 40 19 日(金) 9 : 10～16 : 30	札幌コンベンションセンター	14
信 頼 性	26 日(金) 13 : 30～17 : 10	ホテルオホーツクパレス紋別	22
イメージ・メディア・クオリティ	26 日(金) 13 : 30～16 : 40	岩手大学・工学部・銀河ホール	25
I T S	26 日(金) 13 : 00～16 : 20	関西大学・千里山キャンパス	29
ワイドバンドシステム	9 日(火) 13 : 00～17 : 45 10 日(水) 9 : 30～12 : 10	高知市文化プラザかるぼーと	30
非 線 形 問 題	8 日(月) 10 : 00～16 : 35 9 日(火) 10 : 00～15 : 45	宮古島マリントーミナル	32
回路とシステム VLSI 設計技術 信号処理 システム数理と応用	11 日(木) 8 : 50～18 : 00 12 日(金) 9 : 00～17 : 10	熊本大学・黒髪南地区	33
超 音 波	29 日(月) 13 : 20～17 : 50 30 日(火) 10 : 00～12 : 30	九州大学・産学連携センター・筑紫キャンパス	35
7 月休会の研究会；思考と言語，スマートインフォメディアシステム			

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時	会 場	告 頁
環 境 電 磁 工 学	11 日(木) 10 : 00～16 : 50	機械振興会館	7
環 境 電 磁 工 学 機 構 デ バ イ ス	12 日(金) 10 : 30～16 : 45	機械振興会館	7
電子通信エネルギー技術	25 日(木) 9 : 30～17 : 00 26 日(金) 9 : 30～16 : 15	機械振興会館	10
光 通 信 シ ス テ ム	25 日(木) 13 : 30～18 : 10 26 日(金) 9 : 00～17 : 05	すみだ産業会館	11
宇宙・航行エレクトロニクス	26 日(金) 13 : 00～17 : 15	電子航法研究所	12
コミュニケーションクオリティ	11 日(木) 13 : 00～17 : 35 12 日(金) 9 : 00～12 : 30	北海道大学・札幌キャンパス	12
情報通信マネジメント	11 日(木) 13 : 00～18 : 10 12 日(金) 9 : 30～12 : 10	公立はこだて未来大学	13
情報ネットワーク	18 日(木) 10 : 45～18 : 20 19 日(金) 9 : 20～16 : 55	北海道大学・工学部	17
アンテナ・伝播 衛 星 通 信	23 日(火) 13 : 30～16 : 45 24 日(水) 9 : 30～16 : 50 25 日(木) 9 : 30～16 : 45	サン・リフレ函館	20
モバイルネットワークとアプリケーション	8 月 1 日(木) 14 : 30～17 : 40 2 日(金) 9 : 45～12 : 30	北海道大学・学術交流会館	23

ネットワークシステム 無線通信システム ソフトウェア無線 知的環境とセンサネットワーク	17日(水) 18日(木) 19日(金)	13:05~17:00 9:00~17:45 9:00~17:35	浜松アクトシティ	26
通信方式	4日(木) 5日(金)	9:00~17:50 9:00~12:05	与那国町複合型公共施設	31
7月休会の研究会; フォトニックネットワーク, 光ファイバ応用技術, モバイルネットワークとアプリケーション, インターネットアーキテクチャ, 短距離無線通信				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
機構デバイス 環境電磁工学	12日(金)	10:30~16:45	機械振興会館	7
磁気記録・情報ストレージ	12日(金)	13:00~17:00	中央大学・理工学部・後楽園キャンパス	8
電子ディスプレイ	17日(水)	10:00~16:40	機械振興会館	8
超伝導エレクトロニクス	22日(月)	9:50~15:10	機械振興会館	9
電子ディスプレイ	25日(木)	(未定)	機械振興会館	9
集積回路	4日(木) 5日(金)	9:30~18:30 9:15~18:30	サン・リフレ函館	前号
電磁界理論 マイクロ波 光エレクトロニクス エレクトロニクスシミュレーション マイクロ波・ミリ波フォトニクス	18日(木) 19日(金)	9:30~18:00 9:00~13:00	稚内総合文化センター	18
有機エレクトロニクス	4日(木) 5日(金)	14:30~17:00 10:00~12:00	トキ交流会館	25
今後の予定; シリコン材料・デバイス, 集積回路 (37 ページ)				
7月休会の研究会; 電子デバイス, 電子部品・材料, シリコン材料・デバイス, レーザ・量子エレクトロニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
人工知能と知識処理	4日(木)	9:30~17:25	早稲田大学・西早稲田キャンパス	前号
情報論的学習理論と機械学習	17日(水) 18日(木)	(未定)	早稲田大学・西早稲田キャンパス	8
画像工学	19日(金)	(未定)	日本女子大学	9
情報通信システムセキュリティ マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント 情報セキュリティ 技術と社会・倫理	18日(木) 19日(金)	9:10~17:40 9:10~16:30	札幌コンベンションセンター	14
データ工学	22日(月) 23日(火)	(未定)	北海道大学・札幌キャンパス・学術交流会館	20
ソフトウェアサイエンス 知能ソフトウェア工学	25日(木) 26日(金)	11:30~17:40 9:30~17:20	北海道立道民活動センターかでの 2.7	21
医用画像	18日(木) 19日(金)	10:05~17:35 9:30~15:00	東北大学・片平キャンパス・さくらホール	23
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム	25日(木) 26日(金)	15:00~17:15 11:00~12:00	岩手県立大学・アイーナキャンパス	24
音声	25日(木) 26日(金) 27日(土)	14:10~18:00 10:30~18:00 9:30~11:20	遠刈田温泉・壮鳳 (宮城県)	24
MEとバイオサイバネティクス ニューロコンピューティング	19日(金) 20日(土)	9:30~16:50 9:30~12:15	徳島大学・工学部・工業会館	30
教育工学	27日(土)	13:00~17:25	熊本大学・黒髪南キャンパス	34

コンピュータシステム ディペンダブルコンピューティング	8月1日(木) 2日(金)	15:15~18:30 9:00~20:40	北九州国際会議場	36
今後の予定; パターン認識・メディア理解 (37ページ)				
7月休会の研究会; 言語理解とコミュニケーション, コンピュータシステム, コンピューテーション, パターン認識・メディア理解, ディペンダブルコンピューティング, ソフトウェアインタプライズモデリング, リコンフィギャラブルシステム, クラウドネットワークロボット, サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
ヒューマン情報処理	13日(土) 14日(日)	13:00~17:00 10:15~16:10	新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス	26
7月休会の研究会; ヒューマンコミュニケーション基礎, マルチメディア・仮想環境基礎, 福祉情報工学				

◇第二種研究会開催案内

第26回ポリマー光回路(POC)研究会	7月5日(金)	産業技術総合研究所・関西センター	37
医療情報通信技術研究会(MICT)	7月9日(火), 10日(水)	高知市文化プラザかるぼーと	30
高信頼制御通信研究会(RRRC)	7月17日(水)~19日(金)	浜松アクトシティ	26
無線電力伝送研究会(WPT)	7月25日(木), 26日(金)	機械振興会館	10
2013年度第2回ネットワークソフトウェア研究会	7月26日(金)	芝浦工業大学・豊洲キャンパス	38
第26回回路とシステムワークショップ	7月29日(月), 30日(火)	淡路夢舞台国際会議場	39
International Symposium on extremely advanced transmission technology (EXAT2013)	11月7日(木), 8日(金)	札幌コンベンションセンター	43

◇第二種研究会発表募集案内

テラヘルツ応用システム研究会	8月6日(火)	北海道大学・札幌キャンパス	43
第2回集積光デバイスと応用技術研究会	10月17日(木)	法政大学・小金井キャンパス	44
第8回再生可能集積システム時限研究会	10月19日(土)	電気通信大学・調布キャンパス	44

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 多氣昌生 副委員長 曾根秀昭

幹事 王 建青・秋山佳春 幹事補佐 平井義人・肖 鳳超

日時 7月11日(木) 10:00~16:50

会場 機械振興会館地下3階2号室(港区芝公園3-5-8, 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 若手研究者発表会

- 妊娠中のタブレット端末使用時における胎児内 SAR に関する検討
○立野章博・田中憲佑(千葉大)・長岡智明(NICT)・齊藤一幸(千葉大)・渡辺聡一(NICT)・高橋応明(千葉大)・ジョー ウィアート(France Telecom)・伊藤公一(千葉大)
 - 相反性を用いた電磁波源定位法の精度に影響するパラメータに関する検討
○和田佑紀・西方敦博(東工大)
 - 放射ノイズを抑制する電源グラウンドプレーンインピーダンスと入出力インピーダンスの考察
○時川昌大(サリットメーション)・佐野宏靖(都立産技研センター)
 - 高速電磁界解析を用いた多層回路基板の耐ノイズ設計
○神蔵 護・村田雄一郎・米岡雄大(三菱電機)
- 午後(12:45~)
- インピーダンスバランス制御によるCMOS基板雑音抑制法
○前田真彰・松嶋 徹・久門尚史・和田修己(京大)
 - RFアンプの電源ノイズ耐性評価技術
○熊本武文(三菱電機エンジニアリング)・内田 雄・宮崎千春・岡 尚人(三菱電機)
 - 負の群遅延特性を持つ埋込F-SIR型伝送線路構造の検討
○楊 曉帆・萱野良樹(秋田大)・井上 浩(放送大)
 - 差動信号線路に部品実装する場合の容量モデルによる平衡度設計検討
○本橋あゆみ・中本藤之・佐々木雄一・岡 尚人・大橋英征(三菱電機)
 - 電源供給回路に挿入するオン・ボードRLスナバの設計法
○山縣亮介・五百旗頭健吾・豊田啓孝(岡山大)
 - インピーダンスバランス法による電力変換器のコモンモードノイズ低減
○高橋篤弘・塚田浩司・小島 崇・服部佳晋(豊田中研)・舟木 剛(阪大)・和田修己(京大)
 - 広帯域雑音を有するUWB-IRエネルギー検出時間に対するBER特性
○勝 健太・安在大祐・王 建青(名工大)
 - キャパシタンス装荷によるオープンスタブ型EBG構造のバンドギャップ周波数制御
○笠原嘉晃・鳥屋尾 博(NEC)
 - LED電球と電源線から放射される近傍電磁界のFDTD解析と測定
○齊藤志弥・春日貴志(長野高専)・井上 浩(秋田大)

◆IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛, エレクトロニクス実装学会電磁特性技術委員会協賛

◎研究会終了後, 若手研究者発表会の表彰式と懇親会を開催致します。皆様お誘い合わせの上, 奮って御参加下さい。

会場: 機械振興会館地下3階, ニュートーキョー

TEL [03] 3434-8246 時間: 17:30~ 予算: 4,000円

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月12日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 放電, 実

装, EMC, 一般

8月 休会

9月13日(金) 北大 [7月15日(月)] テーマ: 生体, EMC, 一般

10月24日(木), 25日(金) 東北大青葉山キャンパス [8月12日(月)] テーマ: EMC一般, マイクロ波, 電磁界解析

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

肖 鳳超(電通大情報・通信工学科電子情報システムコース)

〒182-8585 調布市調布ヶ丘1-5-1

TEL & FAX [042] 443-5234

E-mail: emcj@mail.ieice.org

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 多氣昌生 副委員長 曾根秀昭

幹事 王 建青・秋山佳春 幹事補佐 平井義人・肖 鳳超

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕

幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 7月12日(金) 10:30~16:45

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 放電, 実装, EMC, 一般

- ハンマリング加振機構及び微摺動機構による電気接点の劣化現象—ハンマリング加振機構の特性に関する基礎的検討(27)—
○和田真一・越田圭治・益田直樹・柳 国男・久保田洋彰(TMCシステム)・澤 孝一郎(日本工大)
- CO₂の熱力学・輸送特性とAg及びAg/SnO₂接点材料蒸気混入の影響
○原 拓也・関川純哉(静岡大)
- 銀接点対を接触させたときの接触抵抗の時間変化
○石倉智史・関川純哉(静岡大)
- 直流高電圧回路内における開離時アークの輝点の位置変化
○小西弘純・関川純哉(静岡大)

午後(13:30~)

- 対数的時間変化の雑音—皮革素材の抵抗測定に出現する特異な時間変動—
伴 公伸(都皮革技術センター)
- 線路端部電流測定による線路上の外部電磁界影響位置の推定
○伊達龍吾・関根敏和・高橋康宏(岐阜大)
- 繊維製造技術により製造された可撓性導波管
○末定新治・村上哲彦(福井県工技センター)
- グラウンド面上にある3導体VVFケーブルの回路網モデルに関する基礎検討
○桑原伸夫・内田敏哉(九工大)
- 静電気放電における高周波変動特性の解析—電極材質と湿度の影響評価—
○馬杉正男(立命館大)・奥川雄一郎・秋山佳春(NTT)・村川一雄(NTT東日本)
- [特別講演] 大型機器から通信機器までEMC技術はどのように適用されているか
岡 尚人(三菱電機)

◆IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛, エレクトロニクス実装学会電磁特性技術委員会協賛

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月 休会

9月13日(金) 北大 [7月15日(月)] テーマ: 生体, EMC, 一般

10月24日(木), 25日(金) 東北大青葉山キャンパス [8月12日(月)] テーマ: EMC一般, マイクロ波, 電磁界解析
【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

肖 鳳超 (電通大情報・通信工学科電子情報システムコース)
〒182-8585 調布市調布ヶ丘1-5-1
TEL & FAX [042] 443-5234
E-mail: emcj@mail.ieice.org
☆EMD研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
8月29日(木), 30日(金) サンリフレ函館 [締切済] テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

【問合せ先】

関川純哉 (静岡大)
TEL & FAX [053] 478-1618
E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp
久我宣裕 (横浜国大)
TEL & FAX [045] 339-4279
E-mail: kuga@ynu.ac.jp
服部康弘 (住友電装)
TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591
E-mail: yasuhiko-hattori@gate.sws.co.jp
阿部宜輝 (NTT フォトニクス研究所)
TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421
E-mail: abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp
◎EMD研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 杉田龍二
幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志・神邊哲也

日時 7月12日(金) 13:00~17:00
会場 中央大学理工学部後楽園キャンパス (文京区春日1-13-27, 東京メトロ丸ノ内線・南北線: 後楽園駅から徒歩5分, または都営三田線・大江戸線: 春日駅から徒歩7分, またはJR総武線: 水道橋駅から徒歩15分。 http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen_j.html 二本正昭)

議題 固体メモリ・媒体, 一般

MR-1. [招待講演] マイクロ波磁場による垂直媒体の保磁力低減効果 ○能崎幸雄・石田尚子 (慶大)・関口康爾 (慶大)
MR-2. L10型規則構造を持つ強磁性合金薄膜の表面平坦性制御 ○板橋 明・大竹 充 (中大)・桐野文良 (東京藝術大)・二本正昭 (中大)
MR-3. 電気化学的手法により形成した超高密度強磁性体ナノドットアレイの初期析出過程の解析及び特性評価 ○ヴォダルツ ジギー・間庭佑太・萩原弘規・本間敬之 (早大)
MR-4. FeCoB膜の異方性内部応力形成観測と高磁気異方性の関係 ○林原久憲・饒平名礼生・中川茂樹 (東工大)
MR-5. バリウムフェライト磁気テープにおける熱安定性パラメータ分布の影響 ○栗橋悠一・清水 治 (富士フィルム)
MR-6. 大容量/高速ストレージを実現する3次元相変化メモリ ○小林 孝・木下勝治・笹子佳孝 (日立)
MR-7. 恒久的データアーカイブに向けた石英ガラスへの記録再

生技術 ○渡辺康一・渡部隆夫・塩澤 学・今井 亮・梅田麻理子 (日立)・下間靖彦・坂倉正明・三浦清貴 (京大)
MR-8. スピン注入書き込み技術の進展とノーマリオフコンピュティングへの適用検討 ○伊藤順一・與田博明・藤田 忍・下村尚治・北川英二・安部恵子・野村久美子・野口紘希 (東芝)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会連催。IEEE Mag. Soc. Japan Chapter 併催

☆MR研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
10月24日(木), 25日(金) 九大 [8月2日(金)] テーマ: ヘッド・スピントロニクス, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

◎最新情報は, MR研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html>

★情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)

専門委員長 上田修功 副委員長 鷲尾 隆・樋口知之
幹事 杉山 将・井手 剛 幹事補佐 持橋大地・大羽成征

期日 7月17日(水), 18日(木)

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス

議題 機械学習一般

◎開催プログラム等はIBISML研究会のHP等で御確認下さい。

★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 木村 睦 副委員長 志賀智一・小南裕子
幹事 伊達宗和・山口雅浩
幹事補佐 山口留美子・山口 一・新田博幸・小澤史朗・中田 充

日時 7月17日(水) 10:00~16:40

会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題 SID'13 報告会

EID-1. (2)液晶技術 岡 真一郎 (JDI)
EID-2. 有機ELディスプレイと照明 伊佐敏行 (半エネ研)
3. タッチ&インタラクティブ技術動向 奥村治彦 (東芝)
午後
4. SID'13 報告会—Active-Matrix Devices I— 木村 睦 (龍谷大)
EID-5. Display Week2013 (SID2013) 開催概要報告 辻村隆俊 (コニカミノルタ)
6. SID'13 報告会(6)Active-Matrix Devices II oxide 山元良高 (半エネ研)
7. SID2013 報告—Display Systems and Novel Display Applications 関連— 山本裕紹 (徳島大)
EID-8. (8)Display Electronics and Projection Displays 服部励治 (九大)
EID-9. 2013 SID International Symposium 報告—Emissive Display, Phosphors and Backlighting— 志賀智一 (電通大)
10. SID2013 報告—E-paper and Flexible 関連技術— 小林範久 (千葉大)
EID-11. SID2013 報告: 3D技術 柴田隆史 (東京福祉大)
12. SID2013 参加報告—Applied Vision—

阿山みよし (宇都宮大)

◆映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究会連催. SID 日本支部共催

☆EID 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

7月25日(木) 機械振興会館〔締切済〕テーマ: ディスプレイ一般

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 藤井俊彰 副委員長 高村誠之・浜本隆之

幹事 久保田 彰・市ヶ谷敦郎 幹事補佐 三功浩嗣・松尾翔平

期日 7月19日(金)

会場 日本女子大学

議題 マルチメディア情報処理・配信・検索・インタフェースとその応用, 及びコンシューマエレクトロニクス, メディアエレクトロニクス, 画像工学, 一般

◎開催プログラムはIE研究会のHP等で御確認下さい。

◆情報処理学会, 映像情報メディア学会連催

★超伝導エレクトロニクス研究会 (SCE)

専門委員長 円福敬二

幹事 丸山道隆・廿日出 好 幹事補佐 赤池宏之

日時 7月22日(月) 9:50~15:10

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 信号処理基盤技術及びその応用, 一般

1. SFQ 論理ゲートにおける信号伝搬時間のバイアス依存性を考慮した最適化 ○大坪樹生・山梨裕希・吉川信行 (横浜国大)

2. 低消費電力化単一磁束量子マイクロプロセッサにおけるデータパスの設計と評価 ○早川雄飛・高田賢介・田中雅光・藤巻 朗 (名大)

3. 10 kA/cm² プロセスを用いた2-bit ビットスライス・アダプターの設計と評価 ○高田賢介・早川雄飛・田中雅光・藤巻 朗 (名大)

4. アンダーダンプ接合を用いた断熱型 QFP 回路の消費エネルギーとビットエラーレートの評価 ○竹内尚輝・山梨裕希・吉川信行 (横浜国大)

5. RSFQ 回路のシャント抵抗の接続方法変更による低雑音化の手法の提案と実証 ○喜多祐真・松岡宏弥 (名大)・宮嶋茂之 (阪府大)・田中雅光・藤巻 朗 (名大)

6. 超伝導物理乱数生成器の性能改善のためのコンパレータの最適化 ○峰谷駿介・山梨裕希 (横浜国大)

午後 (13:30~)

7. 集積型量子雑音電圧源のスペクトル密度の計算 ○前澤正明・山田隆宏・浦野千春 (産総研)

8. 外部磁場耐性を持つ超伝導単一磁束量子回路の設計と評価 ○山梨裕希・津賀優斗・吉川信行 (横浜国大)

9. 積層ハイブリッド型超伝導共振器カメラの開発 ○関根正和 (東大)・関本裕太郎・野口 卓・宮地晃平・唐津謙一 (国立天文台)・新田冬夢 (筑波大)・関口繁之 (東大)・成瀬雅人 (埼玉大)

10. HTS-SQUID を用いた交流磁化率計の開発とシステムの最適化 ○堺 健司・浜崎大地・モハマド マワルディ サーリ・紀和利彦・塚田啓二 (岡山大)

第一種研究会開催案内

【問合先】

丸山道隆 (産総研)

TEL [029] 861-4255, FAX [029] 861-3469

E-mail: m-maruyama@aist.go.jp

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 平尾裕司

幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 7月25日(木) 10:40~16:20

会場 日本大学理工学部駿河台キャンパス (千代田区神田駿河台 1-8-14. JR 中央・総武線: 御茶ノ水駅下車, 徒歩3分)

議題 機械安全を主として

1. 機械における多重故障の機能安全評価に関する一考察 ○竹市正彦・陶山貢市・佐藤吉信 (東京海洋大)

2. 機械における相反ハザードに関する機能安全評価の一考察 ○竹市正彦・陶山貢市・佐藤吉信 (東京海洋大)

午後

3. 統合生産システムにおける支援的保護装置の有効性の検討 ○福田隆文・則兼昌也 (長岡技科大)

4. 標準化による災害対応ロボット開発加速への一考察 ○大賀公二・木村哲也 (長岡技科大)

5. 労働安全及び機械安全における社会基盤の確立に関する考察—社会基盤の機能と構造— ○濱島京子・梅崎重夫 (労働安全衛生総研)

6. フォークリフトによる労働災害の機械側対策 呂 健 (労働安全衛生総研)

7. Research about Disease Evaluation of the Aged in Family Education Chiyuri Nagayama (Ochanomizu Univ.)

☆SSS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月26日(木) 機械振興会館 [7月15日(月)] テーマ: ヒューマンファクターに関する安全性問題を主として

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

木村昌臣 (芝浦工大工学部情報工学科)

TEL & FAX [03] 5859-8507

E-mail: masaomi@shibaura-it.ac.jp

★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 木村 睦 副委員長 志賀智一・小南裕子

幹事 伊達宗和・山口雅浩

幹事補佐 山口留美子・山口 一・新田博幸・小澤史朗・中田 充

期日 7月25日(木)

会場 機械振興会館地下1階1号室

議題 ディスプレイ一般

◎開催プログラムはEID研究会のHP等で御確認下さい。

◆映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究会連催. SID 日本支部共催

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 竹内純一 副委員長 大濱靖匡
幹事 野村 亮・日下卓也 幹事補佐 井坂元彦

日時 7月25日(木) 13:00~17:50
26日(金) 9:45~17:00

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 55号館3階第3会議室
(新宿区大久保3-4-1. 副都心線:西早稲田駅に直結, 山手線/西武新宿線:高田馬場駅から徒歩15分. <http://www.waseda.jp/campus/nishiwaseda.html> TEL [03] 5286-3301 須子統太)

議題 フレッシュマンセッション, 一般

25日 フレッシュマンセッション

- DST 基底による LOT を用いた相関型電子透かし方式に関する一検討 ○中村星太・小田 弘(電通大)
- コスト付き符号化を用いたステガノグラフィ ○合田 翔・渡辺 峻・松本和幸・吉田 稔・北 研二(徳島大)
- 強ユニバーサルハッシュ関数族に基づく新しい同定符号 ○上田真士・山本博資(東大)
- 二元情報源に対する畳語分解を用いたデータ圧縮法 ○真矢 滋・山本博資(東大)
- 圧縮センシングにおける制限付等長性を用いた再構成条件の内挿 ○中嶋信輔・川端 勉(電通大)
- 一般セッション
- シェアの安全性を考慮した再生成符号のモデル化とその最適性に関する一検討 ○吉田隆弘(横浜商科大)・地主 創(青学大)・松嶋敏泰(早大)
- Methods to Reduce the Rate of Decoding Errors for Digital Watermarking Using Error Correcting Code ○Takuya Kusaka・Tetsushi Masuno (Okayama Univ.)・Toru Fujiwara (Osaka Univ.)
- Yet Another Gilbert-Varshamov-type Bound for Relative Generalized Hamming Weight Ryutaroh Matsumoto (Tokyo Inst. of Tech.)

招待講演

- [招待講演] 改めてコミュニケーションとは何かを考える 原島 博

26日午前 一般セッション

- Intrinsic Randomness の Smooth Renyi エントロピーによる表現について ○國松昇平・植松友彦・松本隆太郎(東工大)
- インバーティブル誤り訂正符号を利用した3D DWT ビデオ伝送の誤り耐性強化 ○大村光徳・山崎彰一郎・松嶋智子(職能開発大)・田中宏和(東芝)・長谷山美紀(北大)
- Java 言語におけるプログラム可読性とその幾つかの複雑度との関係に関する一考察 高橋圭一・○戒田高康(近畿大)
- スライディングブロック復号法による Spinal 符号 ○森島 佑・岡 育生・阿多信吾(阪市大)

26日午後 フレッシュマンセッション (13:25~)

- ビームスプリッターによって生成された量子エンタングルド状態を用いた量子テレポーテーションの定式化 ○大倉隆輔・渡邊 昇(東京理科大)
- コヒーレント光を制御に用いたFTMゲートの定式化 ○沖 英幸・渡邊 昇(東京理科大)
- 4つの基底状態を観測に用いた量子テレポーテーションの定式化について ○山内 将・渡邊 昇(東京理科大)

- 三角格子イジングモデルにおける量子論理ゲートの定式化 ○金野文人・渡邊 昇(東京理科大)
- 順序通信路における符号化の性能解析 ○出口佳奈・井坂元彦(関西学院大)
- 双対符号を用いた高符号化率パングチャド畳込み符号の構成に関する一考察(II) ○菊地加奈・守屋 宣・笹野 博(近畿大)
- 巡回符号の構造を用いた最小ペア距離を求める方法 ○杉本卓也(神戸大)・廣友雅徳(佐賀大)・森井昌克(神戸大)
- 受信フレーム毎の信頼度に基づく尤度計算を用いた Generalized Hybrid ARQ 方式 ○和田致知・中村 誠・鳥井秀幸(神奈川工科大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

☆IT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 9月27日(金) 沖縄・カルチャーリゾートフェストーネ [7月15日(月)] テーマ:誤り訂正符号, 一般(「誤り訂正符号のワークショップ」(9/25~9/27)と併催)

【問合先】

情報理論研究会幹事, 幹事補佐
E-mail: it-sec@mail.ieice.org

★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智
幹事 石塚洋一・馬場崎忠利 幹事補佐 山下暢彦

★無線電力伝送研究会 (WPT) (第二種研究会)

専門委員長 藤野義之 副委員長 篠原真毅
幹事 袁 巧微・小紫公也 幹事補佐 三谷友彦・平山 裕

◎本研究会は EE 研究会と WPT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 7月25日(木) 9:30~17:00
26日(金) 9:30~16:15

会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題 エネルギー技術, ワイヤレス給電関連, 半導体電力変換一般
25日午前

- WPT-1. WiCoPT 実現に向けた変調信号入力時の整流器効率に関する解析 ○榊 裕翔(鹿児島大)・吉田賢史(JAXA)・西川健二郎(鹿児島大)・川崎繁男(JAXA)
- WPT-2. WPT システムにおける共振器最適化の検討 ○澤原裕一・石崎俊雄(龍谷大)・栗井郁雄(リユテック)
- WPT-3. WPT ガイドの応用 ○栗井郁雄(リユテック)・澤原裕一・生田祐也・張 陽軍・石崎俊雄(龍谷大)
- WPT-4. 電界結合を用いた無線電力伝送—結合係数の位置特性評価— 小丸 亮(デンソー)
- WPT-5. 電磁界共鳴フィールドを用いた直流共鳴方式 ZVS ワイヤレス給電システムと 10 MHz 級実験 細谷達也(村田製作所)
- WPT-6. 電磁界の観点から見た結合共振型無線電力伝送 ○平山 裕・矢満田博之・菊間信良・榊原久二男(名工大)
- 25日午後(13:10~)
- EE-7. 双方向磁気結合給電の効率に関する考察 ○安倍秀明・小原弘士・尾崎 保・工藤 均・入江健一

藪田 明 (パナソニック)

EE-8. 直流共鳴方式 10 MHz 級 E 級複共振形 ZVS ワイヤレス給電の解析 ○吉川 徹 (同志社大)・細谷達也 (村田製作所)・藤原耕二 (同志社大)

EE-9. 非接触給電用 GaN FET の超高周波駆動対応ゲートドライブ回路 ○西垣彰紘・吉田 堯・金澤康樹・今岡 淳・梅上大勝・服部文哉・山本真義 (鳥根大)

EE-10. LC 相殺を用いたワイヤレス給電の伝送電力及び効率について ○河村祐輔・井上雄貴・庄山正仁 (九大)

合同研究会記念特別企画

11. ワイヤレス給電パワーマネジメント-Q & A 討議—

26 日午前

1. SPC DE 級送電器と E 級整流器を用いた電磁誘導型無線電力伝送システムの設計 ○井上一秀・永島和治・関屋大雄 (千葉大)・畑本浩伸・清水 聡 (OKI)

2. SPC 大容量非接触給電システムの Q 値を考慮した伝送周波数の検討 ○北澤智志・山本浩平・近藤圭一郎 (千葉大)・柏木隆行 (鉄道総研)

3. SPC DC/DC コンバータを用いた抵抗変換によるワイヤレス給電の高効率化 ○藪本卓哉・田中一史・松本貞行・永井孝佳 (三菱電機)

4. SPC ワンパルスアクティブキャパシタを用いた電界結合非接触給電の特徴と応用 ○船渡寛人・小林紘也・北林達明・山市勝也 (宇都宮大)

5. SPC マルチコアトランスと多相インバータを用いた 2.5 MHz 電源の高出力化と非接触給電への応用 ○折川幸二・伊東淳一 (長岡技科大)

26 日午後 (12 : 45~)

EE-6. 可変積分ゲインを用いた DC-DC コンバータの基本特性 ○久米剛志・黒川不二雄 (長崎大)

EE-7. 高電圧絶縁形 DC-DC コンバータの制御特性について— スナバコンデンサを付加した場合の回路設計— ○土本和秀・石塚洋一・二宮 保 (長崎大)・安部征哉 (国際東アジア研究センター)・レジェキ シマンジョラン・山口 浩 (産総研)・加賀雅人 (NTT ファシリテース)

EE-8. DAB 双方向 DC-DC コンバータの軽負荷時における高効率化 ○永田 隼・高崎美香 (長崎大)・廣瀬俊郎 (ニル電子)・石塚洋一 (長崎大)

EE-9. 目標値修正モデルを用いた DC-DC コンバータについて ○廣滝翔太・黒川不二雄 (長崎大)

EE-10. DC マイクログリッドシステム負荷給電用複共振形 DC-DC コンバータの実験特性 ○埴岡正史・三島智和 (神戸大)

EE-11. ジグザグ型 DMFC における流路形成による空気供給法 ○石掛純徹・谷内利明 (東京理科大)

EE-12. 重回帰分析による温度推定手法を用いた空調制御の省電力化効果検証 ○中村亮太・橋本英明・竹内 章・中村雅之・浦田穠司 (NTT)

EE-13. リアルタイムプライシングを適用した太陽光発電・蓄電池連携システムの経済性評価 ○立川修平 (東京理科大)・田中 徹・馬場崎忠利 (NTT)・谷内利明 (東京理科大)

◆電気学会; 半導体電力変換技術研究会連催. IEEE Industry Applications Society Japan Chapter, IEEE Power Electronics Society Japan 共催

◎25 日研究会終了後、懇親会を開催する予定です。多数の皆様

の御参加をお待ちしております。

◆電気学会; 半導体電力変換技術研究会連催. IEEE Industry Applications Society Japan Chapter, IEEE Power Electronics Society Japan 共催

◎25 日研究会終了後、懇親会を開催する予定です。多数の皆様

の御参加をお待ちしております。

第一種研究会開催案内

◎25 日 15 : 00~17 : 00 「合同研究会記念特別企画」

公開質問状などを討論テーマとして、研究者、エンジニアの方々から自由に御意見を頂き、各技術分野における考え方、期待する技術、慣用的な用語などを紹介し合い、今後の方向を描いていけるような、フリーな議論をしよう!との企画です。

・効率ってどこの効率? 伝送効率と電力効率は違う?

・共鳴と共振は違うの? 何が共鳴する?

・無線の信号伝送と電力供給はどう違うの?

・電力源はどうする? どのように振る舞うの?

・分野ごとに用語が違っているのでは?

等々、ワイヤレス給電に関する「Q & A」をベースにして、フリーディスカッションを行う予定です。

質問状募集等、詳細については各研究会 (下記) のホームページにて別途お知らせ致します。

・電子通信エネルギー技術研究専門委員会 (IECE-EE 研究会) <http://www.ieice.org/cs/ee/jpn/>

・無線電力伝送時限研究専門委員会 (IECE-WPT 研究会) <http://www.ieice.org/~wpt/>

☆EE 研究会

【問合先】

山下暢彦 (NTT 環境エネルギー研究所)

TEL [0422] 59-4222, FAX [0422] 59-5682

E-mail : yamashita.nobuhiko@lab.ntt.co.jp

☆WPT 研究会

【問合先】

平山 裕 (名工大)

E-mail : wpt@mail.ieice.org

★光通信システム研究会 (OCS)

専門委員長 水落隆司 副委員長 富澤将人

幹事 乾 哲郎・斎藤恒聡

日時 7 月 25 日 (木) 13 : 30~18 : 10

26 日 (金) 9 : 00~17 : 05

会場 すみだ産業会館 (墨田区江東橋 3-9-10 (8・9 階). JR/東京メトロ : 錦糸町駅より徒歩 1 分. <http://www.sumidasangyokaikan.jp/> TEL [03] 3635-4351)

議題 【光通信機器】 光変復調方式, 多値光変復調, コヒーレント光通信, 非線形・偏波問題, 分散補償デバイス, 光信号処理, 光測定器, 光通信用デジタル信号処理, 光通信計測, 光通信用 LSI, 誤り訂正, 一般

25 日

1. SOA-MZI 型波長変換器を用いた全光ネットワークコーディングの実験的検討 ○久野大介・丸田章博 (阪大)・大島伸夫・有賀 博・石村栄太郎・杉立厚志 (三菱電機)・北山研一 (阪大)

2. 直交位相変調を行った偏光多重パイロットキャリアを用いた位相変調信号のセルフホモダイン検出 ○水上 浩 (山梨大)・岡村康弘 (徳島大)・埴 雅典 (山梨大)

3. 量子暗号における光源の偏波変動の干渉明瞭度に対する影響評価 ○浅井健志・長谷川俊夫 (三菱電機)

4. 光 OFDM 信号の MMF 伝搬に対する時間領域等化の有効性 ○松下修造・中村一彦・埴 雅典 (山梨大)

5. 解析的な OSNR の導出と海底伝送に適したファイバの提案

○山本義典・平野正晃 (住友電工)・

Vincent A.J.M. Sleiffer (Eindhoven Univ. Tech.)・

佐々木 隆 (住友電工)

6. 非線形補償を適用した光伝送システムにおけるパルス形式及び受信器の不完全性の影響 ○小山智史 (富士通研)・

星田剛司・中島久雄 (富士通)・大嶋千裕 (富士通研)・

Zhenning Tao (FRDC)・Jens C. Rasmussen (富士通)

7. 45度前置相処理を用いる2値光単側波帯変調方式の提案

○高野勝美・Amila Sampath・笠井真隆 (山形大)

8. 光ファイバ通信におけるナイキストフィルタを用いたデュオバイナリ伝送の特性 神尾享秀 (NICT)

9. デジタルコヒーレント技術に基づく固有値変調光伝送

○寺内大樹・丸田章博 (阪大)

10. ストークス空間での多値化技術と大容量コヒーレント光伝送への応用 ○菊池和朗 (東大)・川上彰二郎 (フットクラテイス)

26日午前 OCS Summer School (チュートリアル招待講演)

1. [チュートリアル招待講演] デジタルコヒーレント光通信の基礎 菊池和朗 (東大)

2. [チュートリアル招待講演] 光ファイバの基礎

大橋正治 (阪府大)

26日午後 OCS Summer School (招待講演) (13:30~)

3. [招待講演] 空間多重伝送を実現するマルチコアファイバ

竹永勝宏 (フジクラ)

4. [招待講演] 伝搬モード数拡大及び群遅延差低減を実現するモード多重伝送用数モードファイバの検討 ○森 崇嘉・

坂本泰志・和田雅樹・山本貴司・山本文彦 (NTT)

5. [招待講演] 位相感応光増幅技術 高田 篤 (徳島大)

6. [招待講演] 光多値伝送技術の基礎 中村守里也 (明大)

7. [招待講演] ナイキスト波長多重伝送システムのための信号処理 ○五十嵐浩司・釣谷剛宏 (KDDI 研)

◎25日の終了後に懇親会を予定しておりますので、是非御参加下さい。

☆OCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月22日(木), 23日(金) 北大〔締切済〕テーマ: 光ファイバケーブル・コード, 通信用光ファイバ, 光ファイバ線路構成部品, 光線路保守監視・試験技術, 接続・配線技術, 光ファイバ測定技術, 光コネクタ, ホーリーファイバ, 機能性光ファイバ, 光信号処理, 光ファイバ型デバイス, 光測定器, レーザ加工, ハイパワーレーザ光輸送, 光給電, 一般

10月24日(木), 25日(金) 門司港・海峡ロマンホール [8月12日(月)] テーマ: 超高速伝送, 変復調, 分散補償技術, 超高速光信号処理技術, 広帯域光増幅, WDM 技術, 受光デバイス, 高光出力伝送技術, 及び一般 (ECOC 報告)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

斎藤恒聡 (古河電工)

TEL [0436] 42-1725, FAX [0436] 42-9340

E-mail: tsune@ch.furukawa.co.jp

◎OCS ホームページ

<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php>

◎OCS 研究会では、2007年より「光通信システム研究会奨励賞」及び「光通信システム研究会論文賞」を設立しました。毎年9月～翌年8月のOCS研究会に投稿した論文を対象に選考し、翌年12月の光通信システムシンポジウムにて表彰します。詳しくはOCSホームページを御覧下さい

告 12

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 齋藤宏文 副委員長 福島荘之介

幹事 辻 政信・灘井章嗣 幹事補佐 木寺正平

日時 7月26日(金) 13:00~17:15

会場 電子航法研究所 (調布市深大寺東町 7-42-23. <http://www.enri.go.jp/about/map.htm> TEL [0422] 41-3181 福島荘之介)

議題 航法・交通管制及び一般

1. 滑走路離着陸数予測に基づく離陸待ち軽減手法の検討

○住谷美登里・青山久枝・山田 泉・マーク ブラウン (電子航法研)

2. GNSS における擬似距離残差情報を元にした測位精度向上手法及び近隣の端末との協調による測位精度向上手法

○木谷友哉 (静岡大)・羽多野裕之 (宇都宮大)

3. 準天頂及び静止衛星の信号シミュレータによる地域的測位実験 ○山田英輝 (東京海洋大)・藤田征吾 (三菱電機)・

齊藤真二・坂井丈泰・伊藤 憲 (電子航法研)

4. 航空機のGNSS 運航の代替システムとしてのDME/DME 測位における大気伝搬遅延誤差の評価手法に関する一検討

○毛塚 敦・吉原貴之・斎藤 享・藤井直樹 (電子航法研)

5. [招待講演] PBN 時代の飛行方式—データ依存型固有のヒューマンエラーと対応策— 中西善信 (NTT データ)

6. 複合シーケンス多周波による速度視野拡張 ○山下 遼・渡邊俊人・稲葉敬之 (電通大)

7. 衛星搭載レーダを用いた目標類別—注目画素フィルタ法の検討—

○川上かおり・諏訪 啓・若山俊夫・原 照幸 (三菱電機)

8. 76 GHz 帯小電力ミリ波レーダを用いたヘリコプタ周辺状況認識技術の検討—レーダ反射器を用いた基本特性評価試験—

○ニッ森俊一・森岡和行・河村暁子・米本成人 (電子航法研)

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

☆SANE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月23日(金) 新潟大ときめいと〔締切済〕テーマ: 環境計測及び一般

【問合せ先】

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail: nandai@nict.go.jp

辻 政信 (JAXA)

TEL [050] 3362-7646

E-mail: tsuji.masanobu@jaxa.jp

——北海道支部における開催——

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 高橋 玲 副委員長 板倉英三郎・矢守恭子

幹事 岡本 淳・平栗健史 幹事補佐 山崎康広

日時 7月11日(木) 13:00~17:35

12日(金) 9:00~12:30

会場 北海道大学札幌キャンパス情報学研究科棟 11F 大会議室 (札幌市北区北 14 条西 9 丁目. JR 札幌駅北口から徒歩約 20 分. または地下鉄北 12 条駅から徒歩約 10 分. <http://www.ist.hokudai.ac.jp/access/#info> TEL [011] 706-6532 青木

直史)

議題 映像/音声サービスの品質、メディア品質、ネットワークの品質・QoS 制御、次世代/新世代ネットワークアーキテクチャ、超臨場感コミュニケーション、信頼性、一般

11 日

1. 装置数の増減に対応した故障率推定法—計算方法の改善—
○船越裕介・越地弘順 (NTT)
 2. An Implementation-friendly Broadcast Protocol for VANETs Utilizing Neighbor Information
○Celimuge Wu・Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)
 3. ISP によるコンテンツ課金の実現可能性に関する分析
上山憲昭 (阪大/NTT)
 4. [特別講演] 音メディアに求められるクオリティの変化
青木直史 (北大)
 5. [特別講演] 複数の映像・音を利用する超臨場感テレワークシステム
野中雅人 (OKI)
- (16:45~)
7. [フェロー記念講演] 通信トラフィック制御の分類と課題
吉野秀明 (日本工大)

12 日

1. シーク操作時における Web ベース音声・ビデオ伝送の QoE 評価
○谷 拓亮・布目敏郎 (名工大)
2. 聴覚的臨場感に関する基本印象語・複合印象語リストの検討 (2)—再生帯域を操作した 22.2ch 音響コンテンツの印象比較—
○谷口高士 (阪学院大)・大出訓史・安藤彰男 (NHK)
3. 瞬目率を用いた 3D 映像視聴時の疲労感評価法の検討
○川嶋喜美子・岡本 淳 (NTT)・石川和夫 (東京工芸大)・根岸一乃 (慶大)
4. パケットロス環境における 3D 映像通信に向けた主観評価実験
○山崎貴宏・西 敬 (OKI)
5. シーケンス番号の差分に基づいた経路変更起因する TCP 再送制御の抑制手法
○明田修平・大月勇人・毛利公一・瀧本栄二 (立命館大)
6. ロスベース TCP による無線 WAN レスポンス性能への影響
○小山智史・青木勝典・遠藤洋介 (NHK)
7. MIMO 伝送を利用した Collision detection—通信品質に係わる遅延時間及びパケット損失特性の評価—
○平栗健史・森野善明 (日本工大)・西森健太郎・川原理彰・堅岡良知 (新潟大)・吉野秀明 (日本工大)
8. スマートフォンユーザの要望を反映した信頼性評価尺度の検討
早野由紀・谷田貝こころ・○林 正博 (東京都市大)

○11 日 16:15~16:45 に 2012 年度 CQ 研究賞・奨励賞・功労賞の表彰式を行い、研究会終了後、懇親会を予定しておりますので是非御参加下さい。

☆CQ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9 月 12 日 (木), 13 日 (金) 金沢工大 [未定] テーマ: モバイル・マルチメディア通信, アプリケーション・サービス, 協調システム, 及び, これらの品質と技術の社会的側面, 一般 (仮)

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

岡本 淳 (NTT)

TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364

平栗健史 (日本工大)

TEL [0480] 33-7658, FAX [0480] 33-7680

第一種研究会開催案内

E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

★情報通信マネジメント研究会 (ICM)

専門委員長 高野 誠 副委員長 登内敏夫・木下和彦
幹事 増田 健・野村祐士 幹事補佐 湯本一磨

日時 7 月 11 日 (木) 13:00~18:10

12 日 (金) 9:30~12:10

会場 公立ほこだて未来大学 (函館市亀田中野町 116-2. JR 函館駅からバス (105 系統) 約 45 分, 函館空港からバス (とびっこ (五稜郭経由) +105, 55 系統) 約 55 分. <http://www.fun.ac.jp/acces/index.html>)

議題 管理機能, 理論・運用方法論, 及び一般

11 日

1. SDN による IP レイヤと光レイヤの統合制御方式の検討
○神永洋平・佐藤裕昭 (NTT ドコモ)
2. ネットワーク制御とサービス制御を一元化したサービスプラットフォームの複数 OpenFlow ドメインを用いたプロトタイプ実装
○井上優也・廣田悠介・木下和彦 (阪大)・戸出英樹 (阪府大)・村上孝三 (阪大)
3. [特別講演] TMF アクションウィーク 2013 マドリッド会合報告
○佐々木圭一 (NTT コムウェア)・堀内信吾・中里俊彦・坂田浩亮・中島 求 (NTT)
4. [特別講演] TMF マネジメントワールド 2013 報告
○蔭 海鷹・北井 敦 (NTT コムウェア)・清水雅史・瀬社家 光・堀内信吾 (NTT)
5. [特別講演] IFIP/IEEE International Symposium on Integrated Network Management 2013 (IM2013) 報告
○宮澤雅典・立花篤男・林 通秋 (KDDI 研)
6. [招待講演] OpenFlow ネットワーク構築に向けた技術・運用課題に対する検討
森 達郎・上手祐治・上野 哲・○渡邊儀秀 (NTT コミュニケーションズ)
7. [招待講演] SDN/NaaS はネットワーク分野での夢の新薬となるのか—「薬効」・「使用上の注意」・「開発現況」を考察—
坂田義和 (日商エ)

8. [招待講演] 次世代の情報通信基盤としての SDN の可能性
浅羽登志也 (ストラテジア)

9. [招待講演] キャリアネットワークから見た仮想化・SDN 技術への期待
○植松芳彦・笹山浩二 (NTT)

12 日

1. 類似技術比較に基づく仮想化環境管理データモデルに関する一検討
西尾 学 (NTT)
2. [奨励講演] OSGi を用いたアプリケーション実行環境におけるリソース管理方式の検討
○小池幸生・黒田裕士・西田享邦・矢原大司・箕浦大祐・佐藤 敦 (NTT)
3. パラメータ再推定の自動検出による時系列データ変化への追従強化手法
○中山裕貴・阿多信吾・岡 育生 (阪市大)
4. リソースプールを活用してキャリアグレード保守運用を実現する通信制御サーバミドルウェア
○西村豪生・岩佐絵里子・入江道生・金子雅志・福元 健 (NTT)
5. クラウドデータセンタ向けテナントネットワーク分析方式の検討
○山田真理子・梅村雅也・保田淑子 (日立)
6. [奨励講演] クラスタ制御とスイッチングによる分散スト

告 13

レージ複製時間短縮 ○加藤 稔・立石勝之・森 澄人・
今崎充智 (NTT コムウェア)

【問合先】

ICM 研究会幹事
E-mail : icm-kanji@mail.ieice.org
◎http://www.ieice.org/~icm/jpn/

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 岩谷幸雄 副委員長 三好正人・苮木禎史
幹事 戸上真人・水町光徳 幹事補佐 宮部滋樹

日時 7月18日(木) 10:30~17:00
19日(金) 9:00~16:15

会場 北海道医療大学札幌サテライトキャンパスまたは ACU 大
学共同利用施設(未確定)(札幌市中央区北4条西5丁目アス
ティ 45 12F. JR 札幌駅南口出口より徒歩5分または地下鉄
さっぽろ駅より徒歩3分. [http://www.hoku-iryuo-u.ac.jp/
~satellit/access.html](http://www.hoku-iryuo-u.ac.jp/~satellit/access.html) TEL [011] 778-9031 榊原健一)

議題 応用(電気)音響, 音楽音響, 聴覚, 一般

18日午前

1. Research of an automated musical scoring system with Multi-Agent method for Tsugaru Shamisen
Juichi Kosakaya (Hachinohe Inst. of Tech.)
2. 歌唱音声のスペクトル形状の線形伸縮に影響する要因の検討
○坂口 諒・小林真優子・入野俊夫・西村竜一・
河原英紀(和歌山大)
3. フーリエ変換を使用しない基本周波数測定を使用した音声・
楽音を対象とする F0 推定の確からしさの検証
○西江純教・赤木正人(北陸先端大)

18日午後

4. [招待講演] 歌声の知覚と合成 齋藤 毅(金沢大)
5. 長距離伝搬サイン音の聴感評価と因子分析による印象評価
○崔 正烈・増見洋治(東北大)・岩谷幸雄(東北学院大)・
坂本修一・鈴木陽一(東北大)
6. 基本周波数のシフトが個人性知覚に及ぼす影響
○北村達也・川元広樹(甲南大)
7. アウトボードの音響特性がオーディオ聴取に与える影響の調
査 ○野間一十志・北村達也(甲南大)
8. 成人吃音者1例における合成音声を用いた在宅訓練—1年
間の吃症状の改善— ○小山内筆子・小山智史(弘前大)
9. 聴覚注意を用いたブレインマシンインタフェースに関する基
礎検討 ○石堂なつみ(奈良先端大)・小川剛史・森本智志・
兼村厚範・丸山雅紀・川鍋一晃(ATR)・石井 信(京大)・
猿渡 洋・鹿野清宏・中村 哲(奈良先端大)

19日午前

1. 音響教育におけるサウンドプログラミングの可能性
○青木直史(北大)・藍 圭介
2. 残響音声からの音声伝送指標のブラインド推定法の検討
○鶴木祐史・佐々木恭平・宮内良太・赤木正人(北陸先端大)
3. 適応マルチノッチフィルタを用いたハウリング抑圧
○川畑尚也・矢頭 隆 (OKI)
4. MPEG-AAC を用いた 22.2 マルチチャネル音響の符号化
○安藤彰男・杉本岳大・入江健介(NHK)
5. 入力信号の補正によるイヤホンの非線形歪低減
○坂田直人・加藤優基・中島弘史・三好和憲(工学院大)

6. エージングの有無によるヘッドホンの音響特性の評価
○橋野樹広・加藤優基・中島弘史・三好和憲(工学院大)

19日午後(13:30~)

7. [招待講演] 音楽録音再生技術と科学リテラシー
蘆原 郁(産総研)
8. 音声対話ロボット・キタちゃんにおける画像トラッキングを
併用したマルチモーダル・ブラインド音声抽出
○吉江孝太郎・大沼侑司・猿渡 洋・中村 哲・
鹿野清宏(奈良先端大)
9. Evaluation of musical-noise-free speech extraction under
nonstationary noise environment ○Ryoichi Miyazaki・
Hiroshi Saruwatari・Satoshi Nakamura・
Kiyohiro Shikano (NAIST)・Kazunobu Kondo (YAMAHA)
10. Semi-Blind Optimization Scheme of Joint Suppression of
Background Noise and Late Reverberation
○Fine D. Aprilyanti・Hiroshi Saruwatari・
Kiyohiro Shikano・Satoshi Nakamura (NAIST)・
Tomoya Takatani (Toyota)

◆日本音響学会; 電気音響研究会, 聴覚研究会, 音楽音響研究会
共催

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月9日(金), 10日(土) 東北大[締切済] テーマ: 音響信
号処理, 聴覚, 一般

9月 休会

10月11日(金) NTTCS 研[未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

戸上真人(日立中研)
TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823
E-mail : masahito.togami.fe@hitachi.com

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 田中俊昭 副委員長 櫻井幸一・角尾幸保
幹事 伊豆哲也・岩田 哲 幹事補佐 花岡悟一郎・三宅 優

★技術と社会・倫理研究会 (SITE)

専門委員長 中西通雄 副委員長 吉開範章・岡田仁志
幹事 杉山典正・山肩大祐 幹事補佐 宮田純子・多川孝央

★情報通信システムセキュリティ研究会 (ICSS)

専門委員長 菊池浩明 副委員長 三宅 優・盛志志帆
幹事 西出隆志・白石善明 幹事補佐 植田 武

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 越前 功 副委員長 新見道治・西村竜一
幹事 鶴木祐史・川村正樹 幹事補佐 栗林 稔・小嶋徹也

日時 7月18日(木) 9:10~17:40
19日(金) 9:10~16:30

会場 札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌6条1
丁目1-1. <http://www.sora-scc.jp/index.html>)

議題 セキュリティ, 一般

18日午前 SPT/ISEC (10:15~11:55)

1. 覗き見攻撃耐性を考慮した加算型 PIN 認証方式に関する一検

- 討 磯員尚明・長谷川まどか・加藤茂夫・
篠田一馬 (宇都宮大)
- ISEC-2. スマートフォンに適した CAPTCHA の検討
高谷真弓 (秋田大)・鶴田裕輔 (システムリサーチ)・加藤 光・
小松原 健・渡邊悠介・○山村明弘 (秋田大)
- ISEC-3. Android OS におけるアプリケーション導入時のユーザ
補助システムの提案 ○小松勇毅・高田豊雄・児玉英一郎・
王 家宏 (岩手県立大)
- ISEC-4. 自己書換え型耐タンパー技術のスマートフォン環境に
おける検証 ○吉田直樹・吉岡克成・松本 勉 (横浜国大)
- 18 日午後 SITE (12:55~14:35)
- SITE-5. 離散ウェーブレット変換による IDS のログ分析手法に
関する検討 ○木村知史・稲葉宏幸 (京都工繊大)
- SITE-6. ワールドカフェ方式の議論を取り入れた技術者倫理教
育 中西通雄 (阪工大)
- SITE-7. 小中学校における授業映像・音声等のアーカイブ化や
ネット配信に関わる倫理的諸問題
○芳賀高洋 (岐阜聖徳学園大)・大谷卓史 (吉備国際大)
- SITE-8. 情報時代における「集団プライバシー」概念の検討—
ソーシャルメディア利用との関連からの考察—
○大谷卓史 (吉備国際大)・芳賀高洋 (岐阜聖徳学園大)
- ISEC (14:50~16:30)
- ISEC-9. Arbiter PUF の FPGA 実装における評価方法に関する
一考察 ○町田卓謙・中曾根俊貴・崎山一男 (電通大)
- ISEC-10. Collision Attack on Double-Block-Length Compression
Function Using Round-Reduced AES-256
Jiageng Chen (JAIST)・○Shoichi Hirose (Univ. of Fukui)・
Hidenori Kuwakado (Kansai Univ.)・Atsuko Miyaji (JAIST)
- ISEC-11. 制御用変換及び観測用変換を用いた HyRAL に対する
高階差分攻撃 ○芝山直喜 (航空自衛隊)・
五十嵐保隆 (鹿児島大)・金子敏信 (東京理科大)
- ISEC-12. E-MAC に基づく認証暗号化方式に対する攻撃
○小林隼人・森田 啓・岩田 哲 (名大)
- 18 日午前 CSEC (10:15~11:55)
13. 格子の最短ベクトル問題における探索空間の特定
深瀬道晴 (獨協大)・柏原賢二 (東大)
14. 順序付き ID ベースアグリゲート署名についての安全性評価
岩崎友哉・稲村勝樹・岩村恵市 (東京理科大)
15. 非対称秘密分散法を用いたアプリケーションの検討
高橋 慧・岩村恵市 (東京理科大)
16. 巡回置換行列を用いず m -次元数ベクトル空間を用いて
XOR 演算だけで構成可能な $(2, 2^m)$ -閾値秘密分散法
須賀祐治 (インターネットイニシアティブ)
- 18 日午後 CSEC (12:55~14:35)
17. 大規模ネットワークにおけるセンサネットワーク向け鍵共
有方式の比較評価 金子 良・岩村恵市 (東京理科大)
18. ライブラリの置き換えによる VM 外部への安全なログ転送
方式の評価 佐藤将也・山内利宏 (岡山大)
19. 非構造テキストデータの機微情報秘匿化支援技術
及川孝徳・森川郁也・伊藤孝一・津田 宏 (富士通研)
20. プロトタイピングにおけるリスク評価のためのアセット指向
脅威モデル Asorithm の提案 大久保隆夫 (情報セキュリティ大)
- CSEC (14:50~16:30)
21. 細粒度の情報追跡による機密情報送信の動的制御手法
小倉禎幸・山内利宏 (岡山大)
22. 静的解析による Android パーミッションの利用目的の可視
化方法 坂下卓弥・小形真平・海谷治彦・海尻賢二 (信州大)
23. Android における実行コンテキストによるパーミッション切
り替え手法の提案 日置将太・齋藤彰一 (名工大)・
毛利公一 (立命館大)・松尾啓志 (名工大)
24. ユーザの意図しない情報の漏洩を防止するパーミッション動
的制御 渡邊華奈子・大月勇人・瀧本栄二・
毛利公一 (立命館大)
- 18 日午前 EMM (9:10~10:00)
- EMM-25. 定量的劣化度調節可能な DCT 係数交換による画像半
開スランブル技法におけるファイルサイズ増加抑制に関する
検討 ○島浦紳吾・原田翔平・姜 錫・坂本雄児 (北大)
- EMM-26. 電子ディスプレイ向け PDF ファイルの最適化及び情
報ハイディング技術 茂出木敏雄 (大日本印刷)
- EMM (10:15~11:55)
- EMM-27. リング状検索インタフェースの改良による iPhone ア
プリアプリケーションの実装 梶山朋子 (青学大)
- EMM-28. [パネル討論] 情報セキュリティから見た IT エンジ
ニア教育 ○青木直史 (北大)・三谷公美・藤丸真南海・
岸谷隆久・辻 順平・高橋知宏
- 18 日午後 EMM (12:55~14:35)
- EMM-29. 秘密分散法による階層的アクセス制御
○倉上高史・藤吉正明・貴家仁志 (首都大東京)
- EMM-30. 秘密分散法と属性ベース暗号を用いたコンテンツ保
護法 ○瀧本克真・藤吉正明 (首都大東京)・
今泉祥子 (千葉大)・貴家仁志 (首都大東京)
- EMM-31. 単一ドット方式を用いた情報付加手法に適した誤り
訂正符号の実装及び評価 ○北澤宏泰 (東京理科大)・
金田北洋 (キヤノ)・岩村恵市 (東京理科大)・越前 功 (NII)
- EMM-32. 拡張現実システムにおける難視性パターンの基礎検
討 ○乾 智貴 (東京理科大)・金田北洋 (キヤノ)・
岩村恵市 (東京理科大)・越前 功 (NII)
- EMM (14:50~16:30)
- EMM-33. 類似領域情報の埋め込みを利用した画像修復
○山登一輝・篠田一馬・長谷川まどか・
加藤茂夫 (宇都宮大)・田中雄一 (東京農工大)
- EMM-34. On a Data-Hiding Technique Based on Complete
Complementary Codes
○Ryusuke Mayuzumi (Univ. of Electro-Comm.)・
Tetsuya Kojima (Tokyo National Coll. of Tech.)
- EMM-35. Study on speech watermarking based on LSFs
modification for tampering detection ○Shengbei Wang・
Masashi Unoki (JAIST)
- EMM-36. An approach to Amplitude Scaling Partial Encryption
for Compressed Audio ○Twe Ta Oo・
Takao Onoye (Osaka Univ.)・Yoshihiro Shin (Univ. of Hyogo)
- 招待講演 (16:40~17:40)
37. 招待講演
- 19 日午前 ISEC (9:10~10:00)
- ISEC-1. 計算量理論的検証可能秘密分散に基づくゲートウェイ
型しきい値パスワード鍵共有 ○小林佑行・矢内直人・
西出隆志・岡本栄司 (筑波大)
- ISEC-2. 証明可能安全な RFID 所有権譲渡プロトコルの解析と
改良 森山大輔 (NICT)
- ISEC (10:15~11:55)
- ISEC-3. 超減少数列を用いたナップザック暗号 ○濱正真佑・
村上恭通 (阪電通大)

- ISEC-4. RSA 問題を用いた ID-NIKS への攻撃法
○村上恭通・濱正真佑 (阪電通大)
- ISEC-5. 多変数公開鍵署名方式 Rainbow の解析—Enrico Thomaie の解析を改良する—
○五太子政史・辻井重男 (中大)
- ISEC-6. 受信側主導による組織暗号の構想—階層型組織用多変数公開鍵, 及びフラット型組織用楕円暗号—
○辻井重男・山口 浩・只木孝太郎・五太子政史・藤田 亮 (中大)
- 19 日午後 ISEC/CSEC (12:55~14:35)
- ISEC-7. 紙の人工物メトリックシステムにおける 1:N 照合の手法について
○鈴木僚介・松本 勉 (横浜国大)
- ISEC-8. 格子マスキングを利用した Key Binding 技術の提案
○杉村由花・安田雅哉・山田茂史・安部登樹・新崎 卓 (富士通研)
9. 三角格子における最近傍点探索とそのバイオメトリック暗号への応用
米山裕太 (静岡大)・高橋健太 (日立)・西垣正勝 (静岡大)
10. 音声入力を利用した乱数生成器の開発
川村大河・中林昶明・長瀬智行 (弘前大)
- ISEC (14:50~16:30)
- ISEC-11. 事前共有鍵に基づく TLS の ID ベース暗号による拡張
○酒見由美・伊豆哲也・武仲正彦 (富士通研)・金岡 晃 (東邦大)
- ISEC-12. 楕円曲線の効率的モデルの Ate 系ベアリングへの応用
○安田貴徳 (九州先端科学技研)・高木 剛 (九大)・櫻井幸一 (九州先端科学技研)
- ISEC-13. 信号遷移回数と信号遅延量に関する考察及びサイドチャネル解析への応用
○松原有沙・李 陽・中曾根俊貴・太田和夫・崎山一男 (電通大)
- ISEC-14. アナログ情報からの RSA 秘密鍵復元アルゴリズム (その 1)
○國廣 昇・高安 敦 (東大)
- 19 日午前 CSEC (9:10~10:00)
15. 低量 DoS 攻撃を緩和する TCP 再送信タイマ管理の一検討
細井琢朗・松浦幹太 (東大)
16. ナイーブベイズを用いた攻撃予測に関する評価・考察
面 和成 (北陸先端大)
- ICSS/CSEC (10:15~11:55)
17. 組織内ネットワークにおける標的型攻撃の検知方式
山田正弘・森永正信・海野由紀・武仲正彦・鳥居 悟 (富士通研)
18. DNS ハニーポットによる不正活動観測
牧田大佑・吉岡克成・松本 勉 (横浜国大)
- ICSS-19. Time Zone Analysis on IJ MITF Dataset for Malicious Botnet Activities
○Khamphao Sisaat (Tokai Univ.)・Hiroaki Kikuchi (Meiji Univ.)・Surin Kittitornkun・Chaxiong Yukonhiatou (KMITL)・Masato Terada (Hitachi)・Hiroshi Ishii (Tokai Univ.)
- ICSS-20. nictcr によるネットワーク観測及び分析レポート—組み込みシステムに感染するマルウェア—
○中里純二 (NICT)・島村隼平 (clwit)・衛藤将史・井上大介・中尾康二 (NICT)
- 19 日午後 CSEC/ISEC (12:55~14:35)
21. 多目的コホート研究 (JPHC Study) データセットを用いた共通 ID 不在環境下におけるプライバシー保護データマイニングの事例研究
生路茂太 (ACCESS)・川村 誠 (電通国際情報システム)・魚住高志 (電通)・東 貴己 (サイバー・コミュニケーションズ)・菊池浩明 (明大)・

- 井上真奈美 (国立研研究センター/東大)
- ISEC-22. 差分プライバシーを満たすノイズの一般化に関する検討
○山中章裕・菊池 亮・五十嵐 大 (NTT)
- ISEC-23. 情報セキュリティの標準化動向について—ISO/IEC JTC1/SC27/WG2 2013 年 4 月ニュース会議報告—
○宮地充子 (北陸先端大)・近澤 武 (情報処理推進機構)・竜田敏男 (情報セキュリティ大)・渡辺 創 (産総研)・松尾真一郎 (NICT)・大熊建司 (東芝/情報処理推進機構)
24. ISO/IEC DIS 27001:2013 と ISO 22301:2012 の統合に関する一考察
頼永 忍・原田要之助 (情報セキュリティ大)
- CSEC (14:50~16:30)
25. スマホアプリにおけるアプリケーション・プライバシーポリシー掲載の現状調査
一瀬小夜・高木浩光・山口利恵・渡辺 創 (産総研)
26. Android アプリの静的解析を用いた利用 API と外部モジュール検知によるプライバシーポリシー作成支援機構
磯原隆将・川端秀明・竹森敬祐・窪田 歩 (KDDI 研)
27. アプリ/コンテンツ向けプライバシーポリシーの第三者検証フレームワーク
竹森敬祐・磯原隆将・川端秀明・窪田 歩 (KDDI 研)・高野智明 (KDDI)・可児潤也・西垣正勝 (静岡大)
28. コード解析を伴わない Android マルウェア検出方法の検証
岩本一樹 (信州大)・西田雅太 (セキュアブレイン)・和崎克己 (信州大)

- ◆情報処理学会; コンピュータセキュリティ研究会, 情報セキュリティ心理学とトラスト研究会連催
- ☆ISEC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
9 月 13 日 (金) 機械振興会館 [7 月 15 日 (月)] テーマ:一般
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合先】
岩田 哲 (名大)
TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723
E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)
- ☆SITE 研究会
- 【問合先】
鈴木一弘
E-mail: kazuhiko@tutetuti.jp
- ◎Web サイト
<http://www.ieice.org/ess/site/>
- ☆ICSS 研究会
- 【問合先】
三宅 優 (KDDI 研)
TEL [049] 278-7367, FAX [049] 278-7510
E-mail: icss-request@mail.ieice.org
- ◎最新情報は, ICSS 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/icss/index.html>
- ☆EMM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
9 月 12 日 (木), 13 日 (金) 東海大 (熊本) [7 月 5 日 (金)]
テーマ: マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技術, IP 放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合先】
新見道治 (九工大)

TEL & FAX [0948] 29-7724

E-mail : niimi@mip.ces.kyutech.ac.jp

◎最新情報は、EMM 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/iss/emm/>

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 五十嵐弓将・荒井大輔 幹事補佐 野村啓仁・大下裕一

日時 7月18日(木) 10:45~18:20

19日(金) 9:20~16:55

会場 北海道大学工学部アカデミックラウンジ3(札幌市北区北8条西8丁目。JR札幌駅北口から徒歩10分。 <http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/>)

議題 クラウドネットワーク技術、SDN、OpenFlow、プライベートネットワーク(VPN)、オーバーレイネットワーク・P2P、ネットワーク構成技術及び一般

18日午前

1. BlackSmith: 実験環境における仮想ノード群制御システム
○鍛冶祐希・井上朋哉・知念賢一・篠田陽一(北陸先端大)
2. リソースを考慮しネットワーク特性を模倣した実験ネットワークの構築ソフトウェアの設計と実装
○明石邦夫・井上朋哉・篠田陽一(北陸先端大)
3. Webサイトへのマルウェア感染攻撃対策用ブラックリスト更新周期の解析
○八木 毅・針生剛男(NTT)・大崎博之(関西学院大)・村田正幸(阪大)

18日午後

4. P2P型センサデータストリーム配信システムにおけるホップ数を考慮した負荷均等化手法
○川上朋也(神戸大)・石 芳正・義久智樹(阪大)・寺西裕一(NICT/阪大)
5. トポロジー構造に基づく局所ネットワーク間の相互接続構造の評価
○竹下結花・荒川伸一・村田正幸(阪大)
6. データセンターネットワークにおける受信ホストを考慮した光パス設定手法
○国重行洋・馬場健一・下條真司(阪大)
7. 能動的適応制御型待ち行列(AACQ)の適用領域について
○山中慧太・能上慎也(東京理科大)
8. [招待講演] Graphillion: 巨大なグラフ集合を扱うソフトウェアライブラリ
井上 武(JST ERATO)
9. [招待講演] 格子上の道順を数え上げる高速アルゴリズム
岩下洋哲(JST ERATO)
10. NWサービス機能の仮想化を考慮したネットワークアーキテクチャの検討
○北田裕之・小島久史・高谷直樹・松林泰則(NTT)
11. SDNスイッチプラットフォームの要件
波多浩昭(NTTコミュニケーションズ)
12. SDNのためのソフトウェアL3FW製品評価に関する一報告
○小山高明・岸 寿春・井上朋子・永渕幸雄・北爪秀雄(NTT)
13. 仮想マシンのマイグレーション後のネットワーク遅延を縮小する方式提案
○永渕幸雄・寺本泰大・小山高明・北爪秀雄(NTT)

19日午前

1. IEEE802.11無線LANにおけるエアタイムフェアネス達成時のフレーム衝突低減方式
○諏訪下敦規・稲井 寛(岡山県立大)

2. 無線センサネットワークにおける締切を考慮したデータ転送手法
○藤井 廉・下條真司・馬場健一(阪大)
3. 小型携帯端末内蔵の複数センサを利用した動作推定手法の提案
○鈴木彩香・阿部 亨・菅沼拓夫(東北大)
4. 標的問題に基づくマルチレート無線LAN環境のアクセスポイントにおける高速スループット予測法の検討
○濱本 亮・高野知佐(広島市大)・会田雅樹(首都大東京)・石田賢治(広島市大)
5. 複数アクセスポイントが近接する環境におけるTCP及びUDPのスループット評価
○高橋建次・小畑博靖(広島市大)・村瀬 勉(NEC)・石田賢治(広島市大)
6. 無線LAN環境におけるTCP制御とMAC制御を共用したフローQoS保証方式の特性評価
○松本博樹・小畑博靖・石田賢治(広島市大)

19日午後(15:15~)

7. 記号実行によるパケットの抽象化を用いたOpenFlowネットワークのモデル検査方式の提案
○八嶽 豊・富沢伸行・登内敏夫(NEC)
8. サービス拡張可能なLabelFlow/SDN及びInformation Centric 応用
○清水 洋・地引昌弘・朝枝 仁・西永 望(NICT)
9. 広域レイヤ2ネットワーク間のマルチパス接続手法の提案
○明石和陽・武田哲之(NTT)
10. エッジクラウドにおける予備装置の共用による装置数削減の検討
○山崎裕史・望月このみ・三澤 明(NTT)

◎19日13:00~15:00, ネットワーク仮想化時限研究会(NV)(第二種研究会)が開催されます。プログラムは<http://www.ieice.org/nv/>を参照下さい。

☆IN研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月 休会

9月12日(木), 13日(金) 東北大[7月12日(金)] テーマ: ポストIPネットワーク、次世代・新世代ネットワーク(NGN), 障害対策・BCP, ネットワークコーディング, セッション管理(SIP・IMS), 相互接続技術/標準化, ネットワーク構成管理及び一般

10月17日(木), 18日(金) 阪大[8月9日(金)] テーマ: 障害対策・BCP, 信頼性技術, セキュリティ・プライバシー保護技術, 認証/ID管理, Webサービス/SOA/ROA基盤, ソーシャルネットワーク(SNS)及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IN研究会幹事及び幹事補佐

E-mail : in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

五十嵐弓将(NTT)

TEL [0422] 59-2873, FAX [0422] 59-5671

野村啓仁(NTT)

TEL [0422] 59-3946, FAX [0422] 59-5671

◎IN研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 白井 宏 副委員長 佐藤源之
幹事 平山浩一・柴崎年彦 幹事補佐 中嶋徳正

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 黒木太司
副委員長 九鬼孝夫・中津川征士・山中宏治
幹事 河合 正・山之内慎吾 幹事補佐 清水隆志・大平昌敬

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山田博仁 副委員長 鈴木扇太
幹事 橋本俊和 幹事補佐 荒川太郎・中川剛二

★エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

専門委員長 柴田随道
副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明
幹事 大貫進一郎・柴山 純 幹事補佐 陳 春平・千葉英利

★マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会 (MWP)

専門委員長 岩月勝美 副委員長 門 勇一・寶迫 巖
幹事 関根徳彦・戸田裕之 幹事補佐 川西哲也・米本成人

日時 7月18日(木) 9:30~18:00
19日(金) 9:00~13:00

会場 稚内総合文化センター(稚内市中央3-13-23. JR:稚内駅から徒歩約5~8分. <http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/kyoiku/kakusyushisetsu/bunkacenter.html> 田口健治(北見工大))

議題 マイクロ波フォトニクス技術, 一般

18日午前 EST1(会場A)(9:30~10:45)

- 円柱座標系用 CPML の性能評価 ○大寺康夫・広瀬 遥・山田博仁(東北大)
- 空孔付ポスト壁導波路の挿入損失の基板厚依存性
○鈴木達也・須賀良介・橋本 修(青学大)
- 微細構造の等価誘電率計算のための静電界解析
○平野拓一・広川二郎・安藤 真(東工大)

EMT1(会場A)(11:00~12:15)

- 基本ビームモードを用いた成形ビームアンテナの初期鏡面設計法
○瀧川道生・稲沢良夫・片木孝至(三菱電機)
- 微小ダイポールを波源とする完全導体円板による散乱界
○木下照弘(東京工芸大)・黒木啓之・柴崎年彦(都立産技高専)
- 自由空間法によるミリ波帯での集光型誘電体レンズアンテナの特性評価に関する検討
○堤 淳一・平山浩一・杉坂純一郎・安井 崇(北見工大)

18日午後 EST2(会場A)(13:15~14:55)

- DC印加によるミキサの2次ひずみ補正システム
○藤原孝信・堤 恒次・谷口英司(三菱電機)
- トラヒック特性を考慮した通信用 SoC 消費電力推定方法の提案
○草場 律・鶴澤寛之・川村智明・川合健治・有川勇輝・重松智志(NTT)
- Sakurai-Sugiura 射影法を用いた多層電磁波導波路の分散方程式の数値解析
佐藤慎悟(室蘭工大)・
○嶋田賢男(津山高専)・長谷川弘治(室蘭工大)
- 主翼からの反射波を考慮した航空機内部の無線 LAN 電波伝搬特性評価
○白船雅己・日景 隆・野島俊雄(北大)

二ッ森俊一・河村暁子・米本成人(電子航法研)

EST3(会場A)(15:10~16:25)

- Thermal modeling of fetus and its application to dosimetry
○Akimasa Hirata・Yuri Ishii・Tomoki Nomura・
Ilkka Laakso(NITech)
- PyLAF による FDTD シミュレーションプラットフォームの試作
○塩見英久・岡村康行(阪大)
- MMIC 受動素子放射界の GPGPU 利用 FDTD 解析(その2)
森田長吉(MWSラボ)

EST 招待講演(会場A)(16:40~18:00)

- [招待講演] 半導体デバイス・シミュレーション—30年間の進展—
執行直之(東芝)
- [特別招待講演] グラフェンテラヘルツデバイス研究のためのシミュレーション技術
佐野栄一(北大)

18日午前 OPE1(会場B)(9:30~10:45)

- ピスマス添加石英光ファイバの光増幅特性
○小林壯一・高橋未紀・藤井達也(千歳科技大)・藤井雄介(フットニクサイエンステクノロジー)
- 楕円ホールコア円形ホールホーリーファイバを用いた偏波分離素子の設計
○張 沢君・辻 寧英(室蘭工大)・江口真史(千歳科技大)
- 共鳴導波型光ファイバの基礎特性の解析
○広瀬 遥・大寺康夫・山田博仁(東北大)

MW1(会場B)(11:00~12:15)

- 電流モード DAC を用いた 5 GHz 帯 CMOS ダイレクトデジタル RF 変調器
○和田 平・タトアン・谷藤正一・亀田 卓・末松憲治・高木 直・坪内和夫(東北大)
- 放射光エッチングによる 180 GHz 帯テフロン導波管の試作と評価
○岸原充佳(岡山県立大)・木戸秀樹・山口明啓・内海裕一・太田 勲(兵庫県立大)
- 遮断 TM モードを利用した左手系導波路の構成法—円形 TM01 モード及び方形 TM11 モードの利用—
○岸原充佳(岡山県立大)・太田 勲(兵庫県立大)

18日午後 OPE2(会場B)(13:15~14:55)

- 石英 MMI カプラ型モード・コンバータ・スプリッタの構造最適化に関する検討
○佐々木駿一・安井 崇・杉坂純一郎・平山浩一(北見工大)
- Fundamental 法を用いたフルベクトルビーム伝搬法の再定式化
仁藤雄大・○柴山 純・山内潤治・中野久松(法政大)
- 高次直列結合量子井戸マイクロリング波長選択スイッチ
○荒川太郎・神谷 宙・池原広樹・カトフ レドワン・國分泰雄(横浜国大)

25. 広帯域・高密度オンボードインターコネクタへむけたポリマー光導波路の構造設計
○木下達夫・石樽崇明(慶大)

MWP1(会場B)(15:10~16:25)

- 光ヘテロダイン検波を用いた高位相安定光マイクロ伝送
○原口英介・松沢博史・秋山智浩・安藤俊行・平野嘉仁(三菱電機)・宮村 良(三菱電機特機システム)・前坂比呂和・大島 隆・松原伸一・大竹雄次(理研)

27. A phase stabilized quadruple OTDM multiplier for RZ/CS-RZ optical clock with a flat-top optical bandpass filter
○Pierre Buechler・Masato Otsuki・Hiroyuki Toda(Doshisha Univ.)

28. 光ヘテロダイン角度センサの基礎的検討
○安藤俊行・原口英介・鈴木二郎(三菱電機)

MWP2(会場B)(16:40~17:55)

29. 超高速光変調器によるミリ波帯マルチバンド RoF 伝送システムの検討 ○菅野敦史・小川博世・川西哲也 (NICT)・柴垣信彦・羽生 広 (日立)
30. 空港面監視システムへの RoF の応用 ○本田純一・角張泰之・古賀 禎・宮崎裕巳・島田浩樹・松永圭左・二瓶子朗 (電子航法研)
31. 光電波融合技術によるマイクロ波無線設備の耐雷性能向上—設備構成の提案と回線設計— 池田研介 (電中研)
- 19 日午前 EMT2 (会場 A) (9:00~10:40)
- 導波路系の端面による平面波の散乱—高次項の寄与— 小見山 彰 (阪電通大)
 - トポロジー最適化を用いたハイブリッド遺伝的アルゴリズムによる分散特性最適化の検討 ○後藤裕之・辻 寧英 (室蘭工大)・安井 崇・平山浩一 (北見工大)
 - モノスタティック RCS を用いた柱状導体散乱体の再構成アルゴリズムについて 白井宏 (中大)
 - 地中レーダによる埋設物の識別に関する実験的検討 吉田大祐・西本昌彦・太田 亘・田邊将之 (熊北大)
- EST4 (会場 A) (10:55~13:00)
- 深度センサを用いた高速な FDTD 実環境数値モデルの構築 ○今野海航・園田 潤 (仙台高専)・金澤 靖 (豊橋技科大)・佐藤源之 (東北大)
 - 関数展開法に基づく 3 次元光導波路のトポロジー最適設計における関数系の検討 ○加藤 駿・辻 寧英 (室蘭工大)・安井 崇・平山浩一 (北見工大)
 - 市街地交差点における 2 次元 FDTD 法を用いた 700 MHz 帯 3 次元電波伝搬特性の推定に関する一検討 ○田口健治・今井 卓・柏 達也・川村 武 (北見工大)
 - 積分方程式法による金属ナノ粒子の近接場光解析—粒子形状とプラズモンモードの関係— 大貫進一郎・奥田太郎・竹内 嵩・岸本誠也 (日大)
 - 多段平行三線路を用いた UWB バンドパスフィルタの理論合成 ○小田純矢・陳 春平・鎌田克洋・加藤文政・穴田哲夫 (神奈川大)・馬 哲旺 (埼玉大)
- 19 日午前 MWP3 (会場 B) (9:00~10:40)
- 電圧制御された終端を持つ 0 次共振器 ○福田純子・上田哲也・門 勇一 (京都工繊大)・伊藤龍男 (カリフォルニア大ロサンゼルス校)
 - 非線形光学結晶充填方形導波管を用いたミリ波信号生成デバイスの解析と光信号処理への応用 ○高島佑介・村田博司・岡村康行 (阪大)
 - 超平坦光コム発生器を用いた高精度テラヘルツ波発生 ○諸橋 功・入交芳久・坂本高秀・関根徳彦・川西哲也・安井元昭・寶迫 巖 (NICT)
 - ダブルアンテナ電極アレイを用いたミリ波帯電気光学変調器 ○高武直弘・村田博司・岡村康行 (阪大)
- MW2 (会場 B) (10:55~12:35)
- Bootstrap 形ドライバ回路内蔵高速 GaN HEMTs バックコンバータの試作結果 ○新庄真太郎 (三菱電機)・Young-Pyo Hong・向井謙治・Hamed Gheidi・Peter M. Asbeck (UCSD)
 - 共振器並列形帯域通過フィルタの挿入損の計算式とその理論面及び応用面の検証 ○大平昌敬・馬 哲旺 (埼玉大)
 - Negative Impedance Converter による Non-Foster 素子の実現と狭帯域フィルタ設計への応用 ○金子卓也・高木渉吾・松原里紗・堀井康史 (関西大)

17. C 面, A 面, R 面サファイア基板のミリ波帯における複素誘電率測定 ○江幡秋人・清水隆志・古神義則 (宇都宮大)
- ◆電気学会: 電磁界理論技術委員会連催
- ◎18 日研究会終了後に, 会場近くの車屋・源氏で懇親会を企画しております.
- <http://www.saihoku.net/shop/kurumaya-genji/>
- 会費は 4,500 円程度で, 稚内名物の「たこしゃぶ」を御堪能頂く予定です. 奮って御参加下さい.
- ☆EMT 研究会
- 【問合せ先】
- 平山浩一 (北見工大)
- E-mail: emt-secretary@ns.ieice.org
- ◎最新情報は, EMT 研究会ホームページを御覧下さい.
- <http://www.ieice.org/~emt/jpn/>
- ☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
- 9 月 12 日 (木), 13 日 (金) NHK 技研 [7 月 10 日 (水)]
- テーマ: マイクロ波ミリ波, 一般
- 10 月 24 日 (木), 25 日 (金) 東北大青葉山キャンパス [8 月 12 日 (月)]
- テーマ: EMC 一般, マイクロ波, 電磁界解析
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
- <http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合せ先】
- 嶋田浩和 (ATR)
- TEL [0774] 95-1541, FAX [0774] 95-1508
- E-mail: kamoda@atr.jp
- 加屋野博幸 (東芝)
- TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801
- E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp
- ☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
- 8 月 29 日 (木), 30 日 (金) サンリフレ函館 [締切済] テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般
- 【問合せ先】
- 橋本俊和 (NTT フォトニクス研究所)
- 〒243-0198 厚木市森の里宮宮 3-1
- TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365
- E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp
- 荒川太郎 (横浜国大)
- 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5
- TEL [045] 339-4143, FAX [045] 338-1157
- E-mail: arakawa@ynu.ac.jp
- 中川剛二 (富士通研)
- 〒211-8588 川崎市中原区上小田中 4-1-1
- TEL [044] 754-2643, FAX [044] 754-2640
- E-mail: gnakagawa@jp.fujitsu.com
- ◎OPE 研究会ホームページ
- <http://www.ieice.or.jp/es/ope/>
- ◎OPE 研究会では, H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました. 学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので, 積極的な御投稿をお待ちしています. 詳細は研究会 HP を御覧下さい.
- ☆EST 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
- 10 月 24 日 (木), 25 日 (金) 東北大青葉山キャンパス [8 月 12 日 (月)]
- テーマ: EMC 一般, マイクロ波, 電磁界解析
- 【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
- <http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>
- 【問合せ先】

陳 春平 (神奈川大)

E-mail: est-entry@mail.ieice.org

☆MWP 研究会

【問合せ先】

戸田裕之 (同志社大)・川西哲也 (NICT)

E-mail: mwp-inquiry@mail.ieice.org

◎最新情報は、MWP 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~mwp/>

★データ工学研究会 (DE)

専門委員長 木俣 豊 副委員長 中島伸介・天笠俊之

幹事 吉田尚史・瀧本明代 幹事補佐 新谷隆彦・神崎映光

期日 7月22日(月), 23日(火)

会場 北海道大学札幌キャンパス学术交流会館(札幌市北区北8西5丁目。JR:札幌駅下車, 徒歩10分。http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/hall/)

議題 ビッグデータを対象とした管理・情報検索・知識獲得及び一般

1. マイクロブログ文書の選択による擬似適合フィードバック
○宮西大樹・関 和広・上原邦昭(神戸大)
2. SSDを利用したリレーショナルデータベースにおける大規模意思決定支援クエリ処理性能の特性
○鈴木恵介・早水悠登・中野美由紀・喜連川 優(東大)
3. 大規模データに対する情報損失の少ないk-匿名化手法
○村上啓介(青学大)・宇野毅明(NII)
4. Context Oriented Analysis of Interest Reflection of Tweeted Webpages based on Browsing Behavior
○Hao Han(Kanagawa Univ.)・Hidekazu Nakawatase(NII)・Keizo Oyama(NII/SOKENDAI)
5. マイクロブログにおける対話ネットワークと投稿内容を併用したユーザー推薦に関する一考察
○岡本大輝・豊田正史・喜連川 優(東大)
6. マイクロブログを用いた鉄道の運行トラブル状況抽出に関する一検討
○土屋 圭・豊田正史・喜連川 優(東大)
7. 移動ロボットデータベースにおける問合せ処理
○杉浦健人・早矢仕 新・石川佳治(名大)
8. web コンテンツのジャンル推定に向けた実用的な2段階SVMの構築
○松本一則・服部 元・小川圭介・橋本真幸(KDDI 研)

◆情報処理学会; データベースシステム研究会, 情報基礎とアクセス技術研究会連催

◎プログラムは後日決定となりますので, 発表順, セッション会場, 割当て時間等は全て暫定的なものになります。プログラムが確定し次第, 確定版を Web に掲載致します。

【問合せ先】

DE 研究会幹事

E-mail: de-org@mail.ieice.org

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 新井宏之 副委員長 長 敬三

幹事 高橋 徹・榊原久二男 幹事補佐 道下尚文

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 上羽正純 副委員長 榎木勘四郎・豊嶋守生

幹事 今田諭志・山下史洋

◎本研究会は A・P 研究会と SAT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 7月23日(火) 13:30~16:45

24日(水) 9:30~16:50

25日(木) 9:30~16:45

会場 サン・リフレ函館中会議室(A会場), 大会議室(B会場)
(函館市大森町2-14。JR 函館駅から徒歩15分または市電松風町停留所から徒歩10分。http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/keizai/roudou/s-refre/access/address.html TEL [0467] 41-2533 高橋 徹(三菱電機))

議題 衛星通信, 一般

23日午後 A・P 研(A会場)

- A・P-1. 葉状ボウタイ素子を用いた MIMO 用広帯域アンテナ
○木村 準・山本 学・野島俊雄(北大)
- A・P-2. 対称台形素子装荷マルチバンド小形アンテナの周波数特性
○角 誠(NTTドコモ)・長 敬三(千葉工大)
- A・P-3. HBC デバイス装着によるシステムの周波数特性の検討
○石田真将・須郷剛裕・ロスリナ ビンティ アブドゥルラザック・前山利幸(拓殖大)
- A・P-4. 人体影響低減のための携帯電話用内蔵アンテナの設計法
○昆 輝・新井宏之(横浜国大)・高瀬 実(スタッフ)
- A・P-5. 2素子アレーアンテナにおけるブリッジ線路と抵抗を用いた減結合回路の特性解析
○李 書墨・本間尚樹(岩手大)
- A・P-6. 金属板装荷キャパシタンスグリッドを用いた AMC 基板上に置かれたダイポールアンテナの特性
○林 秀幸・牧野 滋・別段信一・野口啓介・廣田哲夫・伊東健治(金沢工大)・諸谷徹郎(金沢高専)
- A・P-7. リングセルを実現するための GA による指向性合成法
○陸田裕子・恵比根佳雄(電業工作)

24日午前 A・P 研(B会場)

- A・P-1. Ku 帯衛星回線における前線の種類別に依じたサイトダイバーシティによる降雨減衰対策について
○前川泰之・柴垣佳明・高見友幸(阪電通大)
- A・P-2. 圧縮センシング法に基づく散乱体検出に関する検討
○草野 薫・小川恭孝・西村寿彦・大鐘武雄(北大)
- A・P-3. 可変トランスミットアレーによる電波伝搬環境改善の実験的評価
○高橋雄太・本間尚樹(岩手大)

SAT 研(B会場)

- SAT-4. 将来の航空機・衛星プロジェクトをサポートする光宇宙通信地上ネットワーク設備のコンセプト
○豊嶋守生・宗正 康・竹中秀樹・高山佳久・小山善貞・國森裕生・久保岡俊宏・鈴木健治・山本伸一・平良真一・辻 宏之・中澤勇夫・秋岡眞樹(NICT)
- SAT-5. UAS における遅延を考慮した軌道制御に関する研究
○高石大介・西山大樹・加藤 寧(東北大)・三浦 龍(NICT)

24 日午後 SAT 研 (B 会場)

SAT-6. C 帯における固定衛星システムと IMT-Advanced システムの共用に関する一検討 ○福家直樹・高橋徳雄・村田 靖 (KDDI)

SAT-7. ひまわり 8 号 9 号搭載 Ka 帯コンバイナの設計及び試験評価 ○岡垣 亨・高津寿三鈴・大嶺裕幸・磯部昌徳 (三菱電機)

SAT 研 招待講演 (B 会場)

SAT-8. [招待講演] 最近の衛星通信地球局における技術動向 (仮) 富士 剛 (三菱電機)

A・P 研 アンテナの歴史委員会特別講演 (B 会場)

A・P-9. [特別講演] マイクロストリップアンテナ回想録 (口頭発表) 鈴木康夫 (東京農工大)

IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演 (B 会場)

A・P-10. [特別講演] スマートフォンの現状 (口頭発表) 板倉仁嗣 (NTT ドコモ)

25 日午前 SAT 研 (B 会場)

SAT-1. 衛星中継器の帯域と電力を最大利用するマルチドメイン回線割当アルゴリズムの提案 ○中平勝也・増野 淳・阿部順一・杉山隆利 (NTT)・夜船誠致 (ATR)

SAT-2. Experimental Performance of a Poly-Polarization Multiplexing System ○Webber Julian・Masanori Yofune・Kazuto Yano・Hiroshi Ban・Kiyoshi Kobayashi (ATR)

A・P 研 SAT 研 チュートリアル講演 (B 会場)

共通-3. [チュートリアル講演] 衛星/地上共用携帯電話システムの開発と現状 ○辻 宏之・三浦 周・岡田和則・織笠光明 (NICT)・藤野義之 (東洋大)・豊嶋守生 (NICT)

SAT 研 (B 会場)

SAT-4. 地上/衛星共用携帯電話システムの収容局数評価について ○三浦 周・辻 宏之 (NICT)・遠藤邦夫 (NEC)・藤野義之 (東洋大)・豊嶋守生 (NICT)

SAT-5. 衛星/地上統合移動通信システムにおける回線品質閾値付きダイナミックチャネル割当方式の特性評価 ○藤田 順・梅比良正弘 (茨城大)

25 日午後 A・P 研特別講演 (B 会場) (13:30~)

A・P-6. [特別講演] Beam Shaping Reflector on the curved surface (口頭発表) Young Joong Yoon (Yonsei Univ.)

A・P 研 (B 会場)

A・P-7. 屋外環境 MIMO センサのアンテナ配置法の検討 ○今野恵太・本間尚樹 (岩手大)・西森健太郎 (新潟大)・恒川佳隆 (岩手大)

A・P-8. ユーザスケジューリングを併用したビーム選択型ブロック対角化 MU-MIMO 伝送の特性評価 ○西森健太郎 (新潟大)・平栗健史 (日本工大)

A・P-9. Fundamental Study on Stable Marriage Type Node Pair Selection Scheme for MIMO Multiuser System ○Tetsuki Taniguchi・Yoshio Karasawa・Nobuo Nakajima (Univ. of Electro-Comm.)

A・P-10. スペクトラム拡散を用いた MIMO チャネルの高速 FDTD 解析法の評価 ○太内田一真・本間尚樹・恒川佳隆 (岩手大)

A・P-11. 方位と周波数を同時推定する 2 次元 MUSIC の高速演算方式 ○鈴木信弘・平田和史 (三菱電機)

◆IEEE AP-S Japan Chapter, URSI-F 共催

◎24 日研究会終了後に、懇親会を開催致しますので、奮って御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8 月 29 日 (木), 30 日 (金) ヴェルクよこすか [締切済]
テーマ: メタマテリアル, 一般

9 月 12 日 (木), 13 日 (金) NHK 技研 [7 月 10 日 (水)]
テーマ: マイクロ波ミリ波, 一般

10 月 3 日 (木), 4 日 (金) 金沢大サテライトプラザ [8 月 10 日 (土)] テーマ: 測定, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

榊原久二男 (名工大)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

☆SAT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8 月 29 日 (木), 30 日 (金) 信州大 [締切済] テーマ: 移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

10 月 24 日 (木), 25 日 (金) 福岡市内 [未定] テーマ: 衛星通信技術及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

SAT 研究会幹事

E-mail: sat_ac-sec@mail.ieice.org

★ソフトウェアサイエンス研究会 (SS)

専門委員長 中島 震 副委員長 結縁祥治
幹事 鷲崎弘宜・高田喜朗 幹事補佐 小林隆志

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正
幹事 糸野文洋・竹内広宜 幹事補佐 後藤隆彰・青木善貴

日時 7 月 25 日 (木) 11:30~17:40

26 日 (金) 9:30~17:20

会場 北海道立道民活動センター [かでの 2.7] (札幌市中央区北 2 条西 7 丁目。JR 札幌駅: 徒歩 12 分。 <http://homepage.kaderu27.or.jp/intoro/access/> TEL [011] 204-5100 鷲崎弘宜)

議題

25 日午前

1. Automated Error Localization with Weighted Partial Maximum Satisfiability

○Si-Mohamed Lamraoui・Shin Nakajima (NII)

2. 異なるスキーマ間に対応する SQL 文の整合性の Alloy Analyzer を用いた一検証手法

○藤田悠矢・岡野浩三・楠本真二 (阪大)

25 日午後 (13:30~)

3. クラス責務割り当て問題へのファジィ制約充足問題の適用

○柳田拓人 (静岡大)・林 晋平・

佐伯元司 (東工大)・三村秀典 (静岡大)

4. 設計進度に応じた設計モデルの段階的なシタックスチェック手法の提案

○村上正敏・中川雄一郎・西山晴彦・三部良太 (日立)

5. 不具合の発生したソフトウェアの実行を継続する一手法の提案

○渡部 聡・杉山安洋 (日大)

6. 数理計画モデルを用いたコードレビュー計画に対するフィル

- タリングの効果について ○井上慎也・阿萬裕久(愛媛大)
7. 滑らかな設計抽象化
○鶴林尚靖・艾 迪・細合晋太郎・亀井靖高(九大)
8. 文字コード変換による注目文字の出現及び消失の有限状態オートマトンによる定式化 西田誠幸(拓殖大)
9. 状態マシン図を用いたスマートフォンアプリのモデル化
○落水恭介・横川智教(岡山県立大)・
宮崎 仁(川崎医療福祉大)・佐藤洋一郎・
有本和民(岡山県立大)
10. 反復型アプローチによるソフトウェア機能の搜索と識別の改善
○風戸広史(NTT 先端技術)・林 晋平・
小林隆志(東工大)・大島剛志・宮田俊介・
夏川勝行・星野 隆(NTT)・佐伯元司(東工大)

26 日午前

1. 例外処理を含む関数型プログラム停止性証明のための条件付き依存対法
○濱口 毅・酒井正彦(名大)
2. [奨励講演] C 言語初学者向けツール C-Helper の実践評価
○内田公太・権藤克彦(東工大)
3. Malbolge のワード長の拡大とそのプログラミング支援ツール
○加藤起騎・酒井正彦・坂部俊樹・
草刈圭一朗・西田直樹(名大)
4. モデリング能力育成を目的としたユースケース記述の自動評価手法
○松井駿介・野呂 惇・岡田康治・
加藤 真・渡辺大貴・松浦佐江子(芝浦工大)
5. セキュリティモデルのための文脈の表現とその利用
飯島 正(慶大)

26 日午後(13:10~)

6. モデル検査技術の開発現場への適用一仕様とソースコードの齟齬の発見—
○青木善貴(日本エニス)・松浦佐江子(芝浦工大)
7. UML 要求分析モデルへのモデル検査技術適用による実現可能性の検証
○青木善貴(日本エニス)・
松浦佐江子(芝浦工大)・小形真平(信州大)
8. PBL への DaaS 開発環境の導入事例
○細合晋太郎・亀井靖高・大迫周平(九大)・
井垣 宏(阪大)・鶴林尚靖・福田 晃(九大)
9. Portland Pattern Repository におけるソフトウェアパターンに対するネットワーク分析
○鷺崎弘宜(早大)・
川村 健(USOL 東京)・角谷将司・深澤良彰(早大)
10. 一時変数除去の自動化によるメソッドの抽出リファクタリング支援
○田島香織・大森隆行・丸山勝久(立命館大)
11. 修正実績に基づく重複コード除去支援の試み
○肥後芳樹・楠本真二(阪大)
12. CRD の類似度に基づくコードクローン追跡手法
○堀田圭佑・肥後芳樹・楠本真二(阪大)
13. 任意粒度機能モデルに基づくコードクローン検出アルゴリズムの改良
神谷年洋(公立ほくほ未来大)

◎25 日の研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。詳細は別途御案内致します。

☆SS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 24 日(木), 25 日(金) IT ビジネスプラザ武蔵(金沢市内) [未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鷺崎弘宜(早大)

TEL & FAX [03] 5286-3272

E-mail: washizaki@waseda.jp

◎最新の情報は SIGSS 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/sigss/>

☆KBSE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9 月 12 日(木), 13 日(金) 電通大 [未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

松浦佐江子(芝浦工大)

E-mail: matsuuura@se.shibaura-it.jp

◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 木村光宏 副委員長 馬渡宏泰

幹事 安里 彰・岡村寛之

幹事補佐 田村信幸・マラット ザニケエフ

日時 7 月 26 日(金) 13:30~17:10

会場 ホテルオホーツクパレス紋別(紋別市幸町 5-1-35)

<http://op-hotel.com/t/access/> TEL [0158] 26-3600 (会場)
田村信幸)

議題 信頼性理論, 通信ネットワークの信頼性, 信頼性一般

1. 離散化 NHPP モデルに基づいたソフトウェア信頼性評価尺度のブートストラップ区間推定 ○井上真二・山田 茂(鳥取大)
2. クラウドコンピューティングに対する信頼性評価のためのネットワークトラフィック依存型ジャンプ拡散モデルに関する考察 ○田村慶信(山口大)・宮岡健太・山田 茂(鳥取大)
3. ソフトウェアメトリクスとフォールト記録による高精度フォールト予測 ○岡村寛之・土肥 正(広島大)
4. メトリクスデータを活用した一般化 Cox 回帰に基づくソフトウェア信頼性モデリング 久和大祐・○土肥 正(広島大)
5. 消費者問題へ助言のためのトラブル未然防止技法の一研究—消費者視点の FMEA/FTA— 益田昭彦(東京理科大)
6. 多状態連続 k-out-of-n; F システムにおける最適配置の傾向 ○谷口 航・山本久志(首都大東京)・秋葉知昭(千葉工大)
7. 構造化 P2P ネットワークの評価に関する一考察 ○遠藤知輝(首都大東京)・新井雅之(日大)・福本 聡(首都大東京)
8. 優先補給を導入した 2 段階整備システムの効果に関する検討 ○會津陽介・弓削哲史・柳 繁(防衛大)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催 日本信頼性学会協賛

◎研究会終了後は懇親会を予定しております。発表者及び共同研究者以外で参加を御希望の場合は必ず田村(会場世話人)まで御連絡下さい。

☆R 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8 月 29 日(木), 30 日(金) サンリフレ函館 [締切済] テーマ: 光部品・電子デバイス実装技術・信頼性, 及び一般

10 月 18 日(金) kyutech プラザ [8 月 14 日(水)] テーマ: 信頼性一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

田村信幸 (法政大)

TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126

E-mail: tamura@hosei.ac.jp

★モバイルネットワークとアプリケーション研究会(MoNA)

専門委員長 井上真杉 副委員長 森野博章

幹事 北形 元・金子晋文

幹事補佐 小林基成・上坂大輔・大和田泰伯

日時 8月1日(木) 14:30~17:40

2日(金) 9:45~12:30

会場 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

<http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap>

議題 モバイルネットワーク, モバイルアプリケーション, モバイルマルチメディア, モバイルサービス及び一般

1日

1. A Knowledge-based Method for Autonomous Failure Isolation and Recovery Support ○Khamisi Kalegele・

Yusuke Tanimura・Johan Sveholm・Kazuto Sasai・Gen Kitagata・Tetsuo Kinoshita (Tohoku Univ.)

2. 複数要因を総合的に考慮した夕食レシピ推薦手法の提案

○伊原啓晃・玉井森彦・安本慶一(奈良先端大)

3. 共有空間の「ひと」「くうき」「きもち」を一体化する「ひとたび」のコンセプトとビッグデータに向けた実証実験

○山口弘純・廣森聡仁・樋口雄大・内山 彰・梅津高朗・東野輝夫・孫 為華・下條真司・山口容平・下田吉之(阪大)

4. ドップラーセンサを用いた機械学習型ハンドジェスチャ識別手法

○追川純也・上岡英史(芝浦工大)

5. 重量センサを利用した冷蔵庫内のモノの種類及び残量推定システムの提案

○山下 徹・水本旭洋・安本慶一・玉井森彦(奈良先端大)

6. Bluetoothの接続関係を用いた鉄道における乗車車両推定法の提案

○前川勇樹・内山 彰・山口弘純・東野輝夫(阪大)

7. 人体通信における歩行の影響

○滝口清昭・河野賢司・近田恭之(東大)

2日

1. ミリ波帯無線アクセスゲートシステムにおける移動予測精度がコンテンツ取得率とトラフィック量に及ぼす影響

○谷崎雄太(東工大)・佐々木 力・田上敦士(KDDI研)・山岡克式(東工大)

2. 無線メッシュネットワークにおける移動送信端末をサポートする2階層マルチキャストの中継ルータ配置手法

○飯尾亮真・森野博章(芝浦工大)

3. NerveNetのテストベッドとデモンストレーションについて—災害に強くスマートな街づくりに向けて—

○井上真杉・大和田泰伯・浜口 清・三浦 龍(NICT)

4. SOScastにおける現状の問題分析と今後の展開シナリオに関する一検討

○櫻原 茂(奈良先端大)・妙中雄三(東大)・ジェーン ルイ フレスコ ザモーラ・

山口 英(奈良先端大)

5. 大規模災害時のための不揮発性ネットワークの提案

○北形 元・笹井一人・高橋秀幸・木下哲男(東北大)

6. 都市災害における避難行動シミュレーションとローカルな情報共有による効果

○大和田泰伯・井上真杉・浜口 清・

第一種研究会開催案内

三浦 龍・原井洋明(NICT)

☆MoNA 研究会今後の予定 []内発表申込締切日

9月12日(木), 13日(金) 金沢工大[未定] テーマ: モバイル・マルチメディア通信, アプリケーション・サービス, 協調システム, 及び, これらの品質と技術の社会的側面, 一般(仮)

11月21日(木), 22日(金) 熊北大[9月13日(金)] テーマ: ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース, モバイルアプリケーション及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

北形 元(東北大)・金子晋文(慶大)

E-mail: momuc-sec-contact@mail.ieice.org

——東北支部における開催——

★医用画像研究会(MI)

専門委員長 清水昭伸 副委員長 増谷佳孝・森 健策

幹事 河田佳樹・木村裕一 幹事補佐 北坂孝幸・本谷秀堅

日時 7月18日(木) 10:05~17:35

19日(金) 9:30~15:00

会場 東北大学片平キャンパス・さくらホール(仙台市青葉区片平2-1-1. <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/sakura/newpage1.html> 伊藤康一)

議題 計算解剖学における数理モデルの深化と応用展開

18日午前 テーマセッション1

1. 医用画像中の曲線構造のパラメトリックな記述

○後藤秀聡・本谷秀堅(名工大)

2. 新たな解剖学的ランドマーク空間分布モデルの推定法によるランドマーク検出性能の試み—Smoothly Clipped Absolute Deviation (SCAD) と Graphical lasso との比較—

○花岡昇平・増谷佳孝・根本充貴・野村幸弘・三木聡一郎・吉川健啓・林 直人・大友 邦(東大)

3. 解剖学的ランドマークのあいまい性とアピアランスモデルによる検出能について

○増谷佳孝・根本充貴・花岡昇平・

林 直人・大友 邦(東大医学部附属病院)

4. 部分医用画像に対する臓器位置合わせ

○神谷叔季・

本谷秀堅(名工大)

18日午後 一般セッション1(13:15~)

5. 肺がんCT検診における肺気腫の経年解析

○水口竜治・

鈴木秀宜・河田佳樹・仁木 登(徳島大)・

中野恭幸(滋賀医科大)・大松広伸・楠本昌彦・

土田敬明(国立がん研究センター)・江口研二(帝京大)・

金子昌弘(東京都予防医学協会)・森山紀之(国立がん研究センター)

6. 3次元腹部CT像及び磁気センサを用いた大腸内視鏡トランキング手法の開発

○近藤弘明・小田昌宏・

古川和宏(名大)・北坂孝幸(愛知工大)・森 健策(名大)

7. グラフカットを用いた疾患股関節三次元CT画像からの骨盤・大腿骨領域の精密抽出

○横田 太(神戸大)・

岡田俊之・高尾正樹・菅野伸彦(阪大)・多田幸生(神戸大)・

富山憲幸・佐藤嘉伸(阪大)

テーマセッション2

8. 任意曲面への脳表メッシュモデルの写像 ○宮内翔子・諸岡健一・宮城 靖・辻 徳生・倉爪 亮 (九大)
9. 変形マトリクスを用いた脳形態加齢変化の検出 ○佐藤和則 (東北大)・呉 凱・福田 寛 (東北薬大)
10. PET/CT における脳アミロイド沈着定量の標準化 ○佐々木 啓・湯浅哲也 (山形大)・松田博史・舞草伯秀 (NCNP)・今林悦子 (老人医療)

特別講演1

11. [特別講演] サイバーメディシン—VR リハビリから被災地医療まで— 吉澤 誠 (東北大)

19日午前 一般セッション2

1. 救急腹部CT画像のためのコンピュータ支援診断システムの開発 ○原 武史 (岐阜大)・坂下恵治 (阪府泉州救命救急センター)・周 向榮・村松千左子・山口由津穂・藤田広志 (岐阜大)
2. 超音波画像診断のための高精度造影剤検出手法の検討 ○伊藤康一・野呂和正・柳沢ゆかり・阪本真弥・森 士朗 (東北大)・志賀清人 (岩手医科大)・小玉哲也・青木孝文 (東北大)

特別講演2

3. [特別講演] 微分幾何学から見た統計モデルの幾何学 松添 博 (名工大)

19日午後 特別講演3 (12:50~)

4. [特別講演] ディープラーニングによる特徴学習と画像認識への応用 岡谷貴之 (東北大)

テーマセッション3

5. 3次元CT像からの疾病を含む肝臓認識に関する検討 ○梅津 駿・清水昭伸・渡部秀文 (東京農工大)・縄野 繁 (国際医療福祉大)
6. 症例の類似性を考慮した複数臓器の確率的アトラスの構築と評価 ○渡辺篤人・周 向榮・陳 華岳・原 武史・横山龍二郎 (岐阜大)・兼松雅之 (岐阜大医学部附属病院)・星 博昭・藤田広志 (岐阜大)

☆MI研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月13日(金) 千葉大〔未定〕テーマ:診断と治療の質を高める画像化・統合化技術

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

【問合先】

医用画像研究会世話人

E-mail: mi-submit@mail.ieice.org

上記で連絡がつかないとき

北坂孝幸 (愛知工大情報科学部)

E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

本谷秀堅 (名工大情報工学科)

E-mail: hontani@nitech.ac.jp

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 山元規靖・茂木 学 幹事補佐 小館亮之

日時 7月25日(木) 15:00~17:15

26日(金) 11:00~12:00

会場 岩手県立大学アイーナキャンパス (盛岡市盛岡駅西通1-

7-1 いわて県民情報交流センター(アイーナ)7F. JR盛岡駅から徒歩4分. <http://www.aiina.jp/access/access.html> 瀬川典久)

議題 ライフログ活用技術, オフィス情報システム, 文書デジタル化の初期段階, 一般

25日

LOIS-1. 介護施設内の情報共有による問題解決手法の提案

○佐藤央渉・杉野栄二・澤本 潤 (岩手県立大)

LOIS-2. 震災時における避難所での情報集約とその活用に関する研究

○仙道 航・瀬川典久・澤本 潤・杉野栄二 (岩手県立大)

3. [招待講演] 3.11に現場で何が起きていたのか

越野修三 (岩手大)

26日

LOIS-1. GPSデータから抽出した滞在地の珍しさ推定

○藤岡大輔 (岡山大)・望月理香・渡部智樹 (NTT)・阿部匡伸 (岡山大)

LOIS-2. LOIS研究の動向分析(2)

○若原俊彦 (福岡工大)・岡本 学 (NTT)・山元規靖 (福岡工大)・茂木 学・杵渕哲也 (NTT)

◎情報処理学会; デジタルドキュメント研究会併催

◎25日研究会終了後, 意見交換会(懇親会)を予定しております。皆様是非御参加下さい。

☆LOIS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月12日(木), 13日(金) 東海大(熊本) [締切済] テーマ: マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技術, IP放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般

【問合先】

山元規靖 (福岡工大情報工学部)

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

FAX [092] 606-0758

E-mail: nori@fit.ac.jp

★音声研究会 (SP)

専門委員長 川端 豪 副委員長 河井 恒

幹事 鈴木基之・戸田智基 幹事補佐 大谷大和・大庭隆伸

日時 7月25日(木) 14:10~18:00

26日(金) 10:30~18:00

27日(土) 9:30~11:20

会場 遠刈田温泉壮鳳 (刈田郡蔵王町遠刈田温泉新地東裏山43-

1. JR仙台駅前より高速バス, 遠刈田温泉湯の町下車(約60分). <http://www.barden.co.jp/access/> TEL [0224] 34-3161 (会場) 伊藤彰則)

議題 認識, 理解, 対話, 一般

25日 雑音対策 (14:10~15:40)

SP-1. 断片的な環境測定に基づく雑音除去の検討

○町田晃平・伊藤彰則 (東北大)

SP-2. Single Channel Dereverberation by Feature Mapping Using Limited Stereo Data

○Aditya Arie Nugraha (Toyoashi Univ. of Tech.)・

Kazumasa Yamamoto

(Toyota Nat. Coll. of Tech./Toyoashi Univ. of Tech.)・

Seiichi Nakagawa (Toyoashi Univ. of Tech.)

SP-3. 騒音環境下音声認識に対する識別的アプローチの有効性

第2回 CHiME チャレンジ ○太刀岡勇気(三菱電機)・
渡部晋治・ルルー ジョナトン・ハーシー ジョン(MERL)

話者(17:30~18:00)

SP-4. 出力特徴量の状態識別と長時間特徴量を用いた区分的線形変換による声質変換 ○池島 純・鈴木雅之・齋藤大輔・
峯松信明・広瀬啓吉(東大)

26日午前 言語モデル(10:30~11:00)

SP-1. 重みベクトルの適応的正則化に基づく発音推定

○久保慶伍・サクティ サクリアニ・グラム ニュービグ・
戸田智基・中村 哲(奈良先端大)

音声対話・検索(11:20~11:50)

SP-2. 質問応答データベースに基づくマルチタスク音声対話システムのタスク作成実験 三宅真司・伊藤彰則(東北大)

26日午後 オーガナイズドセッション(招待講演)(13:20~15:20)

SP-3. [招待講演] 再訪:ニューラルネットワークによる音声処理 中川聖一(豊橋技科大)

SP-4. [招待講演] 確率的ディープラーニング入門 安田宗樹(山形大)

オーガナイズドセッション(招待講演)(17:00~18:00)

SP-5. [招待講演] 音声認識の為にディープニューラルネットワーク学習 松田繁樹(NICT)

27日午前 ロボット対話(9:30~10:00)

SP-1. 音声操作ロボットの動作とユーザ発話の音響的特徴との関係の分析 ○戸塚典子・伊藤彰則(東北大)

マルチモーダル(10:50~11:20)

SP-2. Articulatory features based talking heads using speech inversion Atef Ben-Youssef・○Hiroshi Shimodaira・
David A. Braude(Univ. Edinburgh)

◎情報処理学会; 音声言語情報処理研究会併催

◎合宿形式で行われる研究会のため、発表者を含む参加者全員事前に参加申し込みが必要となります。宿泊費は1泊3食で、14,000円を予定しております。申し込み方法等の詳細は、後日 onsei-mail ML 等で御案内致します。

【問合先】

鈴木基之(阪工大)

E-mail: moto@m.ieice.org

★イメージ・メディア・クオリティ研究会(IMQ)

専門委員長 山田光穂 副委員長 堀田裕弘・杉山賢二
幹事 中口俊哉・前田 充 幹事補佐 工藤博章・齋藤新一郎

日時 7月26日(金) 13:30~16:40

会場 岩手大学工学部銀河ホール(盛岡市上田4-3-5. JR盛岡駅からバス約15分。http://www.iwate-u.ac.jp/campusnainai/index.shtml TEL [019] 621-6006(総合窓口) 藤本忠博)

議題 CGとIMQ一般

1. セグメント化離散コサイン変換基底ホログラムの再生シミュレーション ○大河内駿太郎・大坊真洋(岩手大)
2. 卓上作業における身体動揺検出による集中度合い推定手法の検討 ○高橋恭佑・中口俊哉・川平 洋(千葉大)
3. 有彩色が無彩色の見えに与える影響 ○工藤博章・林 健史・大西 昇(名大)
4. 読書中の眼球運動研究と電子書籍への展開 ○高比良英朗・石川諒一・平木龍司・山田光穂(東海大)

第一種研究会開催案内

5. イメージメディアクオリティのコンテンツ依存性に対する基礎検討 ○稲積泰宏・堀田裕弘(富山大)

6. タブレット型PCを用いた対話的な総合レッスン学習支援システムの開発 ○澤田明宏・亀田昌志(岩手県立大)

7. TotalVariation 正則化を用いた単一画像の超解像における画質改善 ○鶴崎裕貴・亀田昌志(岩手県立大)

【問合先】

杉山賢二(成蹊大)

E-mail: sugiyama@st.seikei.ac.jp

◎IMQ 研究専門委員会ホームページ(<http://www.imqa.jp/conffcall.html>)も御覧下さい。

——信越支部における開催——

★有機エレクトロニクス研究会(OME)

専門委員長 加藤景三 副委員長 松田直樹
幹事 森 竜雄・瀧本 清 幹事補佐 鴻野晃洋・井上振一郎

日時 7月4日(木) 14:30~17:00

5日(金) 10:00~12:00

会場 トキ交流会館2階会議室(佐渡市新穂湯上1101-1. http://sougo.city.sado.niigata.jp/data/open/cnt/3/4367/1/kouryuu_kaikan_pamphlet.pdf 馬場 暁(新潟大))

議題 有機ナノ材料・構造制御, デバイス応用, 一般

4日

1. 電気化学インピーダンス法における静電相互作用の効果 ○大貫 等・横山拓也・向山茂樹・遠藤英明・津谷大樹・和泉 充(東京海洋大)
2. 光導波路及び水晶振動子微量天秤を用いた有機薄膜の堆積評価 ○新保一成・平川 諒・澁市真吾・石郷岡誠・河内啓介・馬場 暁・加藤景三・金子双男(新潟大)
3. 刺激応答型の非イオン性環状ゲル—電場応答型のヤング率変化— 山田一彦・三井亮介・○中島伸一郎(日本航空電子)
4. SiO₂ パターンのインプリント成形と薄膜トランジスタチャネルストップ層への応用 ○田中尚吾・井上 聡・下田達也(北陸先端大)
5. 酸化物コーティングメタルコア基板の絶縁特性 青木裕介(三重大)

OME-6. [招待講演] プリント集積回路に向けた積層型論理素子の作製 ○工藤一浩・小寺 勲・山内 博・国吉繁一・酒井正俊(千葉大)

5日

- OME-1. 酸化グラフェンの合成法による化学種の変化 ○坂口幸一・内野聖子・大竹亜紗美・藤戸昭徳・滝澤 登(佐賀大)・明渡邦夫(豊田中研)・中島達朗・松田直樹(産総研)・江良正直(佐賀大)
- OME-2. [招待講演] フッ素化シロール系自己組織化単分子膜の有機EL素子への応用と界面現象 森 竜雄(愛知工大)
- OME-3. [特別講演] トキ野生復帰と里山の再生 本間航介(新潟大)

◆電気学会; 誘電・絶縁材料研究会連催。電気学会; 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御調査専門委員会協賛

【問合先】

森 竜雄(愛知工大)

E-mail : t2mori@aitech.ac.jp

瀧本 清 (キノ)

E-mail : takimoto.kiyoshi@canon.co.jp

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博

幹事 新井田 統・渋谷 進・水科晴樹

幹事補佐 清河幸子・望月理香

日時 7月13日(土) 13:00~17:00

14日(日) 10:15~16:10

会場 新潟国際情報大学新潟中央キャンパス(新潟市中央区上大川前通7-1169. 市内バス JR 新潟駅万代口から本町下車(約5分), 徒歩約1分. または徒歩24分. http://www.nuis.ac.jp/pub/campus_accessmap.html#link02 TEL [025] 227-7111 白井 述(新潟大))

議題 「バーチャル空間・特殊空間の知覚・認知」, 「多感覚知覚」, 及びヒューマン情報処理一般

13日

- 健康成人における自閉傾向の個人差と被視線感覚
○松吉大輔(東大)・藏口佳奈(京大)・内田聖菜・田中優実子(東大)・蘆田 宏(京大)・渡邊克巳(東大)
- 食器の材質・質感における感覚間統合が味覚評価に及ぼす影響
○田中観自・陳 娜(東大)・坂井信之(東北大)・渡邊克巳(東大)
- 三次元仮想空間における大きさの知覚的平均化
○高橋康介・渡邊克巳(東大)
- 身体方向が接近物体に対する運動知覚に与える影響
○三輪拓馬・金子寛彦(東工大)
- 能動的行動によって変化する運動物体の速度知覚
○門野泰長・金子寛彦(東工大)
- 放射状の光学的流動パターンによる剛体運動知覚の発達
○和泉絵里香・白井 述(新潟大)・金沢 創(日本女子大)・山口真美(中大)
- 〔招待講演〕 現場と実験室をつなぐ学際発達科学
渡邊克巳(東大)

14日午前

- アグレッシブドライビングの観察評価手法(OR-AD)の提案
○松尾治夫(日産自動車/奈良先端大)・Julie McClafferty・Shane McLaughlin(VTTI)
- 大規模空間における土地の高低差の学習: 仮想環境による検討
○津田裕之・杉本匡史・齋木 潤(京大)
- 大きいものは強く叩く! 一刺激・概念の諸特性と反応出力強度との適合性—
○永井聖剛(産総研)・山田陽平(奈良教育大/産総研)・中川 岳(筑波大)・河原純一郎(中京大/産総研)
- ヘッドマウントディスプレイを利用した周辺視野機能を計量するための実験システムの開発
吉岡陽介(千葉大)

14日午後(13:25~)

- 人物画の表情及び人物印象の知覚に及ぼす光源の影響
○作田由衣子(中大)・金沢 創(日本女子大)・山口真美(中大)
- 番組視聴中の脳活動からの「笑い」の解釈
○澤島康仁・小峯一晃・森田寿哉・比留間伸行(NHK)
- 発話内容の理解における発話者の表情の影響

告 26

○高橋麻衣子(学振/東京女子大)・高木幸子・

田中章浩(東京女子大)

8. TMSによる脳波位相同期が示す視覚・聴覚ワーキングメモリの脳リズムネットワーク
○川崎真弘(筑波大)・北城圭一(理研)

9. 触覚刺激による事象関連電位を用いたBCIシステムの検討
○岡田奈雄登・堀 潤一(新潟大)

10. 集団同時計測脳波を用いたP300発生人数推定
○吉竹一智・唐山英明(富山県立大)

◆日本バーチャルリアリティ学会; VR心理学研究委員会連催, 日本認知科学会; 知覚と行動モデリング(P&P)研究分科会共催
◎13日研究会終了後, 懇親会を予定しております。

——東海支部における開催——

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・柴田哲良 幹事補佐 金子雅志

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 村田英一・岡本英二

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 星野正幸・増野 淳・森田基樹・岡崎彰浩・三上 学

★ソフトウェア無線研究会 (SR)

専門委員長 阪口 啓 副委員長 藤井威生・梅林健太

幹事 亀田 卓・田久 修

幹事補佐 石津健太郎・矢野一人・稲森真美子

★知的環境とセンサネットワーク研究会 (ASN)

専門委員長 大槻知明 副委員長 渡辺 尚・張 兵

幹事 山本高至・猿渡俊介

幹事補佐 関屋大雄・門田和也・山本 淳

★高信頼制御通信研究会 (RRRC) (第二種研究会)

委員長 片山正昭 副委員長 原 晋介・三浦 龍

幹事 石井秀明・林 和則 幹事補佐 石井光治・小林健太郎

◎本研究会はNS研究会とRCS研究会, SR研究会, ASN研究会, RRRC研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 7月17日(水) 13:05~17:00

18日(木) 9:00~17:45

19日(金) 9:00~17:35

会場 浜松アクロシティ(浜松市中区板屋町111-1. 東海道新幹線: 浜松駅から徒歩5分. <http://www.actcity.jp/about/pdf/accessmap.pdf> 猿渡俊介(静岡大))

議題 無線分散ネットワーク, M2M (Machine-to-Machine), D2D (Device-to-Device), 一般

17日 RCS1 (13:05~15:10)

RCS-1. マルチパス環境における空間変調の検討

○前田 望・笹岡秀一・岩井誠人(同志社大)

RCS-2. ユーザ選択手法を用いたマルチユーザMIMO実験システムの屋内実伝搬環境における伝送実験
○齊藤 俊・

- 谷口眞人・村田英一・吉田 進・山本高至 (京大)・
梅原大祐 (京都工繊大)・田野 哲 (岡山大)・
守倉正博 (京大)
- RCS-3. MU-MIMO システムにおけるシミュレーション及び実
験評価結果 ○長橋崇晴・宮坂浩平・秋山拓也・山口一弘・
松江英明 (諏訪東京理科大)・蓮井昭夫 (安曇野市)・
福井 博 (ミライトテクノロジーズ)・七松 敏 (中央リコー情報通信研)
- RCS-4. 共有 RRH を用いた基地局連携セルラネットワークにお
ける非線形クラスタ間干渉キャンセラ ○安井謙一・
阪口 啓・三瓶政一 (阪大)
- RCS-5. LTE-Advanced における Non-backward Compatible
Carrier のデザインに関する一検討 ○大渡裕介・武田和晃・
森本彰人・永田 聡・岸山祥久・奥村幸彦 (NTT ドコモ)
- RCS2+SR1 (15:20~17:00)
- RCS-6. クロック信号を伴う無線変調方式の一検討
○清水 聡・畑本浩伸・菊池典恭・城田健一 (OKI)
- RCS-7. 周波数協調無線システムにおけるマイクロ波によるミリ
波帯伝搬路推定法の検討 ○齋藤 弦・和田 翔・
梅比良正弘・武田茂樹・鹿見嶋憲一・宮嶋照行 (茨城大)
- RCS-8. Coverage Probability Analysis of Cognitive Heterogene-
ous Cellular Networks Based on Stochastic Geometry
○Fereidoun H. Panahi・Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)
- SR-9. Joint femtocell clustering and cross-tier interference
mitigation with distributed antenna system in small cell
networks ○Massa Ndong・
Takeo Fujii (Univ. of Electro-Comm.)
- RRRC (13:05~14:45)
10. ネットワーク化制御システムのための無線マルチホップスケ
ジューリング法 ○越智 駿・松田崇弘・滝根哲哉 (阪大)
11. データ信号を周波数直交多重化したショートプリアンブル信
号の同期特性 ○田中佑季・眞田幸俊 (慶大)
12. 設備保全用無線センサネットワークにおける端末位置推定に
関する一検討 ○宮下充史・黒野正裕・大谷哲夫・
遊佐博幸 (電中研)
13. 耐災害ワイヤレスメッシュネットワーク—テストベッドの概
要— ○三浦 龍・井上真杉・大和田泰伯・浜口 清 (NICT)
- ASN1 (14:55~17:00)
- ASN-14. 生体内センシングのためのシート状媒体通信システム
の評価 ○松田隆志 (NICT)・
デバイス ピーター (テレグニクス)・笹川清隆 (奈良先端大)・
李 可人 (NICT)・太田 淳 (奈良先端大)・張 兵 (NICT)
- ASN-15. スマートフォンセンシングにおけるインセンティブ付
与による情報収集の効率化 ○辻森智哉・
テーブウィロー・ジャナボン ニワット (三重大)・
Hao Wang (ハルビン工大)・太田義勝 (三重大)・
Yunlong Zhao (ハルビン工大)・戸辺義人 (青学大)
- ASN-16. ノードの間欠動作をベースとした低消費電力な無線セ
ンサネットワーク構成法に関する検討 内海富博 (秋田大)
- ASN-17. 間欠的接続機会を持つ流れるセンサネットワークの
データ収集に関する実験と評価 ○前川 寛・
石原 進 (静岡大)
- ASN-18. マルチホップ双方向通信を考慮した無線アクセス優先
制御方式 ○松浦芳樹・五十嵐悠一・副島達矢・
高谷幸宏 (日立)
- 18日午前 招待講演—1 (9:00~10:10)
- 共通-1. [招待講演] 近接場ワイヤレスチップ間通信に関する内
容 (仮) 黒田忠広 (慶大)
- 共通-2. [招待講演] ユニーク ID とカテゴリ ID を用いる物流
可視化システム 三次 仁 (慶大)
- ポスターセッション—1 (10:20~12:20)
- 共通-3. [ポスター講演] 車両走行時の振動を模擬した路車間可
視光通信・測距統合システムのための測距法 ○大村明寛・
山里敬也・岡田 啓・藤井俊彰 (名大)・
圓道知博 (長岡技科大)・荒井伸太郎 (香川高専)
- 共通-4. [ポスター講演] 路車間可視光通信における時空間画像
を基にした LED アレイ捕捉手法 ○臼井俊亮・
山里敬也 (名大)・荒井伸太郎 (香川高専)・
圓道知博 (長岡技科大)・藤井俊彰・岡田 啓 (名大)
5. [ポスター講演] 無線フィードバックシステムにおける制御
レイヤの品質に基づいた適応誤り訂正手法 ○服部晋吾・
小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)
6. [ポスター講演] 複数機器無線制御における予測制御情報の
中継を用いた同期誤差の低減—バースト誤りに対する性能評価
— ○田中篤史・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)
- 共通-7. [ポスター講演] 無線ネットワークを用いた災害画像監
視システムにおける画像転送周期に関する検討 ○松田裕介・
間瀬憲一 (新潟大)・岡田 啓 (名大)・中野敬介 (新潟大)
- 共通-8. [ポスター講演] Multi-User MIMO と Single-User
MIMO を用いた面的伝送効率による無線メッシュネットワー
クの性能解析 ○楠本博則・岡田 啓・小林健太郎・
片山正昭 (名大)
- 共通-9. [ポスター講演] 通信電力制御による MANET 中継
ノードの省電力化—受信可能電力を含む電力制御—
○林 亨誠・原山美知子 (岐阜大)
- 共通-10. [ポスター講演] パターン情報を用いたボディセンサ
ネットワークにおける圧縮センシングのための効率化手法
○伊藤 瑛・生天目直哉・中澤 仁・徳田英幸 (慶大)
- 共通-11. [ポスター講演] 複合 TOA/AOA 屋内位置推定方式
における NLOS 判別手法の改善 ○堀場慎人・
岡本英二 (名工大)・篠原敏子・松村克彦 (ダイワ)
- 共通-12. [ポスター講演] 無線アドホックネットワークにおけ
る複数制御チャンネルを用いたマルチチャンネル MAC プロトコ
ル ○満足 亮・関屋大雄・小室信喜・阪田史郎 (千葉大)
- 共通-13. [ポスター講演] LTE-Advanced 上での端末間直接通
信に関する検討 ○榮祝剛洋・山崎智春・福田憲由・
藤代真人・柏瀬 薦・童 方偉・守田空悟 (京セラ)
- 共通-14. [ポスター講演] バッテリーレスセンサネットワークの
ための新しい屋内空間の提案 ○阪口 啓 (阪大)・
前原大樹 (東工大)・松下玄統・三瓶政一 (阪大)・
荒木純道 (東工大)
- 共通-15. [ポスター講演] プライマリシステムを考慮したセカ
ンダリ協調ノードによる秘密保持容量向上に関する検討
○塚田健一・鈴木隆之・藤井成生 (電通大)・
田久 修 (信州大)・大槻知明 (慶大)
- SR-16. [ポスター講演] Network planning methodology for
wireless multi-hop networks in practical environments
○Namzulp Lertwiram・
Gia Khanh Tran (Tokyo Inst. of Tech.)・
Kei Sakaguchi (Osaka Univ.)・
Kiyomichi Araki (Tokyo Inst. of Tech.)
- 共通-17. [ポスター講演] 周波数共用環境におけるアプリケー
ション運用品質向上に向けた無線 LAN の達成 QoS 予測手法

○関口真理子・矢野一人・有吉正行・小林 聖 (ATR)
共通-18. [ポスター講演] 周波数共用環境におけるアプリケーション運用品質の制御目標設定 ○宮坂朋宏・矢野一人・有吉正行・小林 聖 (ATR)

18 日午後 招待講演—2 (13:50~15:35)

共通-19. [招待講演] スマートワイヤレスユーティリティネットワーク: Wi-SUN—WiSUN alliance の概要とスマートワイヤレスユーティリティネットワークへの貢献—

巖名潤一 (ルネサス エレクトロニクス)

20. [招待講演] 一般化主双対アルゴリズムによるネットワークドシステムの分散最適化 津村幸治 (東大)

共通-21. [招待講演] DTN 研究のこれまでとこれから

鶴 正人 (九工大)

ポスターセッション—2 (15:45~17:45)

共通-22. [ポスター講演] CSMA/CA の干渉の影響を考慮したエミュレーションテストベッドの実装 ○大和田泰伯・井上真杉・浜口 清・三浦 龍 (NICT)

23. [ポスター講演] 高信頼無線ネットワーク設計のための伝送特性評価系の構築—系の構成と基本評価結果— 滝沢賢一・小野文枝・三浦 龍 (NICT)

24. [ポスター講演] 400 MHz 帯と 900 MHz 帯を用いた評価結果の比較—屋内と屋外評価事例— 小野文枝・滝沢賢一・三浦 龍 (NICT)

25. [ポスター講演] 耐災害ワイヤレスメッシュネットワーク—公開実証実験報告— ○浜口 清・井上真杉・大和田泰伯・滝沢賢一・小野文枝・三浦 龍 (NICT)

共通-26. [ポスター講演] GNU Radio を用いた FFT 解析による信号検出時間の検討 ○水谷祐基・佐藤 学・川喜田佑介・市川晴久 (電通大)

共通-27. [ポスター講演] 無線マルチビュービデオにおける時空間相関を利用したビデオ圧縮方式について ○小寺志保・藤橋卓也・猿渡俊介 (静岡大)・渡辺 尚 (阪大)

共通-28. [ポスター講演] 水中マルチビュービデオストリーミングの実現に向けた伝送方式 ○藤橋卓也・猿渡俊介 (静岡大)・渡辺 尚 (阪大)

共通-29. [ポスター講演] 移動型マイクロストレージシステムによるセンサデータ回収機構 ○劉 坐松 (大連理工大)・瀬戸 諒・横田裕介・大久保英嗣 (立命館大)

共通-30. [ポスター講演] 無線センサネットワークを適用した加速度データ収集システムに関する一検討—システムモデルの性能評価に基づく実験的考察— ○神能孝誠 (豊橋技科大)・中村優吾 (函館高専)・松原 拓 (豊橋技科大)・藤原孝洋 (函館高専)・上原秀幸 (豊橋技科大)

共通-31. [ポスター講演] バッテリレス無線センサネットワークにおける転送待ち時間に基づいた日和見的ルーティングプロトコル ○塚本直幸・北山晋平・宮路祐一・上原秀幸 (豊橋技科大)

共通-32. [ポスター講演] 有線/無線相互補完通信を用いたマルチゲートウェイメッシュネットワークの提案 ○河合孔明・遊佐直樹・峰野博史 (静岡大)

共通-33. [ポスター講演] IEEE 802.11e EDCA 直線状無線マルチホップネットワークにおける非飽和スループット解析 ○下山田祐太・眞田耕輔・史 進・関屋大雄 (千葉大)

共通-34. [ポスター講演] ダイナミック周波数共用のためのロバスト多値仮説検定の検討 ○三浦昂史・梅林健太 (東京農工大)・Janne J Lehtomaki (オウル大)・

鈴木康夫 (東京農工大)

共通-35. [ポスター講演] A study on Time domain Efficient Decision Fusion in Cooperative Spectrum Sensing

○Kenta Umebayashi

(Tokyo Univ. of Agriculture and Tech.)・

Janne J Lehtomaki (Univ. of OULU)・

Yasuo Suzuki (Tokyo Univ. of Agriculture and Tech.)

共通-36. [ポスター講演] 無線 LAN システムにおける信号検知のプロトコル解析による周波数再利用のための最小分離距離

○後藤雅之・田久 修 (信州大)・藤井威夫 (電通大)・

笹森文仁・半田志郎 (信州大)

37. [ポスター講演] 設備保全用無線センサネットワークにおける端末位置推定に関する一検討 ○宮下充史・黒野正裕・大谷哲夫・遊佐博幸 (電中研)

19 日午前 RCS3 (9:00~10:40)

RCS-1. 流星バースト通信網を用いた遠隔モニタリングシステムの性能評価 ○竹内康裕・椋本介士・和田忠浩 (静岡大)

RCS-2. 簡易型 MIMO フェージングエミュレータの開発とその応用 中田克弘・小谷里佳子・唐沢好男 (電通大)

RCS-3. 時空間符号化送受信ダイバシティのための最適送信周波数領域等化に関する一検討 ○宮崎寛之・安達文幸 (東北大)

RCS-4. 無線 LAN におけるマルチユーザ・マルチチャネル伝送の伝送容量増大効果 ○篠原笑子・井上保彦・

B.A. Hirantha Sithira Abeysekera・溝口匡人 (NTT)

SR2 (10:50~12:05)

SR-5. Analytical Performance Evaluation of Signal Detection Scheme for Allowing Coexistence of Additional and Existing Radio Communication Systems ○I-Te Lin・

Kanshiro Kashiki・Tomoki Sada・Toshihiko Komine・

Shingo Watanabe (KDDI R & D Labs)

SR-6. ヘテロジニアス型コグニティブ無線を適用する公共用移动通信システムの同期取得方策の一検討 ○森山雅文・

藤井威生 (電通大)

SR-7. チャネル選択と電力割り当てを考慮したマルチバンド伝送による物理層セキュリティ ○井田暁也・鈴木隆之・

藤井威生 (電通大)・田久 修 (信州大)・大槻知明 (慶大)

NS1 (9:00~10:40)

NS-8. 無線メッシュネットワークにおけるリンク速度を考慮したクラスタ分割アルゴリズム ○田島滋人 (阪大)・

船曳信生 (岡山大)・東野輝夫 (阪大)

NS-9. IEEE802.15.4e/g 等 FAN を 3G/LTE 網に効率的に収容し且つ十分なセキュリティを提供する制御方式

興水 敬 (NTT ドコモ)

NS-10. 移動端末の移動パターンと基地局の無線リソース消費を考慮した状態遷移制御方式 ○岩井孝法・清水雅純・

吉田裕志・吉川隆士 (NEC)

NS-11. 無線 LAN 環境におけるピース分割とオーバヒアリングを用いた冗長トラヒック削減方式のネットワークエミュレータによるスケーラビリティ評価 ○新田幸司・大坐島 智・

加藤聰彦 (電通大)

ASN2 (10:50~12:05)

ASN-12. 複数のバイナリセンサを用いた複眼センサシステムのためのモンテカルロ法に基づく歩行者数推定手法

○藤井崇渡・谷口義明・長谷川 剛・中野博隆 (阪大)

ASN-13. カルマンフィルタを用いた気体濃度予測のための伝播係数推定 ○徳本晋一郎・滑川 徹 (慶大)

ASN-14. ドップラーレーダとアレセンサの協調による転倒検出
○洪 志勲・富井翔一郎・大槻知明(慶大)

19日午後 招待講演(13:30~14:15)

RCS-15. [招待講演] LTE-Advanced セルラ通信システム用端末間通信技術の適用可能性検討 ○北川幸一郎・畑川養幸・小西 聡(KDDI研)

RCS4(14:30~16:10)

RCS-16. LTE-Advanced 上での端末間直接通信のための干渉制御の検討 ○山崎智春・榮祝剛洋・福田憲由・藤代真人・柏瀬 薦・童 方偉・守田空悟(京セラ)

RCS-17. 無線センサネットワークのための多層型適応ネットワーク符号化協調の設計 ○林 会発・石橋功至・藤井威生(電通大)

RCS-18. 誤り制御法を行う物理層 XOR ネットワークコーディングの構成とその特性評価 ○田野 哲(岡山大)・梅原大祐(京都工繊大)

RCS-19. Study on the Euclidean distance of coded M-QAM signal constellations Tatsumi Konishi (Aichi Inst. of Tech.)

ASN3(14:30~15:45)

ASN-20. A Fuzzy Inference Intelligent Routing Protocol for Vehicular Ad Hoc Networks ○Celimuge Wu・Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

ASN-21. 車々間アドホックネットワークによる位置依存情報の配信 石原 進(静岡大)

ASN-22. 狭帯域スペクトラム拡散通信 mad-ss を容易に利用するための環境の提案—カラスのライフロッグ— ○瀬川典久・澤本 潤(岩手県立大)・矢澤正人(数理設計研)

NS2(15:55~17:35)

NS-23. Underwater Sensor Network における能動的な位置推定とロバストなルーチングの一体化手法 ○平井聡士・谷川陽祐・戸出英樹(阪府大)

NS-24. マルチオーバーレイセンサネットワークのためのトポロジー構成法 ○梶本修平・朝香卓也(首都大東京)

NS-25. 大規模故障に対する中継網の復旧工程最適化法の提案 ○鎌村星平・島崎大作・宮村 崇・植松芳彦・笹山浩二(NTT)

NS-26. 資本損失を考慮した通信サービス途絶時の経済被害額評価法の提案 ○中西靖人・越地弘順・唐澤秀一・船越裕介・松林泰則(NTT)

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月12日(木), 13日(金) 東北大[7月12日(金)] テーマ:ポストIP ネットワーキング, 次世代・新世代ネットワーク(NGN), 障害対策・BCP, ネットワークコーディング, セッション管理(SIP・IMS), 相互接続技術/標準化, ネットワーク構成管理及び一般

10月17日(木), 18日(金) 北大[未定] テーマ:ネットワークアーキテクチャ(オーバーレイ, P2P, ユビキタスNW, スケールフリーNW, アクティブNW, NGN・新世代NW), 次世代パケットトランスポート(高速Ethernet, IP over WDM, マルチサービスパケット技術, MPLS), グリッド, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

第一種研究会開催案内

金子雅志(NTT) TEL [0422] 59-2847

柴田哲良(NTT) TEL [0422] 59-3205

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月29日(木), 30日(金) 信州大[締切済] テーマ:移動衛星通信, 放送, 誤り訂正, 無線通信一般

10月17日(木), 18日(金) 上智大[8月8日(木)] テーマ:無線通信方式, 無線通信システム, 標準化及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

ベンジャブール アナス(NTTドコモ)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

☆SR 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月24日(木), 25日(金) 阪大[8月12日(月)] テーマ:技術展示, 製品展示, ソフトウェア無線機, 無線ハードウェア技術, 国際ワークショップ, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

矢野一人(ATR)

TEL [0774] 95-1578, FAX [0774] 95-1508

E-mail: yano@m.ieice.org

◎最新情報はSR 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/>

☆ASN 研究会

【問合せ先】

猿渡俊介(静岡大)

E-mail: asn-sec@mail.ieice.org

—関西支部における開催—

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 上條俊介 副委員長 山里敬也・永長知孝

幹事 和田友孝・羽多野裕之

幹事補佐 橋本尚久・大野光平・麻生敏正

日時 7月26日(金) 13:00~16:20

会場 関西大学千里山キャンパス(吹田市山手町3-3-35. 阪急
関大前駅から徒歩10分. <http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html> TEL [06] 6368-1285 和田友孝)

議題 ITS ポジショニング, 一般

1. 側方障害物検出用車載センサと車車間通信を用いた出会い頭衝突防止システムに関する一検討 ○高取祐介・武尾英哉(神奈川工科大)

2. RFID システムを用いたモバイルロボットにおける前方経路予測移動補正法 ○仲西 正・藤本まなと・佃 大貴・長尾 遼・和田友孝(関西大)・六浦光一(信州大)・岡田博美(関西大)

3. RFID を用いた屋内ロボットナビゲーションにおける通路分割型移動制御法 ○長尾 遼・藤本まなと・佃 大貴・仲西 正・和田友孝(関西大)・六浦光一(信州大)・

- 岡田博美 (関西大)
4. 車両到着プロファイルを考慮した青時間オーバーラップ最大化による交通信号のオフセット最適化 ○青木尚久・上條俊介 (東大)
5. [招待講演] 車両間の協調による高精度相対測位の研究開発
○湯 素華・古川 玲・川西 直・長谷川晃朗・三浦 龍・武内良男 (ATR)
6. 歩行/走行モードを考慮した携帯端末向け歩行者デッドレコーディング ○垣内紀明・上條俊介 (東大)
7. 3次元地図情報を用いた自己位置の探索手法 ○三浦俊祐・上條俊介 (東大)

☆ITS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月2日(月) 電気学会本部[未定] テーマ: 交通における計測, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合せ先]

和田友孝 (関西大システム理工学部電気電子情報工学科)

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

TEL & FAX [06] 6368-1285

E-mail: wada@jnet.densi.kansai-u.ac.jp

—四国支部における開催—

★ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

専門委員長 佐々木重信 副委員長 前原文明・羽濑裕真
幹事 藤井雅弘・松波 勲 幹事補佐 石橋功至

★医療情報通信技術研究会 (MICT) (第二種研究会)

専門委員長 井家上哲史 副委員長 王 建青・近藤博史
幹事 金ミンソク 幹事補佐 安在大祐・大野光平・滝沢賢一

◎本研究会は WBS 研究会と MICT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 7月9日(火) 13:00~17:45
10日(水) 9:30~12:10

会場 高知市文化プラザかるぼーと (高知市九反田 2-1, 土佐電鉄: はりまや橋下車徒歩 5 分, 菜園場下車徒歩 3 分, <http://www.bunkaplaza.or.jp/> TEL [0887] 57-2312 浜村昌則 (高知工科大))

議題 ポスター講演, 一般

9日 WBS ポスターセッション

WBS-1. [ポスター講演] 超多チャンネルワイヤレス BMI システム開発のための体内-体外間超広帯域無線伝送—液体ファントムを利用した伝送特性評価と通信方式の設計—

○滝沢賢一・安藤博士 (NICT)・松下光次郎・平田雅之 (阪大)・鈴木隆文 (NICT)

WBS-2. [ポスター講演] 人工衛星内ワイヤレス通信のための小型衛星内部の統計的電波伝搬モデル

○広瀬 幸 (東京電機大)・富木淳史・戸田知朗 (JAXA)・小林岳彦 (東京電機大)

WBS-3. [ポスター講演] 符号分割多元接続のための異なる周期の M 系列のペアの相互相関

○福地早希・浜村昌則 (高知工科大)

WBS-4. [ポスター講演] 一般化拡張プライム符号系列に基づく光 CSK 用 PN 符号の提案 ○高丸祐典・羽濑裕真 (茨城大)

WBS-5. [ポスター講演] 非線形ひずみ存在下における受信ダイバーシチを適用したアップリンク OFDMA 信号の理論 BER の導出法 ○西村 慶・竹濑翔矢・前原文明 (早大)

WBS/MICT

WBS-6. LED パネル可視光通信システムの周波数領域信号処理による高速化 ○神野雄人・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)

7. On-body BAN における人体通信機と 2.4 GHz 帯無線線の伝送特性の比較実験 ○加藤 巧・藤原拓也・安在大祐・王 建青 (名工大)

WBS-8. [特別講演] タイトル未定 河野隆二 (横浜国大)

WBS-9. [特別講演] 無線 ICT のスポーツ健康科学への応用 原 晋介 (阪市大)

10日 MICT

1. 呼吸と心拍を検出する UWB レーダに関する一検討

○李 還翊・三浦 龍 (NICT)

2. 様々な体積の部屋における人体近傍アンテナ間チャンネルの周波数帯域幅依存性 ○広瀬 幸・小林岳彦 (東京電機大)

3. 人体動作における UWB BAN チャンネルのダイバーシチ効果の考察 ○小林 翔・金ミンソク・高田潤一 (東工大)

4. [特別講演] BAN 用ウェアラブルデュアルバンドアンテナ ○岩崎久雄・呉東宏樹・杉山博之 (芝浦工大)

WBS-5. [特別講演] UWB 利用無線に関する標準化の動向と期待 井家上哲史 (明大)

◎9日研究会終了後にポスターセッション表彰式を行います。

☆WBS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月 屋久島[未定] テーマ: グリーンワイヤレス, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合せ先]

藤井雅弘

TEL & FAX [028] 689-7118

E-mail: fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

☆MICT 研究会

[問合せ先]

金 ミンソク (東工大)

E-mail: mict-sec@mail.ieice.org

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 中尾光之 副委員長 神保泰彦
幹事 渡邊高志・小谷 潔 幹事補佐 中村和浩・高山祐三

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 古川徹生 副委員長 小池康晴
幹事 宮下真信・林 勲 幹事補佐 木村聡貴・山崎 匡

◎本研究会は MBE 研究会と NC 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 7月19日(金) 9:30~16:50
20日(土) 9:30~12:15

会場 徳島大学工学部工業会館 2階メモリアルホール (徳島市南常三島町 2-1. <http://www.tokushima-u.ac.jp/access/shin>)

kura_josanjima/ TEL [088] 656-7477 芥川正武)

議題 ME, 一般

19日午前 NC1-1

NC-1. 繰り返し学習方式によるカクテルパーティ効果を伴う脳記憶系のニューロン科学的解釈—アナログデジタルの動作特性を持つニューロンネットワークのHebb学習モデル—

清野躬行 (清野情報システム)

NC-2. 対象認識におけるクオリアを伴う状況依存的意味理解機構の神経科学的解釈—新皮質感覚系連合野と言語野の分散的機能円柱モデル—

清野躬行 (清野情報システム)

MBE1-1

MBE-3. 低血圧誘導法の違いによるラット脳血流量自動調節能の検討

○中村和浩・近藤 靖・水沢重則・木下俊文 (秋田県立脳血管研センター)

MBE-4. ニオイと音の同時刺激に対する心理反応評価

穆 思延・陳 曦・許 美聡・沖田義光・○杉浦敏文 (静岡大)

MBE-5. 筋電図中心周波数で検証する機能的食品アンセリンの抗疲労効果

○貴志浩久 (職能開発大)・久保村大樹 (焼津水産大)・杉浦敏文 (静岡大)

19日午後 MBE-1-2

MBE-6. 双極表面筋電図計測のための神経支配帯推定に関する研究

○水戸和幸・染谷和孝・板倉直明 (電通大)

MBE-7. EMS トレーニング中の筋の状態推定を目的とした誘発筋電位の計測

○北尾憲一・近藤一晃・中村裕一 (京大)・秋田純一 (金沢大)・戸田真志 (熊本大)・櫻沢 繁 (公立ほくほ未来大)

MBE-8. 拮抗筋に着目した起立動作補助

○小西有人・藤長武士・北脇知己・岡 久雄 (岡山大)

NC1-2

NC-9. 2個の独立なノイズを用いたノードパータバージョン学習の統計力学

○原 一之 (日大)・片平健太郎・岡田真人 (東大)

NC-10. アクチュエータの動特性を考慮したニューラルネットワークによる膝関節用パワーアシスト装置の運動制御

○安倍正記・安野 卓・桑原明伸 (徳島大)

MBE1-3

MBE-11. 認知時のEEGからの提示画像の推定—正準判別分析を用いて—

○山ノ井高洋・田中良典 (北海学園大)・豊島 恒 (JTS)・山崎敏正 (九工大)・大槻美佳 (北大)

MBE-12. Hilbert-Huang変換を用いた両手協調運動時の脳波同期度解析

○芥川正武・中平雄哉・榎本崇宏 (徳島大)・加治芳雄 (徳島文理大)・七條文雄 (鈴江病院)・古川和彦 (鳴門病院)・長篠博文・小中信典・木内陽介 (徳島大)

MBE-13. ニューラルネットワークを用いた非線形システムの状態変化の指標化

○木内敬浩・芥川正武・榎本崇宏・長篠博文・小中信典・木内陽介 (徳島大)

20日午前 NC2-1

NC-1. 相手の非協力性に関わる脳活動により変化する報酬系領域間の情報伝達

○鹿内 学 (ATR)・水原啓暁 (京大)

NC-2. クラス推定型高階SOMによるライフパターンの可視化—ユーザの環境を考慮した解析手法—

○石橋英朗・岩崎 亘・堀尾恵一 (九工大)・難波秀行 (和洋女子大)・古川徹生 (九工大)

NC-3. 複素ニューラルネットワークと風速の周波数情報を用いた

た風速予測システム

○北島孝弘・安野 卓・池田直弥 (徳島大)

MBE2-1

MBE-4. Kinectを用いたロボットの操作体験による運動不足解消システム

○高科宏希・安野 卓・北島孝弘・山中建二・桑原明伸 (徳島大)・山田隆治・高井久司 (大隆精機)・板東孝明 (武蔵野美術大)・石原 譲 (石原金属)

MBE-5. Fuzzy-PID制御を用いた複数薬剤投与システムの検討

柏原考爾 (徳島大)

MBE-6. 非線形力学系を用いた強度変調放射線治療計画法

○田中義浩・藤本憲市・吉永哲哉 (徳島大)

◆日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter, 日本生体医工学学会; ME とバイオサイバネティクス研究会共催

☆MBE研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月24日(火), 25日(水) 新潟大駅南キャンパス [7月17日(水)] テーマ: ME, 一般

10月 阪電通大

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

中村和浩 (秋田県立脳血管研センター)

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-10

TEL [018] 833-0115, FAX [018] 833-2104

E-mail: knam@akita-noken.jp

☆NC研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月24日(火), 25日(水) 新潟大駅南キャンパス [7月17日(水)] テーマ: ME, 一般

MBE研究会併催, 日本神経回路学会, IEEE CIS-Japan 共催

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行ってください。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tid=NC>

【問合せ先】

宮下真信 (沼津高専)

TEL [055] 926-5782

E-mail: miyasita@numazu-ct.ac.jp

九州支部における開催

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲

幹事 梅原大祐・寺田 純

日時 7月4日(木) 9:00~17:50

5日(金) 9:00~12:05

会場 与那国町複合型公共施設 (八重山郡与那国町与那国 437-17. 与那国空港から車で7分. 与那国町観光協会. TEL [0980] 87-2402)

議題 次世代ネットワーク, アクセスネットワーク, ブロードバンドアクセス方式, 電力線通信, 無線通信方式, 符号化方式, 一般
4日午前

1. 再構成超解像の周波数解析 合志清一 (工学院大)

2. 3次元畳み込み補間に関する一考察 上田裕巳 (東京工科大)

3. MMTを利用したNSCW伝送方式の検討 ○仲地孝之・外村喜秀・藤井竜也 (NTT)

4. ファジィ数を用いたSIRMsファジィ推論法

○三石貴志 (流通科学大)・本間利通 (阪経済大)・
鳥田奈美 (流通科学大)

5. 上位レイヤの再送を考慮した ONU Deep Sleep の検討

○氏川裕隆・鈴木謙一・吉本直人 (NTT)

6. PON のスループットを向上させる SRTF 方式帯域割当の提案

○竹本裕太・西谷隆志・向井宏明・水落隆司 (三菱電機)

7. マルチビットレートかつマルチチップレートな光直交符号に関する検討

辻岡哲夫 (阪市大)

4 日午後 (13:30~)

8. [招待講演] アクセス NW におけるレイヤ 2 ルーティング適用時のユーザ間帯域重み付き公平化手法

○中山 悠・
太田憲行 (NTT)

9. [招待講演] kHz 帯 PLC への適用を目的とした N-PE 伝送方式の実地試験結果

○吉澤幸晃・都築伸二・
山田芳郎 (愛媛大)

10. [招待講演] Network Coding Cache in Information-Centric Networks

○Dinh Nguyen・Hidenori Nakazato (早大)

11. [招待講演] 波長可変型 WDM/TDM-PON を用いた広域フォトニックアグリゲーション技術の省電力効果及び適用領域の検討

○妹尾由美子・金子 慎・吉田智暁・木村俊二・
吉本直人 (NTT)

12. [招待講演] 光ファイバ融合 UWB インパルス無線通信システム

○大柴小枝子・小原友里・三浦浩志 (京都工繊大)

13. [特別招待講演] 小規模離島におけるブロードバンドの整備と利活用

升屋正人 (鹿児島大)

14. [特別招待講演] 南西諸島における救急災害医療への情報通信技術の活用—広大な海域に離島を持つ沖縄県でのニーズとシーズ—

久木田一朗 (琉球大)

5 日

1. マルチホップ無線メッシュネットワーク環境における高効率データ伝送方式

○飯島昌平・大塚義浩・大塚 晃・
曾我部靖志 (三菱電機)

2. MIMO 伝送を利用した Collision detection—多重伝送とアグリゲーションの特性評価—

○森野善明・
平栗健史 (日本工大)・西森健太郎・川原理彰・
堅岡良知 (新潟大)・吉野秀明・木村貴幸 (日本工大)

3. 符号を用いた通信フレームヘッダ削減方法の一検討

○進藤卓也・平栗健史 (日本工大)・西森健太郎 (新潟大)・
神野健哉 (日本工大)

4. 様々な形状を有する電力ネットワークにおける電力融通のための最適制御手法

○木村佳佑・木村貴幸・平栗健史・
神野健哉 (日本工大)

5. イベント駆動型インピーダンス整合機能を適用した短パルス CAN の検討

○高橋朋宏・梅原大祐・
若杉耕一郎 (京都工繊大)・石河伸一・坪内利康 (オプトネット技研)

6. ネットワーク運用の全体最適化手法の検討

○藤岡新也・
鈴木克剛・藤平健二・宇田哲也・芦 賢浩・高瀬誠由 (日立)

7. サブキャリア受信による ISDB-T 地上デジタルテレビ方式での緊急警報検出

高橋 賢 (広島市大)

◎4 日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆CS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8 月 休会

9 月 12 日 (木), 13 日 (金) 東北大 [7 月 12 日 (金)] テー

マ: ポスト IP ネットワーキング, 次世代・新世代ネット

ワーク (NGN), 障害対策・BCP, ネットワークコーディン

告 32

グ, セッション管理 (SIP・IMS), 相互接続技術/標準化,
ネットワーク構成管理及び一般

10 月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

梅原大祐 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7471, FAX [075] 724-7400

寺田 純 (NTT)

E-mail: kanji2013@csken.org

◎最新情報は, CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 池口 徹 副委員長 小西啓治

幹事 神野健哉・薄 良彦 幹事補佐 木村貴幸・原 尚之

日時 7 月 8 日 (月) 10:00~16:35

9 日 (火) 10:00~15:45

会場 宮古島マリンターミナル 2 階大研修室 (宮古島市平良下里
108-11 平良港ターミナルビル 2F. TEL [0193] 62-4211
黒川弘章 (東京工科大))

議題

8 日午前

1. ネットワーク構造と乱数が PSO の解探索性能に及ぼす影響
○関口卓弥・神野健哉 (日本工大)
2. 高次元最適化問題のための部分更新 PSO
○渡邊恭成・
小島理孝・中野秀洋・宮内 新 (東京都市大)
3. 区分定数発振器に基づいた離散粒子群最適化手法
○栗田裕弥・山仲芳和・坪根 正 (長岡技科大)
4. 間欠的な不応性を有する離散 PSO の基本性能
○早川慶彦・中野秀洋・宮内 新 (東京都市大)

8 日午後

5. 離散 PSO を用いたクラスターツリー型 ZigBee ネットワーク
におけるルータ配置手法
○水田夏美・中野秀洋・
宮内 新 (東京都市大)
6. 離散時間力学と非線形最適化の融合によるコンパス型 2 足歩
行ロボットに対する安定歩容生成
甲斐健也 (東京理科大)
7. 待ち行列の長さに基づき目的地を選ぶ非同期的なマルチエー
ジェントシステム
○風間裕太・三堀邦彦 (拓殖大)
8. WTA スイッチングに基づく並列化 DC-DC コンバータの安
定化について
○大畑聡祥・斎藤利通 (法政大)
9. Izhikevich ニューロンにおけるカオス応答とその解析
○杉浦希望・藤原寛太郎 (埼玉大)・保坂亮介 (福岡大)・
池口 徹 (埼玉大)
10. 区分定数バクトル場の分類とカオス的スパイク発振器
○木村一行 (法政大)・坪根 正 (長岡技科大)・
斎藤利通 (法政大)
11. 特異摂動系におけるアヒル解の収束・発散ダイナミクスと数
値計算精度の関係
○児玉貴大・土居伸二 (京大)
12. 微小周期外乱下における二対の安定及び不安定なあひる解の
形状の酷似について—その 2
○伊藤 薫・
稲葉直彦 (明大)・関川宗久 (東大)・遠藤哲郎 (明大)

9 日午前

1. 動的サンプルサイズ選択法に基づく準ニュートン法による階

層型ニューラルネットワークの学習 二宮 洋 (湘南工科大)

2. Optimization for Various Topologies of Power Grids using Recurrent Neural Networks ○Keisuke Kimura・Takayuki Kimura・Kenya Jin'no (Nippon Inst. of Tech.)

3. Investigation of Power Grid Islanding Based on Nonlinear Koopman Modes ○Fredrik Raak (Kyoto Univ.)・Yoshihiko Susuki (Kyoto Univ./JST)・Takashi Hikihara (Kyoto Univ.)・Harold R. Chamorro (KTH)

4. 過去の系統電力に基づいた電力価格で充電を開始する2つの蓄電池のダイナミクス ○福永智洋 (阪府大)・伊藤 章 (テソー)・杉谷規規・小西啓治・原 尚之 (阪府大)

9日午後

5. Causality analysis for continuous and event time series Ryoosuke Hosaka (Fukuoka Univ.)

6. 外部共振器を有するカオス発生用光集積回路による高速物理乱数生成 ○高橋里枝・秋澤康裕・山崎泰基・内田淳史 (埼玉大)・原山卓久 (NTT/東洋大)・都築 健 (NTT)・砂田 哲 (NTT/金沢大)・吉村和之・新井賢一 (NTT)・デイビス ピーター (NTT/テelogニクス)

7. 双方向に光結合された半導体レーザーの遅延カオス同期におけるLeader-Laggard 関係の自発的スイッチング ○樋田拓也・菅野円隆・内田淳史 (埼玉大)

8. 戻り光を有する半導体レーザーにおける一般化同期を用いたリアプノフ指数の算出 ○菅野円隆・内田淳史 (埼玉大)

9. Heuristic Method Using Soft Tabu Search for Quadratic Assignment Problems ○Takafumi Matsuura (Tokyo Univ. of Science)・Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)・Kazumiti Numata (Tokyo Univ. of Science)

10. Random Forests を用いた画像データ圧縮 ○小林 学 (湘南工科大)・平澤茂一 (早大)

☆NLP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月26日(木), 27日(金) 岐阜大サテライトキャンパス [未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

神野健哉 (日本工大)
TEL [0480] 33-7659, FAX [0480] 33-7680
E-mail: jinno@nit.ac.jp

★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 山路隆文 副委員長 金子美博
幹事 三友敏也・篠宮紀彦 幹事補佐 越田俊介

★VLSI 設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 池田 誠 副委員長 澁谷利行
幹事 中武繁寿・峯岸孝行

★信号処理研究会 (SIP)

専門委員長 澤田 宏 副委員長 梶川嘉延・宝珠山 治
幹事 木下慶介・西浦敬信 幹事補佐 辻川剛範

★システム数理と応用研究会 (MSS)

専門委員長 中村祐一 副委員長 山根 智
幹事 山口真之介・中田 充 幹事補佐 西脇大輔

日時 7月11日(木) 8:50~18:00
12日(金) 9:00~17:10

会場 熊本大学黒髪南地区共用棟黒髪1 1F 情報電気電子工学科講義室 (荻木禎史)

議題 システムと信号処理及び一般

11日午前 システム数理と応用

1. イベントログに基づいた行動型サービスの分析 甚田貴徳・青戸 渉・宮崎晃和・崔 舜星・小林孝一・○平石邦彦・内平直志 (北陸先端大)
2. 複数の不確かな遅延を有するネットワーク制御システムの最適制御 ○小林孝一・平石邦彦 (北陸先端大)
3. マルチコモディティネットワークにおける利己的ルーチングの仮想遅延に基づく制御 ○西田佳祐・金澤尚史・潮 俊光 (阪大)

信号処理 I

4. 複数音源追尾におけるパーティクルの集中化回避 ○松田尚頼・陶山健仁 (東京電機大)
5. ヒューリスティック解法による2次元指向性設計 ○伊東洋祐・陶山健仁 (東京電機大)
6. OpenEXR フォーマットのHDR 画像に対するトーンマッピング処理の整数化 ○室伏辰耶・土橋俊之 (首都大東京)・岩橋政宏 (長岡技科大)・貴家仁志 (首都大東京)
7. 浮動小数点表現されたHDR 画像のための固定小数点トーンマッピング処理 ○土橋俊之・室伏辰耶 (首都大東京)・岩橋政宏 (長岡技科大)・貴家仁志 (首都大東京)
8. ヒストグラムバックキックと空間領域量子化に基づくニアロスレス符号化法 小林弘幸 (都立産技高専)・岩橋政宏 (長岡技科大)・○貴家仁志 (首都大東京)

11日午後 回路とシステム I (13:10~)

9. Non-Local Means に基づくカラリゼーション ○上野敬志・吉田太一・池原雅章 (慶大)
10. 画像の局所的特徴を利用したフレームメモリ容量削減のための画像圧縮手法 ○福原優貴 (阪大)・山田晃久 (シャープ)・尾上孝雄 (阪大)
11. Simulated Annealing 法に基づいた自動マーキングシステムの一手法 ○原田昌之・大島津佳・藤吉邦洋 (東京農工大)
12. 直交2値系列を用いたSIK方式光CDMA通信の一検討 ○村上晋介・常田明夫 (熊本大)

VLSI 設計技術 I

13. Color-Coding アルゴリズムに基づく指定長配線手法 ○潘 鉄源・高島康裕 (北九州市大)
14. 面積及び遅延を削減したインデックス生成関数の構成法について 松永裕介 (九大)
15. 配線セグメント長を考慮したSOM ベースFPGA 配置手法 ○濱田哲郎・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・末吉敏則 (熊本大)

特別招待講演

16. [特別招待講演] 情報通信分野における研究と人材育成について 仙石正和 (新潟大)

パネル討論

17. [パネル討論] システムと信号処理サブサイエティにおける将来展望一期待される人材を育成するための方策一

○牧野光則 (中大)・中野敬介 (新潟大)・池田 誠 (東大)・
澤田 宏 (NTT)・中村祐一 (NEC)

12日午前 VLSI 設計技術 II

1. IL1 及び IL2 キャッシュに不揮発メモリを利用した二階層
キャッシュにおける消費エネルギーの評価 ○松野翔太・
多和田雅師・柳澤政生・木村晋二・戸川 望 (早大)・
杉林直彦 (NEC)
2. 最大ハミング距離を制限した符号とこれを用いた不揮発メモ
リの書き込み削減手法 ○多和田雅師・木村晋二・
柳澤政生・戸川 望 (早大)
3. フィルタ向け定数乗算のメモリベース実現による低電力化
○樺沢皓介 (早大)・杉林直彦 (NEC)・柳澤政生・
木村晋二 (早大)
4. Fine Grain Power Gating Based on Controllability Propagation
and Power-off Probability ○Zhe Du・Yu Jin・
Shinji Kimura (Waseda Univ.)

信号処理 II

5. 方向統計学における変分ベイズ法 ○田中聡久・
小林正幸 (東京農工大)
6. DUET に基づくフレーム単位での音源到来方向推定
○岩崎宣生・井上勝裕 (九工大)・五反田 博 (近畿大)
7. 高速 Colorization アルゴリズムの提案
○雨車和憲 (東京理科大)・小西克巳 (工学院大)・高橋智博・
古川利博 (東京理科大)
8. 誤差基準に L1 ノルムを用いたデジタル微分器の設計
○村上郁矢・相川直幸 (東京理科大)
9. 任意の周波数で最大平坦特性を有する直線位相 FIR デジ
タル微分器の一設計法 ○吉田 嵩・相川直幸 (東京理科大)

12日午後 招待講演 (13:10~)

10. [招待講演] サドル型平衡点を伴うシステムを含むハイブ
リッド力学系の安定化制御—ヒト立位姿勢・歩行運動制御及び
前立腺がんの間欠制御— 野村泰伸 (阪大)

回路とシステム II

11. 解析的蓄電池劣化モデルを用いたスマートハウスの電源管理
の一手法 ○渡邊亜美・宮原良輔・池田岳穂・
福井正博 (立命館大)
12. 低温動作を目的とした可変速充電システムの実装と評価
○瀬川明大・山本祐介・青木智志・石崎 龍・林 磊・
福井正博 (立命館大)
13. 方形導波管誘導性窓付き共振器型帯域通過フィルタの粒子群
最適化を用いた設計 ○原 幸平・平岡隆晴・
豊嶋久道 (神奈川大)
14. カオス理論に基づいた後処理による非周期 2 値乱数の自己相
関特性 ○森川晃大・常田明夫 (熊本大)

回路とシステム III

15. On Unit Grid Intersection Graphs ○Asahi Takaoka・
Satoshi Tayu・Shuichi Ueno (Tokyo Inst. of Tech.)
16. The rank difference of node centrality in topology control
graphs ○Yoshihiro Kaneko・Yuhei Ishii (Gifu Univ.)
17. CPG 電子回路による形状記憶合金ワイヤの制御に関する基
礎実験 市村智康・○江島直毅・今泉俊哉 (小山高専)・
前田義信 (新潟大)
18. DTN における情報滞留制御の解析 ○早津峻佑・
中野敬介・宮北和之 (新潟大)

☆CAS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

9月26日(木), 27日(金) 岐阜大サテライトキャンパス

[未定] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

三友敏也 (東芝)

TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806

E-mail: toshiya.mitomo@toshiba.co.jp

◎回路とシステム研究専門委員会では、研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は、3月の総合大会にて表彰致しますので、奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され、かつ予稿にて第一著者の IEICE 学生会員 (申し込み中でも可) の方です。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

☆VLD 研究会

【問合先】

中武繁寿 (北九州市大)

TEL [093] 695-3268

E-mail: nakatake@kitakyu-u.ac.jp

◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~vld/>

☆SIP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8月29日(木), 30日(金) 東京農工大 [締切済] テーマ:
画像処理技術, 一般 (音声音響・通信・学習・実現システ
ム・基礎等)

【問合先】

木下慶介 (NTT)

E-mail: kinoshita.k@lab.ntt.co.jp

☆MSS 研究会

【問合先】

山口真之介 (九工大)

TEL [0948] 29-7572

E-mail: yamas@iizuka.isc.kyutech.ac.jp

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 赤倉貴子 副委員長 小西達裕

幹事 國宗永佳・光原弘幸 幹事補佐 東本崇仁・森本容介

日時 7月27日(土) 13:00~17:25

会場 熊本大学黒髪南キャンパス工学部1号館2階共用会議室
A (熊本市中央区黒髪2-39-1. JR 熊本駅からバスで25分「熊
本大学前」下車すぐ。 [http://www.kumamoto-u.ac.jp/cam
pusjohou/access](http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjohou/access) 戸田真志)

議題 e-Learning 新展開/一般

1. e-Test の個人認証のための手書き漢字における個人性の抽出
○吉村 優 (東京理科大)・古田荘宏 (奈良教大)・東本崇仁・
赤倉貴子 (東京理科大)
2. 異種の規格を組み合わせた e ラーニングコンテンツの設計
○森本容介 (放送大)・仲林 清 (千葉工大)・
芝崎順司 (放送大)
3. アルゴリズム的思考における問題解決プロセスの検討
○山本 樹 (尚美学園大)・國宗永佳 (信州大)
4. プレゼンテーション・リハーサルにおける視覚的なアノテー
ション手法を指向したレビュー支援環境 ○渡邊悠人・
岡本 竜 (高知大)・柏原昭博 (電通大)

5. YALMS: Yet Another Lecture Management System—A New Process for Generating and Storing Knowledge in Class—
○Marat Zhanikeev・Hiroshi Koide (Kyushu Inst. of Tech.)
6. Identifying Motivation and Learning Strategies from Student Behavior with NMF
○Dinh Thi Dong Phuong・Hiromitsu Shimakawa (Ritsumeikan Univ.)
7. 情報保障を考慮した聴覚障害者向け TOEIC 対策講座の開発
○須藤正彦・松藤みどり (筑波技大)
8. タブレット端末を利用した集散的協同学習の支援—Xing-Board: クロッシングボードの概念と試作—
○鈴木栄幸 (茨城大)・舟生日出男 (創価大)・久保田善彦 (宇都宮大)
9. 講義映像における移動物体の自動検出
○西野博貴・齊藤剛史 (九工大)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

☆ET 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 9月28日(土) 広島大東広島キャンパス [7月16日(火)]
テーマ: 学習支援システムの新展開/一般
- 10月19日(土) 富山大五福キャンパス [8月12日(月)]
テーマ: LMS と e-ポートフォリオ/一般
- 11月16日(土) 会津大 [9月13日(金)] テーマ: Internet of Things と学習支援/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

國宗永佳 (信州大)

TEL & FAX [026] 269-5502

E-mail: kunimune@shinshu-u.ac.jp

○原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

★超音波研究会 (US)

専門委員長 梅村晋一郎 副委員長 橋本研也・松川真美
幹事 美谷周二朗・山口 匡 幹事補佐 野村英之

日時 7月29日(月) 13:20~17:50
30日(火) 10:00~12:30

会場 九州大学産学連携センター筑紫キャンパス 3F 研修室 (春日市春日公園 6-1. JR 鹿児島本線: 大野城駅下車徒歩 3 分, 西鉄天神大牟田線: 白木原駅下車徒歩 15 分. <http://www.kyushu-u.ac.jp/access/map/chikushi/chikushi.html> TEL [092] 583-8773 藤野 茂)

議題 物性, 一般

29 日

1. EMS システムの超高粘性試料への適用
○保田正範・倉内奈美・原 康淑・中村美希 (京都電子)・平野太一・酒井啓司 (東大)
2. EMR システムによる低粘度液体の高精度測定
○大田悠平・松浦有祐・平野太一・酒井啓司 (東大)
3. 塗料のタレ現象に対するレオロジー特性
○松嶋美佳・井賀充香 (日本ペイント)・倉内奈美・中村美希 (京都電子)
4. 三相界面における液滴の力学的バランスに関する分子動力学解析
○西田翔吾・山口康隆 (阪大)・黒田孝二・香川 勝・中島 但・藤村秀夫 (大日本印刷)

5. MD Study on the Effect of Alcohol Additives on the Interfaces and Wetting of a Water Droplet
○Donatas Surblys・Yasutaka Yamaguchi (Osaka Univ.)・Koji Kuroda・Masaru Kagawa・Tadashi Nakajima・Hideo Fujimura (DNP)
6. 水とアルコールの混合が固液間の速度すべりに与える影響についての分子動力学的研究
○中岡 聡・山口康隆 (阪大)・黒田孝二・香川 勝・中島 但・藤村秀夫 (大日本印刷)
7. 超音波刺激による強磁性金属材料の磁気測定
○山田尚人・生嶋健司 (東京農工大)・四辻淳一 (JFE スチール)
8. 超音波照射による生体組織の安全性評価—動物実験用システム—
○新田尚隆 (産総研)・石黒保直・笹沼英紀・安田是和・谷口信行 (自治医科大)・秋山いわき (同志社大)
9. 血管を模擬した粘弾性チューブの弾性評価
○西 翔平・池永雄貴・松川真美 (同志社大)・ピエールイヴ ラグレー (UPMC)
10. 豚レバーの複素ずれ弾性率の温度依存性
○崔 博坤・野村大和 (明大)
11. [招待講演] 溶液中にある非蛍光性化学種の単一分子検出に向けて
原田 明 (九大)

30 日

1. 生体組織を伝播する興奮伝播波の時空ダイナミクス
○原田義文 (福井大)・金井 浩 (東北大)
2. ベクトル場による生体組織を伝播する非線形波動の可視化
○原田義文 (福井大)・金井 浩 (東北大)
3. ReD 法を用いた溶融ポリマーの表面張力測定
○美谷周二朗・酒井啓司 (東大)
4. 複数液滴の同時振動観察による動的表面張力測定
○本田彰浩・坂井崇人・石綿友樹・酒井啓司 (東大)
5. 側鎖結晶性ブロック共重合体による超分子機能—濃厚ポリエチレン粒子分散系の分散剤効果と熱レオロジー効果—
○大熊 徹・八尾 滋・中野涼子・関口博史 (福岡大)・市川 賢 (岐阜セラック)・巽 大輔 (九大)
6. 異方性メタリン酸塩ガラスの巨大熱収縮メカニズムの解明
○稲葉誠二・細野秀雄・伊藤節郎 (東工大)
7. 新型粘度計 EMR システムを用いた低粘性測定への新たなアプローチ
○細田真妃子 (東京電機大)・酒井啓司 (東大)

◆音波と物性討論会, 日本レオロジー学会; ナノレオロジー研究会, 日本音響学会; 超音波研究委員会, 音響化学研究会, IEEE UFGC Society Japan Chapter 共催

○29 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

8 月 休会

9 月 12 日 (木) 東北大青葉山キャンパス [7 月 11 日 (木)]
テーマ: 一般

10 月 9 日 (水) 産総研名古屋駅前イノベーションハブ [8 月 15 日 (木)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

山口 匡 (千葉大)

TEL & FAX [043] 290-3267

E-mail: yamaguchi@faculty.chiba-u.jp

美谷周二朗 (東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

★コンピュータシステム研究会 (CPSY)

専門委員長 吉永 努 副委員長 安里 彰・中島康彦
幹事 中野浩嗣・入江英嗣 幹事補佐 井上浩明・大川 猛

★ディペンダブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康
幹事 中村友洋・土屋達弘

◎本研究会は CPSY 研究会と DC 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8月1日(木) 15:15~18:30

2日(金) 9:00~20:40

会場 北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野 3-9-30, JR 小倉駅より徒歩 5 分, 北九州空港より路線バス約 40 分。 <http://www.convention-a.jp/access/> TEL (093) 541-5931)

議題 並列/分散/協調とディペンダブルコンピューティング及び一般 (SWoPP2013)

1日 データの信頼性 (15:15~16:45)

DC-1. MDS 符号を適用した分散ストレージにおける信頼性を考慮したデータ配置法 太田康介(東工大)

DC-2. [招待講演] 耐災害性強化ストレージシステムの研究開発 中村隆喜(東北大)

ディペンダビリティ (17:00~18:30)

DC-3. 高信頼化と高性能化を実現するデータベースクラスタの提案と評価 ○三島 健 (NTT)・藤井雅雄 (NTT テク)・藤原靖宏・鬼塚 真 (NTT)

DC-4. 実行環境との同期を含めた Assurance Cases の管理ツールの提案 ○内田篤史・若松悠樹・倉光君郎 (横浜国大)

DC-5. レジスタ多重化による耐過渡故障高信頼プロセッサの評価 ○緑川直樹・小山善史 (首都大東京)・新井雅之 (日大)・福本 聡 (首都大東京)

1日 クラウド基盤 (15:15~16:45)

CPSY-6. 資源プール化アーキテクチャを用いた物理 IaaS におけるマルチテナント環境の実現 ○山崎公敬・河合 励・土肥実久・湯原雅信 (富士通研)

CPSY-7. ディスクエリアネットワークを用いたフラッシュストレージの性能改善手法 ○小野貴継・谷本輝夫・三吉貴史 (富士通研)

CPSY-8. 吸気温度と負荷を考慮したサーバと空調の協調制御によるデータセンター省電力化の検討 ○児玉宏喜・杉本利夫・福田裕幸・堀江健志 (富士通研)

ハードウェア支援 (17:00~18:30)

CPSY-9. GC 実行時のポインタ判別コストを削減するハードウェア支援手法の検討 井手上 慶 (名工大)

CPSY-10. バックボーンルータを利用した MapReduce の実装と評価 高際兼一 (慶大)

CPSY-11. SCSI ストレージ装置における受信側スケールアップ方式 高田正法 (日立)

2日午前 アクセラレータ (9:00~10:30)

CPSY-1. GPU による局所全数探索を用いたアスキーアートの生成 ○竹内裕治・高藤大介・伊藤靖朗・中野浩嗣 (広島大)

CPSY-2. An Optimal Offline Permutation Algorithm on the Hierarchical Memory Machine, with the GPU implementation

○Akihiko Kasagi・Koji Nakano・Yasuaki Ito (Hiroshima Univ.)

CPSY-3. FPGA の DSP スライスを用いたテンプレートマッチング ○橋本 郁・伊藤靖朗・中野浩嗣 (広島大)

ネットワーク (10:45~12:15)

CPSY-4. ワイヤレス垂直バスを用いた 3 次元 NoC 向けルーティング手法の拡張 加賀美崇紘 (慶大)

CPSY-5. TCP 通信における機械学習を用いたロス分類アルゴリズム 森藤福真 (東大)

CPSY-6. 圧縮方式の動的切り替えによる通信帯域の有効活用の検討 表 雅之 (宇都宮大)

2日午後 最適化 (13:30~15:00)

CPSY-7. リアルタイム動画画像処理ライブラリにおける入力の重要度を考慮した処理量調整手法 ○松永拓也・大平真司・津邑公暁 (名工大)

CPSY-8. コード差分シミュレーション法におけるチェックポイント削減の検討 椎名敦之 (宇都宮大)

CPSY-9. Valgrind を利用した自動並列処理システムにおける実行時オーバーヘッドの削減 ○星 孝幸・大津金光・大川 猛・横田隆史 (宇都宮大)

分散・並列処理 (15:15~16:45)

CPSY-10. Hadoop における JobTracker 主導型タスクスケジューリングの実装と評価 山崎一樹 (名工大)

CPSY-11. ExpEther を用いたマルチ GPU システムにおける最適化手法の検討 野村鎮平 (慶大)

CPSY-12. 分散並列型 CEP における通信高速化手法 小林賢司 (富士通研)

マイクロアーキテクチャ (17:00~20:40)

CPSY-13. FabScalar を用いた可変段数パイプライン構造を有するスーパースカラコアの詳細設計 三好聖二 (三重大)

CPSY-14. パスベース投機的マルチスレッド実行のためのコード最適化 ○本間勇貴・十島弘泰・大津金光・大川 猛・横田隆史 (宇都宮大)

CPSY-15. ループにおけるパス予測と分岐予測の関連性についての考察 金海和宏 (宇都宮大)

CPSY-16. 永久故障回避のための等価命令列置換手法 ○國本将也・原 祐子・中島康彦 (奈良先端大)

◎1日研究会終了後に SWoPP 懇親会を予定しています。詳細は, SWoPP ホームページ (<http://www.hpcc.jp/swopp/>) にて御案内します (要事前申込)。

☆CPSY 研究会

【問合先】
入江英嗣 (電通大)
TEL [042] 443-5635

E-mail : irie@is.uec.ac.jp

☆DC 研究会

【問合先】
土屋達弘 (阪大大学院情報科学研究科)
E-mail : t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は, DC 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三
幹事 笹子佳孝 幹事補佐 黒田理人

★集積回路研究会 (ICD)

専門委員長 山村 毅 副委員長 藤島 実
幹事 松岡俊臣・渡辺 理
幹事補佐 大内真一・吉田 毅・土谷 亮・範 公可

☆研究会今後の予定

8月1日(木), 2日(金) 金沢大角間キャンパス テーマ:
低電圧/低消費電力技術, 新デバイス・回路とその応用及び
一般

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 鷲見和彦 副委員長 柏野邦夫・黄瀬浩一
幹事 田中 宏・堀田政二 幹事補佐 島田敬士・井尻善久

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月3日(木), 4日(金) 幕張メッセ国際会議場 [7月17
日(水)]
テーマ: 大規模データとパターン認識・メディア理解, 地球をと
らえる, CEATEC 連携

PRMU 研究会では, 2年前の10月に CEATEC 連携企画として「PRMU の拓く未来: Web スケール時代のパターン認識」を好評を博しました。今回はそれに引き続きまして、「大規模データとパターン認識・メディア理解」というテーマで CEATEC 連携企画を開催致します。

今日, コンピュータシステムの大規模化によってあらゆる情報が記録可能となり, 実世界から得られる人間の活動に関する情報, 各種センサーから得られる自然界の動きに関する情報, Web 上に蓄積される一般ユーザが発信したソーシャルメディア情報を含む多種多様な情報など, すべての情報が世界規模で電子的に蓄積される「ビッグデータ」時代を迎えています。こうした膨大な蓄積情報は, パターン認識・メディア理解技術を用いて分析し, 少量のデータからは得られなかった新しい知見や価値を発見・抽出することで, 有効活用されることが大いに期待されています。しかしながら, そうした膨大なデータを効率的に分析し活用するためには, 従来のパターン認識・メディア理解の手法では必ずしも十分ではなく, ビッグデータ時代を見据えた, そのスケールに対応した新しい方法論が必要とされています。より高速・効率的なアルゴリズム, クラウドサービスのような大規模計算資源を有効活用可能なスケラビリティのある手法, 大規模に分散されたデータを効率的に処理可能な方法など, 大規模データ時代に適応したパターン認識・メディア理解技術が求められています。

そこで, 今回は「大規模データとパターン認識・メディア理解」というテーマで PRMU 研究会を開催します。今回は特に通常の大規模画像・映像データに関連した研究のみならず, 一般的な大量データに対する研究発表も歓迎致します。

また, 今回は技術テーマとは別に, 社会課題テーマとして「地球をとらえる」というテーマも設定しております。蓄積された気象や自然災害などの地球に関連した大規模データを有効活用し,

危険や災害を事前に予測し, 人々の安全を守ることに生かしていくのもパターン認識・メディア理解技術の重要な使命であります。地球に関するデータに関連した研究発表を特に歓迎致します。

本研究会では, これらの分野の最先端で活躍されているの方々をお招きし, その研究を紹介して頂く特別講演も企画しております。また, 本テーマセッションのほか, 一般セッションの発表も受け付けます。更に, 同一会場にて, 最新のコンシューマデジタル技術に触れることができる CEATEC 2013 も開催されておりますので, 多数の御投稿, 御参加をお待ち申し上げております。

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第 26 回ポリマー光回路 (POC) 研究会

委員長 杉原興浩 (東北大) 副委員長 柴田 宣 (日大)

日時 平成 25 年 7 月 5 日 (金) 13:00~17:05

会場 産業技術総合研究所関西センター基礎融合材料実験棟二階
第 8 会議室 (池田市緑丘 1-8-31)

テーマ ディスプレイ・イメージング関連技術のトピックス

プログラム (注: 講演者・内容・順番等は変更される場合があります。)

1. デジタルホログラフィによる高速度 3 次元動画像計測
栗辻安浩 (京都工繊大)
 2. 溶液プロセスによる有機発光素子の高効率化と過渡解析 (仮)
梶井博武・大森 裕 (阪大)
 3. フォトニクスポリマーが実現する革新的液晶ディスプレイ (仮)
多加谷明広 (慶大)
 4. 題目調整中 (レーザーバックライト液晶 TV 関係の講演を予定)
講演者調整中 (三菱電機)
 5. 次世代ディスプレイの実現に向けた酸化物半導体薄膜トランジスタの基礎と将来展望 (仮) 浦岡行治 (奈良先端大)
- 参加費 当日会場でお支払い下さい。なお, 釣銭のないよう御準備下さい。

正会員・協賛学会員 3,000 円, 非会員 5,000 円, 学生会員・協賛学会学生会員 1,000 円, 学生非会員 2,000 円

研究会後, 懇親会 3,000 円 (仮) を予定しています。

研究参加申し込み要領 事前にメールでお申し込み下さい。(なお, 当日の受付も可能ですが事前にメールにて御連絡下さい。)
氏名・所属・メールアドレス・会員種別 (会員・非会員・学生会員 明記)・懇親会の参加有無を下記問合せ先へお知らせ下さい。

【問合せ】 幹事

富木政宏 (静岡大)

TEL [053] 478-1094

E-mail: tmtomik@ipc.shizuoka.ac.jp

◎POC 研究会に関する最新の情報については, POC 研究専門委員会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~poc/jpn/welcome.html>

主催 ポリマー光回路時限研究専門委員会

協賛 レーザー学会関西支部

●2013 年度第 2 回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 新津善弘 (芝浦工大)

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成 25 年 7 月 26 日 (金)

会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス (江東区)

テーマ: 将来に向けたネットワーク制御ソフトウェアの技術+一般

概要

スマートフォンの爆発的な人気によるトラフィックの増大や LTE 網の音声サービス開始に向けて、通信キャリアは有限である回線の帯域制御を余儀なくされており、ユーザのポリシーに応じた QoS 制御の導入を進めている。また OpenFlow スイッチの登場によりトラフィック制御を代表とするネットワーク制御技術は変貌を遂げようとしている。このような、ネットワーク制御技術は、ネットワーク自体が社会インフラとして高度なスケーラビリティ、信頼性、可用性、セキュリティ等の確保を求められているために生まれた技術であり、今後も幅広いネットワーク制御技術の発展が望まれている。このような視点から、本研究会では、以下のようなテーマで研究発表を募り、ネットワーク制御ソフトウェアの将来像に向けて幅広く議論を行う。

- ・将来のサービスに求められるネットワーク制御ソフトウェア技術
- ・将来のネットワークに求められる QoS 制御及びトラフィック制御ソフトウェア技術
- ・ネットワークの可用性、信頼性確保に向けたネットワーク管理ソフトウェア技術
- ・将来のサービス、ネットワーク管理に貢献するポリシー管理ソフトウェア技術
- ・その他一般

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】 下記 2 種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演: 掘り下げた議論を御希望の方向へ
1 件当たり標準で 50 分。発表者からのプレゼンテーションは 20~25 分とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。
- ・ポジションペーパー: 構想段階等にて意見を収集したい方向へ

1 件当たり約 5~10 分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

【各種締切】

- 一般講演申込み: 6 月 26 日 (水)
- 一般講演原稿提出: 7 月 10 日 (水)
- ポジションペーパー申込み: 7 月 10 日 (水)
- 研究会参加申込み: 7 月 10 日 (水)
- 参加費振り込み: 7 月 25 日 (木)

【一般講演の申込と原稿提出】

- ・申込方法
講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要 (400 字程度)、連絡先 (住所、E-mail アドレス、電話番号)、講演者の方の参加費種別 (一般/学生) を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込みもされたものとみなしますので、下記参加申込みに関する注意事項も合わせて御確認下さい。

・原稿提出方法

PDF ファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPoint などの発表スライドを原稿として提出される場合は、1 ページ当たり 1 スライドとなるよう PDF 化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて 1 ページ当たり 2 スライドまたは 4 スライドの形式で予稿集へ掲載させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。

【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDF ファイル (A4 判 1 枚・様式自由) にて、電子メールでお送り下さい。
※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

【参加申込】

氏名、所属、連絡先 (住所、E-mail アドレス、電話番号)、参加費種別 (一般/学生) を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mail アドレスを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

【参加費 (予定) と参加費支払方法】

一般 7,000 円 学生 3,000 円

参加費を期日までに下記口座へお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先

みずほ銀行 三鷹支店

口座名: ネットワークソフトウェア研究会

口座番号: 普通 4298770

【講演・参加申込先・原稿提出先】

原 大輔 (NTT)

〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11

TEL [0422] 59-6941

E-mail: nws-kanji@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

奥谷武則 (NTT)

TEL [0422] 59-3805

主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフト

ウェア研究会

◎運営委員会 <http://www.ieice.org/~nws/>

●第26回 回路とシステムワークショップ

第26回 回路とシステムワークショップ実行委員長

宮本俊幸 (阪大)

第26回「回路とシステムワークショップ」を昨年に続き、真夏の淡路島で開催致します。本ワークショップは、回路とシステムに関連した分野の研究者や技術者が集い、招待論文や投稿論文を通じて、分野内だけでなく分野間にまたがる境界領域の課題解決と、将来の研究分野の探求を目的としています。今回は、藤田政之氏(東工大)により特別招待講演「社会的課題の解決に向けて一システム制御の立場から」をはじめ、12件の招待講演を含む多彩なプログラムを用意しております。研究者間の技術交流の場として、また最先端の研究に接する絶好の機会ですので、皆様奮って御参加下さい。

ホームページ：<http://www.ieice.org/ess/kws/>

期日 平成25年7月29日(月)、30日(火)

会場 淡路夢舞台国際会議場(淡路市夢舞台1. TEL [0799] 74-1020)

会場受付 7月28日(日) 17:30~19:00

ウエスティンホテル淡路2階ロビー

29日(月) 8:30~, 30日(火) 8:30~

淡路夢舞台国際会議場3階

特別招待講演：社会的課題の解決に向けて一システム制御の立場から 藤田政之(東工大)

招待講演：下記の招待講演などを企画しています。

「周期振動子、カオス振動子の同期とその実験について」

池口 徹(埼玉大)

「発声における非線形動力学の基礎と応用」

徳田 功(立命館大)

「次世代回路モデルをけん引するHiSIM：どこまでできる」

三浦道子(広島大)

「SPICEモデル標準化の最新動向」 古井芳春(シバコ・ジャパン)

「三次元積層チップ間を貫く無線TSV-ThruChip Interface」

三浦典之(神戸大)

「学生向け通信信号処理チュートリアル」 尾知 博(九工大)

「学生向け電子透かし技術チュートリアル」 栗林 稔(神戸大)

スキャンニングニッチャを利用したブロック暗号に対するスキャンベース攻撃」 戸川 望・小寺博和(早大)

「先端リソグラフィにおけるマスクと照明の最適化技術」

橋本隆希(東芝)

「研究課題としてのロボカップレスキュー」

伊藤暢浩(愛知工大)

「多角形から折る凸多面体」 平田浩一(愛媛大)

参加費 早期申込期限(7月3日(水))までに申し込みされた場合、参加費が下記のとおり異なります。7月3日(水)までに、システムによる参加申込と振込が完了している場合に早期申込の扱いとします。

7月3日(水)まで 7月4日(木)から開催期間中

会員 20,000円 23,000円

非会員 25,000円 28,000円

学生 10,000円 11,000円

※送金手数料は、各自御負担下さい。

※領収書は開催期間中の受付にてお渡しします。

※参加費には論文集代、懇親会費を含みます。

※同伴者の懇親会費用は、学生 3,000円、一般 6,000円となっています。

※会員とは、電子情報通信学会、電気学会またはIEEEの個人会員のことです。

参加申込方法 参加申込はワークショップのホームページよりお願いします。会場の受付で参加申込することも可能です。

参加費払込先 ゆうちょ銀行(郵便局)の窓口等に置かれている「払込取扱票」にて7月9日(火)までに(早期申込の場合は7月3日(水)までに)次の口座にお振込み下さい。

口座番号：01320-7-108297

加入者名(漢字)：回路とシステムワークショップ

加入者名(カナ)：カイロトシステムワークショップ

ゆうちょ銀行以外の金融機関(一部を除く)から振込可能です。その場合、下記を指定して下さい。ただし、手数料はゆうちょ銀行で振り込むより高くなる場合があります。また、参加登録番号及び複数の費用をまとめる場合にはその内訳が確認できるように工夫して下さい。

店名(店番)：一三九(イチサンキュウ)店(139)

預金種目：当座 口座番号：0108297

氏名：カイロトシステムワークショップ

振込方法の詳細はホームページを参照して下さい。

[注意]「払込取扱票」の通信欄または銀行振込時の通信欄には、ワークショップの参加申込システムで発行された参加登録番号、氏名及び金額を必ず記載して下さい。複数の費用をまとめて払込む場合は、全員の情報を明記して下さい。

参加に関する問合せ先：

ニコデムスレディアン(参加担当幹事)

〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-S3-51

東京工業大学グローバルエッジ研究院

TEL [03] 5734-2561

E-mail：kws-26regist@mail.ieice.org

交通：高速バスを使って、関西空港、伊丹空港から90分~120分、新神戸駅から60分、三ノ宮駅(神戸)から45分かかります。新神戸駅発(三ノ宮駅に停車)の高速バスは、1時間に1、2本あります。

詳細は下記を御参照下さい。

*淡路夢舞台国際会議場の案内ページ

<http://www.yumebutai.org/access/access.html>

*隣接するウエスティンホテル淡路の案内ページ(時刻表があります)

<http://www.westin-awaji.com/guide/access/>

宿泊：会場に隣接するウエスティンホテル淡路に特別料金で宿泊できるプランを用意しています。

*お一人様一泊の料金(朝食付き、税・サービス料込)は以下のとおりです。

利用人数 お一人様の料金

1名利用 1名 13,500円

2名利用 1名 9,000円

3名利用 1名 7,500円(1名はエクストラベット)

*部屋はデラックスツインで、オーシャンビューです。

*御家族の御利用も可能です。

*開催前日と開催中の7月28日(日)~30日(火)のみ上記料金で御利用できます。

*お一人場合でも「2名利用」を選択可能です。この場合、旅行代理店で部屋割をアレンジすることになります(同じ性別が相

部屋になるように).

*一部屋3名利用はグループで申し込まれる場合に限りです.

*子供料金について

1. お子様がベッドを使用する場合
大人と同額の宿泊料金がかかります.
2. お子様がベッドを使用しない(親が添い寝する)場合
ルームチャージは無料
朝食代:未就学児 無料 小学生 1,500円
※このケースでの朝食代の支払いは、部屋付けもしくはレストランでの支払いで精算することになります.

3. ベビーベッドを使用する場合(お子様が幼児である場合に限定されます)

ベビーベッドは無料, ルームチャージ無料, 朝食代無料

※ベビーベッドは台数に限りがあるため, 必要な場合はあらかじめ下記担当者に御連絡下さい.

*取消料 お申込み後, 参加者の御都合で予約を取り消される場合は, 1名様につき下記の取消料を頂きます.

宿泊日の8日前以前	無料
7日前~2日前	20%
前日	40%
当日	50%
旅行開始後の取消/無連絡	100%

*申し込み方法 オンラインシステムで受け付けます. 本ワークショップホームページからアクセスして下さい. オンサイトでも受付可能ですが, 空きがなければ御希望に沿えないことがあります.

*宿泊申込締切日 宿泊申込締切は7月18日(木)となっております. 締切日以降の変更・取消につきましては, メールまたはFAXにて下記(株)JTB西日本MICEセンター第26回回路とシステムワークショップ係までお申し出下さい.

宿泊に関する問合せ先:

日野賢一(会場・宿泊担当幹事)

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-100-45

日本ケイデンスデザインシステムズ社 TFO 本部

TEL [045] 475-2221

E-mail: kws-26local@mail.ieice.org

株式会社 JTB 西日本コミュニケーション事業推進室

MICEセンター「第26回 回路とシステムワークショップ」係

TEL [06] 6252-2861, FAX [06] 6252-2862

E-mail: westec_op7@west.jtb.jp

営業時間: 9:30~17:30 (土・日・祝祭日は休業)

プログラム

29日

セッション An1-1 カオスとその応用 (9:15~10:30)

座長: 上手洋子 (徳島大)

1. 馬蹄形写像におけるカオス制御 中西崇弥・上田哲史 (徳島大)・川上 博 (JST)
2. カオスダイナミクスの分離を利用したノンコヒーレントカオス通信のための多値変調方式 荒井伸太郎 (香川高専)・西尾芳文 (徳島大)・山里敬也 (名大)

3. 固定小数点演算の特性によるカオス暗号の高度化に関する研究 田中大貴・栗山脩平・田畑健太・鎌田弘之 (明大)

セッション An1-2 [特別セッション] 結合振動系における同期現象 (10:45~12:00)

座長: 木村貴幸 (日本工大)

4. [招待] 周期振動子, カオス振動子の同期とその実験について 池口 徹 (埼玉大)

5. 6個の硬発振器結合系にみられる多様なスイッチング現象 清水邦康・落合一樹 (千葉工大)

6. 区分定数スパイク発振器の結合系にみられる周期のような現象について 松岡祐介 (米子高専)

セッション An1-3 カオスと分岐 (13:15~14:30)

座長: 井岡恵理 (青学大)

7. 異なる結合強度によって結合された1次元カオス回路で観測される同期現象 上手洋子・西尾芳文 (徳島大)

8. 状態と時間に依存する発火スイッチを有するハイパーカオス回路 四辻和希・斎藤利通 (法政大)

9. 符号特性の電流源を含むカオススパイク発振器の実装 田中貴裕・松岡祐介 (米子高専)

セッション An1-4 粒子群最適化法 (14:45~16:00)

座長: 青森 久 (中京大)

10. 自立心を持つ粒子群最適化による計算量削減法の提案 松下春奈 (香川大)

11. 粒子群最適化法の参照位置による解探索性能 進藤卓也・神野健哉 (日本工大)

12. 局所成長機構を有する粒子群最適化法の基本特性について 佐藤拓海・丸山一紀・斎藤利通 (法政大)

セッション Ba1-1 要素回路 (9:15~10:30)

座長: 廣瀬哲也 (神戸大)

13. 時間領域への対数変換を用いたA/D変換器の研究

杉森友策・井岡恵理・松谷康之 (青学大)

14. 無線通信帯域の基板結合評価に向けたマルチトーンノイズ発生回路 島崎俊介・植田哲也・東 直矢・永田 真 (神戸大)

15. 基板バイアス効果を利用した弱反転領域動作低Gm線形OTAの一構成法 大淵武史・松元藤彦 (防衛大)

16. A Linearity Bootstrapped Switch with Dynamic Bulk Biasing Design Gong Chen・Yu Zhang・Mingyu Li・Qing Dong・Shigetoshi Nakatake (Univ. of Kitakyushu)

セッション Ba1-2 招待講演: 次世代チップ間通信

(10:45~12:00)

座長: 原田知親 (山形大)

17. [招待] 三次元積層チップ間を貫く無線TSV-ThruChip Interface— 三浦典之 (神戸大)

セッション As1-3 次世代回路モデル (13:30~14:30)

座長: 佐藤高史 (京大)

18. [招待] 次世代回路モデルをけん引するHiSIM: どこまでできる 三浦道子 (広島大)

セッション As1-4 シミュレーション技術 (14:45~16:00)

座長: 關根惟敏 (静岡大)

19. SPICEを用いた化学反応シミュレーション手法

中林啓司 (奈良県奈良市)

20. HSPICEの最適化機能を用いたコンパレータ回路の自動合成 根岸孝行・新井直樹・高井伸和・小林春夫 (群馬大)

21. 電源プレーンの三角形メッシュを用いた等価回路モデルの比較とその過渡解析の高速化 渡邊貴之 (静岡県立大)

セッション Bd1-1 フィルタ設計 (9:10~10:30)

座長: 藤田 玄 (阪電通大)

22. 行入れ替え付き再帰リフティング分解を用いたロスレス変換の最適化 岡田英晃・福岡慎治・鶴飼利明・森 眞一郎 (福井大)

23. ペナルティ関数付加によるCSD係数FIRフィルタ設計のた

- めの局所解留回避 齋藤一幾・陶山健仁 (東京電機大)
24. 2次元非分離線形位相パラユニタリフィルタバンクの多段ツ
リ構成組み込み実装 古屋幸祐・原 伸太郎・
村松正吾 (新潟大)
25. 最大極半径指定下における低域通過微分器の設計法
入江洋規・中本昌由・山本 透 (広島大)
- セッション Bd1-2 音声信号処理 I (10:45~12:05)
座長:川村 新 (阪大)
26. Avoidance of Same Direction Estimation in Multiple Speaker
Tracking Using PSO 大森征一・陶山健仁 (東京電機大)
27. ブラインドインパルス応答推定に基づく残響下音源位置推定
法における距離推定精度の評価 林田亘平・倉谷泰弘・
中山雅人・西浦敬信・山下洋一 (立命館大)
28. 雑音重畳音響モデルを選択的に用いた雑音ロバスト音声認識
作野浩之 (阪大)・早坂 昇 (阪電通大)・飯國洋二 (阪大)
29. 声道特性の重要な変調周波数成分を利用した話者認識
松本築樹 (阪大)・早坂 昇 (阪電通大)・飯國洋二 (阪大)
- セッション Bd1-3 通信信号処理 (13:30~14:30)
座長:福岡慎治 (福井大)
30. ミリ波送信バンドでの単一誤り付加によるベースライ
ン変動補償及び連続誤り解消手法 高野光司・甲田泰照・
大庭信之・中野大樹・山根敏志・片山泰尚 (日本 IBM)
31. Simplified Compressed Sensing-Based Volterra Model for
Broadband Wireless Power Amplifiers Li Mingyu・
Chen Gong・Zhang Yu・Qing Dong・
Shigetoshi Nakatake (北九州市大)
32. LDPC 符号による耐改ざん性を有する可逆情報ハイディング
法 延岡 翼・黒崎正行・尾知 博 (九工大)
- セッション Bd1-4 [招待講演] (14:45~16:00)
座長:中本昌由 (広島大)
33. [招待] 学生向け通信信号処理チュートリアル
尾知 博 (九工大)
- セッション C1-2 システム設計 (10:45~12:00)
座長:横川智教 (岡山県立大)
34. 通信制御プロトコル処理用プログラマブル回路アーキテク
チャの提案 八田彩希・田中伸幸・重松智志 (NTT)
35. HDR-mcd を対象としたマルチクロックドメイン指向の低電
力化高位合成手法 阿部晋矢・史又 華 (早大)・
宇佐美公良 (芝浦工大)・柳澤政生・戸川 望 (早大)
36. 高速なパターン更新のための FPGA の部分再構成を利用し
たコンパクトな正規表現マッチングハードウェア
若葉陽一・永山 忍・若林真一・稲木雅人 (広島市大)
- セッション C1-3 [招待講演 I] (13:30~14:30)
座長:高島康裕 (北九州市大)
37. [招待] スキャンニングニッチャを利用したブロック暗号に対す
るスキャンベース攻撃 戸川 望・小寺博和 (早大)
- セッション C1-4 論理設計 (14:45~16:00)
座長:岩垣 剛 (広島市大)
38. 論理ゲート回路デバッグにおける UNSAT コアの利用とそ
の効率的な生成手法の検討 李 在城・松本剛史・
藤田昌宏 (東大)
39. SD 数の非零桁数削減回路の改良 田中勇樹・
魏書 剛 (群馬大)
40. セレクタ論理を利用した線形補間演算器の実装と評価
塩 雅史・柳澤政生・戸川 望 (早大)
- セッション D1-1 グラフネットワーク理論 (9:15~10:30)
座長:山中克久 (岩手大)
41. グラフの細分のスタックキューミックスレイアウト
榎本彦衛 (早大)・宮内美樹 (NTT)
42. On Independent Trees in Star Graphs 須藤英明・
山田敏規 (埼玉大)
43. A Polynomial Time Algorithm for Solving a 2-Tuple
Domination Problem on Permutation Graphs
中山慎一 (徳島大)・増山 繁 (豊橋技科大)
- セッション D1-2 ハイブリッドダイナミカルシステム
(10:45~12:00)
座長:中田 充 (山口大)
44. モデル予測制御に基づくバイナリマニピュレータの障害物回
避制御 前田健介・小中英嗣 (名城大)
45. マルチホップ制御ネットワークの MLD システム表現と最適
制御 小林孝一・平石邦彦 (北陸先端大)
46. 電力パケット伝送におけるエネルギーとエントロピーの凸性
に関する一考察 縄田信哉・高橋 亮・引原隆士 (京大)
- セッション D1-3 分散処理とマルチエージェント
(13:30~14:30)
座長:河辺義信 (愛知工大)
47. [招待] 研究課題としてのロボカップレスキュー
伊藤暢浩 (愛知工大)
- セッション D1-4 幾何学的な図形の数理 (15:00~16:00)
座長:坂巻慶行 (東芝)
48. [招待] 多角形から折る凸多面体 平田浩一 (愛媛大)
- セッション SP [特別招待講演]
座長:宮本俊幸 (阪大)
49. [招待] 社会的課題の解決に向けて—システム制御の立場か
ら 藤田政之 (東工大)
- 30 日
- セッション An2-1 非線形システムとその解析
(9:15~10:30)
座長:麻原寛之 (福岡大)
1. 微摺動機構による電気接点の劣化現象—接触抵抗のモデリン
グ— 和田真一・越田圭治・久保田洋彰 (TMC システム)・
澤 孝一郎 (日本工大)
2. ネットワーク構造を持つ粒子群最適化法を用いた非線形ブラ
インド信号源分離 栗原拓哉・神野健哉 (日本工大)
3. E_M 級インバータと E 級整流器から構成される高周波数高
効率共振型コンバータ 関屋大雄 (千葉大)・
魏 秀欽 (福岡大)・永島和治 (千葉大)
- セッション An2-2 特別セッション:生体における非線形動力
学の基礎と応用 (10:45~12:00)
座長:清水邦康 (千葉工大)
4. [招待] 発声における非線形動力学の基礎と応用
徳田 功 (立命館大)
5. Modulation of Beta and Gamma Oscillations of LFP in Monkey
Medial Motor Cortex Ryosuke Hosaka (Fukuoka Univ.)・
Toshi Nakajima (Tohoku Univ.)・
Kazuyuki Aihara (Univ. of Tokyo)・
Yoko Yamaguchi (RIKEN BSI)・
Hajime Mushiake (Tohoku Univ.)
6. 結合南雲・佐藤モデルにおける分岐解析 伊藤大輔・
上田哲史 (徳島大)
- セッション An2-3 学習と最適化 (13:30~14:45)
座長:松岡祐介 (米子高専)

7. 混合ルールを用いたセルオートマトンの基本動作
澤山 良・斎藤利通 (法政大)
8. ブロック連続時間 CT 画像再構成システムの電子回路実装
赤石祥彰・飯田 仁・藤本憲市・吉永哲哉 (徳島大)
9. 時変鈍感差分進化の基本探索特性について 安藤直人・村岡政哉・斎藤利通 (法政大)
- セッション An2-4 ニューラルシステムの工学的応用 (15:00~16:15)
座長: 松下春奈 (香川大)
10. 有向グラフにおける Maximum-Flow Neural Network の最小カット問題への適用 佐藤雅俊 (首都大東京)・田中 衛 (上智大)
11. 動的バイナリニューラルネットのスイッチング回路への応用 上月良太・中山雄太・斎藤利通 (法政大)
12. Avoiding Packet Congestion by Chaotic Neurodynamics for Complex Communication Networks
Takayuki Kimura (Nippon Inst. of Tech.)・Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)
- セッション Ba2-1 電源回路 (9:15~10:30)
座長: 傘 昊 (東京都市大)
13. 低電圧エネルギー・ハーベスティングに向けた 0.27-V 入力, 最大効率 75% のオンチップ・チャージポンプ回路
長井崇浩・廣瀬哲也・椿 啓志・黒木修隆・沼 昌宏 (神戸大)
14. 2 相式降圧形 DC-DC コンバータへのフィードフォワード型 $\Delta\Sigma$ 変調制御の適用 金谷浩太郎・田中駿祐・岡田考志・高井伸和・小堀康功・小林春夫 (群馬大)・小田口貴宏・山口哲二・上田公大 (AKM テクノロジー)・松田順一 (旭化成パワーデバイス)
15. ヒステリシス制御を用いた単一インダクタ 2 出力 DC-DC スイッチング電源 田中駿祐・長島辰徳・小堀康功・金谷浩太郎・岡田考志・堺 昂浩・高井伸和・小林春夫 (群馬大)・小田口貴宏・山口哲二・上田公大 (AKM テクノロジー)・松田順一 (旭化成パワーデバイス)
16. 電源回路にて用いられる低電圧型高精度 CMOS カレントミラー回路の提案 本島大地・油井史典・高井伸和・小林春夫 (群馬大)
- セッション Ba2-2 センサ回路 (10:45~12:00)
座長: 寺田崇秀 (日立)
17. 回路への組み込みが可能な多端子 MOSFET 温度検出素子の作製及び評価 竹内宏介・梅津哲也・原田知親 (山形大)
18. 5 端子 MOSFET 型応力検出素子の応力検出動作の評価 原田知親・梅津哲也・竹内宏介 (山形大)
19. 低雑音スイッチトキャパシタ電流積分回路の構成
ニコデムスレディアン・高木茂孝 (東工大)
20. センサ用ミリ波帯低消費電力受信機 和田敏輝・池辺将之・佐野栄一 (北大)
- セッション As2-3 トランジスタのモデル化技術 (13:30~14:45)
座長: 土谷 亮 (京大)
21. [招待] SPICE モデル標準化の最新動向
古井芳春 (シルバコ・ジャパン)
22. 半導体デバイスの耐圧計算に有効な初期解の計算
越本浩央・池上 努・福田浩一・伊藤 智 (産総研)
23. SRAM 回路解析における最小ノルム不良サンプルと歩留まりの関係 木村和紀・筒井 弘 (京大)・越智裕之 (立命館大)・佐藤高史 (京大)
- セッション As2-4 アナログ回路の解析技術 (15:00~16:15)
座長: 伊藤浩之 (東工大)
24. Behaviors of EER Transmitter with Class-E Amplifier due to MOSFET Parasitic Capacitances
Xiuqin Wei (Fukuoka Univ.)・Tomoharu Nagashima・Hiroo Sekiya (Chiba Univ.)・Tadashi Suetsugu (Fukuoka Univ.)
25. スイッチング電源の定常特性の新しい解析方法
蒼邦 寛・寺田晋也 (熊本高専)・江口 啓 (福岡工大)・大田一郎 (熊本高専)
26. An Efficient Variable-Gain Homotopy Method for DC Operating Point Analysis of Transistor Circuits
Fumiya Okimori・Yudai Yamamoto・Takuya Miyamoto・Kiyotaka Yamamura (Chuo Univ.)
- セッション Bd2-1 画像処理 I (9:30~10:30)
座長: 白井啓一郎 (信州大)
27. 画像の圧縮センシングにおける画像内圧縮率の適応的変更手法 藤田隆史・筒井 弘 (京大)・越智裕之 (立命館大)・佐藤高史 (京大)
28. 高頻度 syntax に特化したアクセラレータによる HEVC 向け CABAC デコーダの高効率化 藤田 玄・米原明男 (阪電通大)
29. スケラブル符号化画像のための閾値秘密分散を用いたアクセス制御方式 石塚賢人・今泉祥子・青木直和・小林裕幸 (千葉大)
- セッション Bd2-2 [招待講演] (10:45~12:00)
座長: 今泉祥子 (千葉大)
30. [招待] 学生向け電子透かし技術チュートリアル
栗林 稔 (神戸大)
- セッション Bd2-3 音声信号処理 II (13:30~14:50)
座長: 陶山健仁 (東京電機大)
31. 声帯の周期揺らぎに着目した音声合成に関する研究
河村直浩・大川智久・門井 駿・赤池 敦・藤山勇次・神山恭平・鎌田弘之 (明大)
32. ステレオマイクロホンを用いた自動車内雑音除去
本多佑也・川村 新・飯國洋二 (阪大)
33. パラメトリックスピーカアレーを用いた壁面反射型オーディオスポット領域の拡大 益永翔平・生藤大典・中山雅人・西浦敬信 (立命館大)
34. 間接動電型スピーカを用いた残響時間制御による全天周ドームにおける音像プラネタリウムの高臨場化 生藤大典・辻井秀弥・益永翔平・中山雅人・西浦敬信・山下洋一 (立命館大)
- セッション Bd2_2-3 画像処理 II (13:30~14:50)
座長: 黒崎正行 (九工大)
35. Image Enhancement Using Guided Trigonometric Bilateral Filters
Huimin Lu・Yujie Li (Kyushu Inst. of Tech.)・芹川聖一 (九工大)
36. 局所領域の色分布の共分散射影に基づくペア画像間の色変換
立住優介・白井啓一郎 (信州大)・奥田正浩 (北九州市大)
37. 多重解像度表現された特徴領域の学習手法 横田 怜・小笠原 麦・関根優年 (東京農工大)
38. 遮蔽領域検出を用いた顔認証フレームワークとその性能評価
田島裕一郎・伊藤康一・青木孝文 (東北大)・細居智樹・長嶋 聖・小林孝次 (アズビル)

セッション C2-1 セキュア設計 (9:15~10:30)

座長: 松尾 達 (富士通研)

39. ストリーム暗号 Trivium に対するスキャンチェーンの構造に依存しないスキャンベース攻撃手法 藤代美佳・柳澤政生・戸川 望 (早大)

40. ランダムオーダーキャンによるセキュアスキャン設計

跡部悠太・史又 華・柳澤政生・戸川 望 (早大)

41. RDR アーキテクチャを対象とした時間・面積制約にもとづくフォールトセキュア高位合成手法 川村一志・柳澤政生・戸川 望 (早大)

セッション C2-2 招待講演 II・リソグラフィー

(10:45~12:00)

座長: 中武繁寿 (北九州市大)

42. [招待] 先端リソグラフィーにおけるマスクと照明の最適化技術 橋本隆希 (東芝)

43. Minimum Cost Stitch Selection in LELE Double Patterning

Yukihide Kohira (Univ. of Aizu)・Yoko Takekawa・

Chikaaki Kodama (Toshiba)・

Atsushi Takahashi (Tokyo Inst. of Tech.)・

Shigeki Nojima・Satoshi Tanaka (Toshiba)

セッション C2-3 解析・検証 (13:30~14:20)

座長: 坂主圭史 (東芝)

44. 準ゼロ分散推定と誤差平滑化処理を併用するランダムウォーク電源網解析 岡崎 剛・筒井 弘 (京大)・

越智裕之 (立命館大)・佐藤高史 (京大)

45. 統計的モデル検査におけるプロパティ判定回路の実装手法

大島浩資・松本剛史・藤田昌宏 (東大)

セッション D2-1 離散最適化とソフトウェア仕様記述

(9:15~10:30)

座長: 田中勇樹 (群馬大)

46. 時間変化を伴う鈍感粒子群最適化法 丸山一紀・斎藤利通 (法政大)

47. 拡張 Sequence-Pair を用いた円充填問題の一解法

守永周平・太田秀典・中森真理雄 (東京農工大)

48. 関数型言語を用いた IOA 仕様の実装について

吉政徳晃・河辺義信 (愛知工大)

セッション D2-2 アルゴリズム (10:45~11:35)

座長: 相田 慎 (豊橋技科大)

49. 通信ネットワークのトラフィックパスに基づく信頼性計算法の改良 野口 威・田岡智志・渡邊敏正 (広島大)

50. Soft Tabu Search for Solving Motif Extraction Problem

Takafumi Matsuura・Kazumiti Numata・

Tohru Ikeguchi (Tokyo Univ. of Science)

◎プログラムは暫定版です。最新情報はホームページを御覧下さい。

●International Symposium on extremely advanced transmission technology (EXAT 2013)

委員長 鈴木正敏 (KDDI 研)

副委員長 淡路祥成 (NICT)・宮本裕 (NTT)・

盛岡敏夫 (DTU)

日時 平成 25 年 11 月 7 日 (木) 9:30~18:00 (予定)

8 日 (金) 9:00~13:00 (予定)

会場 札幌コンベンションセンター (札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1. 地下鉄: 札幌駅より南北線に乗り, 大通駅で一度下

車し東西線に乗換え東札幌駅で下車. 駅より徒歩約 8 分.

<http://www.sora-scc.jp/index.html>)

概要

Nowadays the technology on spatial division multiplexing (SDM) has been intensively investigated over the world. EXAT community in JAPAN initiated the development of the technology in 2008 and has led the investigation of 3-M (multi-core, multi-mode, multi-level) technology. The objective of this symposium organized by EXAT is to discuss the current status and future view of SDM related technology. Plenary speakers and invited speakers give us the latest topics on SDM and perspective for the future. Poster session is prepared for face-to-face discussion on hot topics between researchers. This is the 2nd EXAT symposium after EXAT 2008 held in Tokyo

プログラム

プレナリー講演

Prof. D. Richardson (Univ. of Southampton.)

Prof. Y. Chung (KAIST)

Dr. T. Miyazaki (NICT)

その他, 招待講演, ポスターセッションを実施予定

懇親会 11 月 7 日夕刻に開催予定

ポスター募集要項

最新の研究成果をアピールする場としてポスターセッションを開催します。3-M (multi-core, multi-mode, multi-level) 技術に関するトピックスを中心に募集しますが, 将来の超大容量通信につながる内容すべての投稿を歓迎します。特に若手の皆さんからの積極的な応募をお待ちしています。申込締め切りは 9 月を予定しています。詳細は EXAT ホームページを御参照下さい。

参加資格 特に関りません。

参加費, 参加申込 下記ホームページにて順次公開致します。

<http://www.ieice.org/exat/>

【問合せ先】 EXAT 研究会幹事

松尾昌一郎 (フジクラ)

TEL [043] 484-2197, FAX [043] 481-1210

E-mail: exat-contact@mail.ieice.org

主催 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●テラヘルツ応用システム研究会

委員長 久々津直哉 (NTT)

テーマ 「フォトリソを用いたテラヘルツ波発生・検出及びシステム化技術」

テラヘルツ光に関する研究の多くは, 化合物半導体によるミリ波エレクトロニクス技術の高周波化とともに, レーザ等を利用した最先端フォトリソ技術を基盤としています。更に近年, 新材料, 新概念に基づく様々なテラヘルツデバイスも提案され, 目覚ましい進歩を遂げて来ております。このような背景の下, テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会は, レーザー学会東北・北海道支部と共催で「フォトリソを用いたテラヘルツ波発生・検出及びシステム化技術」をテーマとした研究会を計画しております

す。研究会ではこれら分野において第一線で活躍されている先生方を招待講演にお招きし、御講演頂く予定です。同時に、萌芽的な研究も含め、テラヘルツ研究の更なる発展につながるような、ミリ波・テラヘルツ波技術やレーザ・光技術等に応じた意味で関連する一般講演も幅広く募集致します。皆様奮って御参加下さいませよう御案内申し上げます。

日時 平成25年8月6日(火) 10:00~17:00

会場 北海道大学札幌キャンパス(百年記念交流会館大会議室を予定)

参加申込み方法

参加希望の方は氏名・所属・役職・連絡先を、下記問合せ先にE-mailでお送り下さい。

講演発表も希望される方は、発表題目、発表者(著者全員分)、所属(著者全員分)、発表概要(100~200文字程度)をあわせてお知らせ下さい。なお、定員(50名)になり次第、締め切らせて頂きます。

参加申込締切 7月16日(火)

予稿提出について

講演発表希望者は7月23日(火)までに、A4サイズ予稿(形式指定なし、1ページ)をpdfファイルにて下記問合せ先にE-mailでお送り下さい。

参加費について

一般5,000円 学生1,000円

振込先:三菱東京UFJ銀行国分寺支店(普)口座番号:1684624
口座名:テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会、参加費の事前振込みに御協力をお願いします。事前振込み期限:7月31日(水)

研究会終了後、懇親会を行う予定でおります。詳細は別途、Webページに掲載致します。

予稿集に掲載する企業広告も広く募集致します。掲載希望の方は下記までお知らせ下さい。

【問合せ・申込先】

野竹孝志(理研光量子工学研究領域)

TEL [022] 228-2162

E-mail: notake@riken.jp

◎最新情報を研究会Webページに掲載致しますので、御参照下さい。 <http://www.ieice.org/es/thz/>

主催 テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会

共催 レーザー学会東北・北海道支部

協賛 マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究専門委員会、応用物理学会;テラヘルツ電磁波技術研究会, その他調整中

●第2回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 粕川秋彦(古河電工) 副委員長 横井秀樹(芝浦工大)
第2回研究会一般講演募集

光技術はリソグラフィ技術をはじめ、半導体集積回路における微細化の飛躍的發展を支えており、更なる微細化も含め、その研究開発は一層重要性を増してきています。そして、シリコンフォトニクスに代表されるようにリソグラフィ技術の進展により産業化に有利なプロセスを用いて高精度で低損失な光デバイスの実現も可能になっています。今後も最先端リソグラフィ技術は高精度かつ高機能な集積光回路デバイスの開発のために重要な技術と考えられます。また、ナノインプリント技術はフォトニック結晶などのナノスケール構造を有する光デバイスを製品化につなげる有効な技術であり、ナノインプリントを活用した製造技術の研究開

発にも注目が集まっています。

第2回集積光デバイスと応用技術研究会では、微細加工のための光技術並びに光デバイス開発のための微細加工技術の現状と今後の展開に関連する講演をはじめ、集積光デバイス技術とその応用に関する講演を広く募集します。多数の方の御応募と御参加をお待ちしています。

日時 平成25年10月17日(木) 13:30~18:00

会場 法政大学小金井キャンパス(小金井市梶野町3-7-2. JR中央線:東小金井駅 http://www.hosei.ac.jp/access/koga_nei.html)

テーマ「微細加工のための光技術, 光技術のための微細加工」

内容(予定)

EUVリソグラフィ技術, Multiple Patterning, Directed Self Assembly, ナノインプリント, その他集積光デバイス技術一般
発表申込 7月15日(月)までに、講演題名, 概要(数行), 著者, 所属, 連絡先(住所, TEL, FAX, E-mail)を下記幹事までお知らせ下さい。

原稿提出 9月30日(月)締切. A4判, 6枚程度. 講演申込者には執筆要領を送付します。

参加資格 特に関いません。

参加申込 研究会開催当日, 会場にて受け付けます(事前申し込み不要)。

参加費 一般参加者 5,000円 学生 1,000円

【講演申込・問合せ】 幹事

向原智一(古河電工)

TEL [0436] 42-1771, FAX [0436] 42-1775

E-mail: tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

山下兼一(京都工繊大)

TEL [075] 724-7423, FAX [075] 724-7400

E-mail: yamasita@kit.ac.jp

◎最新情報は、集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~ipd/jpn/welcome.html>

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

協賛(予定) IEEE Photonics Society Japan Chapter

●第8回再生可能集積システム時限研究会

委員長 上原 稔(東洋大)

副委員長 中尾健彦(東芝)・名古屋 彰(岡山大)

日時 平成25年10月19日(土) 13:00~17:30

会場 電気通信大学調布キャンパス西10号館2F大会議室

21世紀になって人類の活動が地球環境に及ぼす影響が著しく増大し、環境変動が憂慮されています。このために、特に人類が製造した人工物に関し、その再生利用や再利用を促進する技術開発が強く期待されています。ユビキタス情報社会において、ほとんどの我々の身の回りの人工物に、集積システムが組み込まれています。したがって、これらのシステムの再生、再利用を図ることは、地球環境に優しいという面だけでなく、経済、政治などの面からも重要です。具体的な探求課題としては、直接的な再生、再利用の促進に関する技術開発に加え、ライフサイクル全体の省エネルギー化やコスト削減も重要な探求課題になります。このためには、アーキテクチャの根本的な改革、耐久性の低下した部品において、安心、安全な運用を確保するフォールトトレランス、セキュリティ技術の研究、製造から再生に至るライフサイクルのビジネスモデルの探求などが重要です。このように、本研究で

は、従来型とは大きく異なった開放的な分野による総合的なアプローチが必要です。

本時限研究専門委員会は、こうした問題意識を持ちながら、リコンフィギュラブル技術、アーキテクチャ技術、ソフトウェア工学、設計技術、システム技術、再生ビジネスモデルなどの分野の研究者の自由な交流を促進し、集積システムの再生、再利用による環境に優しいIT技術の研究に関して、研究発表及び討論を行う機会を提供します。本研究会は定期的に研究会を開催することにより、関連する研究者に広く技術交換の機会を提供し、産業界と大学等の研究機関の交流の機会を増やすことにより、関連する技術の発展を図っていくことを目的とします。

今回の第8回再生可能集積システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

一般講演申込締切 8月10日(土)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先を下記申込先までお申し込み下さい。

【申込先】

上原 稔(東洋大)

E-mail: uehara@toyo.jp

【問合せ先】

吉見真聡(電通大)

E-mail: yoshimi@is.uec.ac.jp

◎RIS ホームページも御覧下さい。

<https://sites.google.com/site/renewableintegratedsystems/>

主催 再生可能集積システム時限研究専門委員会

本会発行新刊案内

IT社会を支えるULSI素子はどうなっているの？

新版 ULSI デバイス・プロセス技術

菅野卓雄 監修・伊藤隆司 編著
A5判上製 定価 5,880円(税込)

ULSIは高度情報化社会を支えるハードウェアの基幹要素あるいはそれ自体機能システムとして私たちの生活の隅々にまで入り込んでいる。情報処理速度あるいは記憶容量の飛躍的な増大要求に応えるために、ULSIを構成する技術要素は高度化・多様化し、材料としては化合物半導体、有機半導体あるいは炭素系材料等の取り込みが始まっている。本書は、シリコン集積回路技術の更なる発展及びそれを基盤とする新しい電子デバイスの将来展開を念頭に置き、ULSIデバイス・プロセスの研究開発に携わる研究者・技術者あるいは今後様々な形で関わるであろう大学院生を対象として、ULSIの基礎から体系的に理解できるように配慮し、初版本を全面的に改定し執筆されている。

《内容目次》ULSI概要／バイポーラデバイスの動作機構／MOSデバイスの動作機構／ULSIデバイス構造／微細加工／材料とプロセス／信頼性と検査／ULSIの新展開

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送料500円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**

● 2013年ソサイエティ大会開催案内 ●

本ソサイエティ大会は、基礎・境界、通信、エレクトロニクス
の3ソサイエティが合同で開催する大会です。奮って参加されま
すようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2013年9月17日(火)~20日(金)

会 場 福岡工業大学(福岡市)

(会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)

交 通 JR「福工大前駅」は構内に直結しており快速も停車。
福岡空港→(地下鉄5分)→博多駅→(JR 鹿児島本線
(快速)13分)→福工大前駅。

2013年ソサイエティ大会ホームページ
http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html

主なイベント内容：上記ホームページにて(7月上旬)公開予定
です。

◎聴講参加・冊子講演論文集予約申込みについては、上記から
Web登録をお願い致します。(7月4日公開)

※ソサイエティ大会に引続き団体・機関の図書館等の法人向けに
継続購入の申込募集を行います。法人には法人用DVDを大会
終了後、2週間後に御送付致します。

<予約申込期限>

8月15日(木) 締切厳守(電話による予約は不可)

事前予約されますと、予約物を9月3日~9月5日までに請求
書を同封して発送致します。

また、9月10日(火)までに予約物が届いていない場合には
必ず御連絡下さい。大会終了後では対応できない場合があります
(発送・請求関係連絡先：tk-tyoko@ieice.org)。

<予約のお勧め(DVD)>

大会講演発表の申込み・投稿の電子化、講演論文集・プログラ
ムのDVD化により、講演内容等の必要情報の入手が一段と便利
になります。聴講者におかれましても、是非このDVDの機能を
有効に活用するため、事前予約をお勧め致します。

御予約頂きますと、9月3日~9月5日までに索引機能を充実
したDVD(全講演・プログラム)を発送致しますので、聴講の
下調べ等にお役立て下さい。

なお、大会会場でも当日参加を受け付けておりますが、当日
DVDを活用する設備がございませんので、その旨御了承下さい。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について(予定)

<聴講参加>(本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)

☆2011年ソサイエティ大会から、学生の聴講参加費を値下げ致
しております。学生の皆様、奮って御参加下さい。

☆2010年総合大会から、事前聴講申込者に対する参加費の割引
制度を実施致しております。事前申込みの割引制度を御利用頂
くと当日申込みより2割引の参加費で大会聴講が可能となりま
す。御利用の上、奮って御参加下さい。

[事前申込み(DVD含む)]

会 員 名誉員・正 員	8,000 円
学生員(DVD購入)**	2,400 円
60歳以上の会員***	2,400 円
非会員 社会人	16,000 円
学生(DVDなし)	2,400 円

学生(DVD購入)	4,800 円
[当日申込み(DVD含む)]	
会 員 名誉員・正 員	10,000 円
学生員(DVDなし)*	無料
学生員(DVD購入)**	3,000 円
60歳以上の会員***	3,000 円
非会員 社会人	20,000 円
学生(DVDなし)	3,000 円
学生(DVD購入)	6,000 円

※凡 例

* DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますの
で事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂
ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きます
ので御持参下さい。)

** 会場で会員証を提示して下さい。

***年金以外の収入がない方が対象となります。

[法人価格申込み]

1. DVD1枚(合本付)	75,000 円
2. DVD1枚	60,000 円

☆この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。

☆電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の
会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いと
なります。

<冊子講演論文集>

論文集の内容は多少変わることもございますので、御了承下
さい。冊子講演論文集は、予約部数に基づいて論文集を作成して
おりますので、予約期限を過ぎますとお求めになれない場合
がありますので、くれぐれも御注意下さい。

(発行日：平成25年9月3日/価格は消費税込み)

各分冊講演論文集の内容・価格については、上記ホームページを
御覧下さい(7月4日公開)。

<支払方法>

予約物に同封して請求・納品・見積・振込用紙をお送り致し
ますので御利用頂き、送金をお願い致します(振込先口座等は請求
書に記載)。

申込みの問合せ先

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会 大会担当

TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

E-mail : taikai@ieice.org

発送・請求の問合せ先 E-mail : tk-tyoko@ieice.org

今回のソサイエティ大会では男女共同参画委員会の活動の一環
として予約・有料制の託児所を開設します。詳細は下記URLに
案内を掲示しますので御利用下さい。

(http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html) (8月上旬を予定)

FIT(情報科学フォーラム)2013の開催案内は下記を御覧下さい。

<http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2013/index.html>

●…………… 支 部 大 会 ……………●

——平成 25 年度電気・情報関連学会

北海道支部連合大会——

期 日 平成 25 年 10 月 19 日 (土), 20 日 (日)

会 場 室蘭工業大学 (室蘭市水元町 27-1)

特別講演, 一般講演

詳細は大会 HP (下記の問合先) を参照願います。

問合先 <http://www.hokkaido.ieice.org/shibukai/>

——平成 25 年度信越支部大会——

期 日 平成 25 年 10 月 5 日 (土)

会 場 長岡技術科学大学 (長岡市上富岡町 1603-1)

●一般講演申込について

講演内容 最近行った研究, 調査, 計画及び工事報告, 現場調査, 試験報告, 技術報告など

講演方法 口頭発表, ポスター発表

応募資格 講演者または連名者には少なくとも 1 名の本学会員, 電気学会会員若しくは IEEE 会員が含まれること。ただし入会申請中の者も認める。

講演申込 信越支部大会 HP で申込みを行う。

<http://www.ieice.org/shinetsu/>

申込期限, 原稿作成・提出方法, 原稿提出期限等は, HP にて確認すること。

●問合先 支部大会実行委員会 shibutai25@shinetsu.ieice.org

主 催 電子情報通信学会信越支部

——平成 25 年電気関係学会関西連合大会——

期 日 平成 25 年 11 月 16 日 (土), 17 日 (日)

会 場 大阪電気通信大学寝屋川キャンパス エデュケーションセンター (J 号館) (寝屋川市初町 18-8)

講演形式 特別講演, パネルディスカッション, ポスター講演。ただし, 一般からの募集はポスター講演のみとします。また各ポスター講演論文について, 2 分間の概要口頭発表を行います。口頭発表用のパワーポイント, PDF ファイルを御用意下さい。口頭発表会場の PC・プロジェクタを用いて説明を行って頂きます。

一般講演の募集要領

一般講演のセッション

G1. 電気理論・電気物理・レーザ応用 (電気学会)

G2. 計測・センサ・マイクロマシン (電気学会)

G3. 制御・システム (電気学会)

G4. 電気機器・産業応用/パワーエレクトロニクス (電気学会)

G5. 電力・エネルギー (電気学会)

G6. 電気電子材料・デバイス (電気学会・電子情報通信学会共催)

G7. 電磁波・アンテナ・伝搬・無線通信システム・無線通信ネットワーク (電子情報通信学会)

G8. 光エレクトロニクス・光通信システム・光通信ネットワーク (電子情報通信学会)

G9. 電子回路・集積回路・ハードウェア設計 (電子情報通信学会)

G10. 情報基礎・通信基礎・アルゴリズム (電子情報通信学会)

G11. 情報処理システム (電子情報通信学会)

G12. 照明 (照明学会)

G13. 画像処理技術 (映像情報メディア学会)

G14. 映像メディア関連技術 (映像情報メディア学会)

G15. 電気設備 (電気設備学会)

講演時間 2 分間の概要口頭発表と 60 分間のポスターセッション。

講演者の資格 講演者は, 主催学会会員 (准員・学生員を含む) を原則としますが, 本年度は, 非会員資格での講演申込みを認めるものとし, 非会員の方も講演者となることができるものとしします。

講演内容 最近の研究成果で, 学術的に価値のある未発表のものに限ります。

応募上の制限 講演は, 一人 1 件に限ります。同一人が数件の応募論文の共著者となることは構いませんが, 内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することは認められません。

申込みの取扱い

(1) プログラム委員会で内容が不適当と認めた場合は, 採択しません。指定した書式 (投稿の手引き参照) と著しく異なる論文も, 採択しないことがあります。

(2) プログラム構成上の都合によっては, 講演形式及びセッションを変更することがあります。

著作権の取扱い 上記 G1~G12 と G15 のセッションについては, 担当学会に著作権を譲渡する必要があります。詳細は, 大会 Web サイトを御覧下さい。

講演申込費等

・講演申込費 (大会参加費を含む)

正会員 6,000 円, 准員・学生員 4,000 円

非会員の学生・院生 7,000 円, その他の非会員 9,000 円

・大会参加費 (事前登録)

正会員 4,000 円, 准員・学生員・非会員の学生・院生 3,000 円, その他の非会員 6,000 円

・大会参加費 (当日受付)

正会員 6,000 円, 准員・学生員・非会員の学生・院生 4,000 円, その他の非会員 8,000 円

上記の講演申込費並びに大会参加費は, 主催学会会員は不課税, 非会員は消費税込みです。大会参加費にはプログラム・講演論文集 (CD) の代金が含まれます。論文不採択の場合, 講演申込金は返金します。発表取消しの場合は, 返金致しません。

プログラム・講演論文集 (CD) のみの購入や追加購入の詳細は, 大会 Web サイトを御覧下さい。

投稿の手続き, 送金方法及び原稿の提出

(1) 「投稿の手引」等の配布及び「講演申込」の手続き, 「論文原稿」の投稿は下記の大会 Web サイト経由でお願いします。論文原稿は Web サイトから PDF ファイルにて電子投稿 (アップロード) して下さい。詳細については大会 Web サイトを御覧下さい。

大会 Web サイト <http://kjciece.org/kjciece2013/>

(2) 講演申込みは大会 Web サイトの「講演申込み」から行う

——平成 25 年度（第 64 回）電気・情報
関連学会中国支部連合大会——

て下さい。講演申込みは、8月22日（木）を締切とします。

(3) 論文原稿 (PDF) は、A4 サイズ 2 ページ以内とし、日本語または英語で作成して下さい。

(4) 論文原稿の投稿 (PDF のアップロード) は、8月22日（木）までとします。アップロード受付期間内であれば何でも修正・差替え (アップロード) が可能です。なお、業務処理を円滑に行うため、講演申込内容のうち、タイトル、講演者氏名、所属を変更する場合は、Web サイト上で、講演申込内容を、講演論文の内容と一致するように修正して下さい。

(5) 講演申込費は、郵便局備付けの振込用紙 (青色) を使用して 8月26日 (月) までに所定の口座までお振込み下さい。期日までに振り込まれない場合、講演取消しとなる場合があります。口座番号等、詳細については大会 Web サイトを御覧下さい。

問合先 大阪電気通信大学 平成 25 年電気関係学会関西連合大会係 info2013@kjciecee.org

表彰 会員の育成と当学会の発展を目的として、優秀な講演発表を行った主催学会会員の新進の研究者・技術者に下記の賞を贈呈します。

- (1) 連合大会奨励賞
- (2) 電気学会優秀論文発表賞
- (3) 電子情報通信学会関西支部優秀論文発表賞
- (4) 映像情報メディア学会関西支部優秀論文発表賞
- (5) 照明学会関西支部優秀論文発表賞

なお、(1)については全ポスター講演を対象とし、(2)~(5)については各関係学会のポスター講演を対象とします。また(1)、(2)、(5)については、講演発表時に 35 歳未満の方を対象とします。各賞の詳細については大会 HP を御覧下さい。

参考

- (1) 採択された講演論文は、CD-ROM に収録してプログラム・講演論文集 (CD) として発行します。
- (2) 論文採択通知及び発表日時は、大会 Web サイト上に公開し、はがき・メール等による講演者への個別通知は行いません。
- (3) プログラム・講演論文集 (CD)、大会参加章並び領収書等は、当日会場にてお渡しします。事前の郵送は行いません。
- (4) 講演申込者は、申込み時に発行される登録番号、パスワードを用いて会期の約 10 日前から大会 Web サイトを通じて、事前に論文を閲覧することができます。
- (5) 聴講のみの大会参加も大会 Web サイトから申込みできます。申込受付期間は、10月16日 (水) までとします。事前登録には割引価格が適用されます。申込受付期間に大会参加費の払込みも済まされますと、論文の事前閲覧が可能になります。口座番号等、詳細については大会 Web サイトを御覧下さい。なお、従来どおりの当日受付も行います。

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会・電気設備学会各関西支部

共催 大阪電気通信大学

協賛 IEEE Kansai Section

日時 平成 25 年 10 月 19 日 (土) 9:00~17:00

会場 岡山大学 (岡山市北区津島中 1-1-1)

講演者 電気・情報関連学会会員に限ります。ただし、講演者以外は非会員も連名は可能とします。同一人物が複数の講演の講演者になることはできません。

講演内容 最近行った研究、計画及び工事報告、現地試験報告、新製品紹介等

講演方法 質疑応答 3 分を含み 1 件 13 分 (都合により変更することがあります。) 原則としてプロジェクトを使用。

【注意】 ①講演会場にはプロジェクト及び予備の PC を準備します。原則として、持参のノート PC で発表して下さい。また不具合等による会場の PC を使用する場の場合のために、USB メモリ・CD-ROM 等により原稿データを持参して下さい。

②備え付け PC の使用を希望される場合には、あらかじめ実行委員会へ連絡して下さい。

③円滑な進行のため、セッション開始前までに各自持参した PC で原稿データが正常に表示できることを会場にて確認しておいて下さい。

講演申込 平成 25 年度 (第 64 回) 電気・情報関連学会中国支部連合大会 HP <http://rentai.ccsv.okayama-u.ac.jp/> から講演申込システムにアクセスしてお申込み下さい。

講演原稿 原稿枚数は 1 件当り 2 枚までです (図面、表を含む)。原稿の作成方法は、HP 上の「書き方の手引」を参照して下さい。また、論文集にアブストラクトを掲載致します。

【注意】 ①システムで登録可能なファイル形式は PDF または PostScript です。講演申込とともにシステムから原稿をアップロードして下さい。なお、ファイルの容量は最大 2 Mbyte までとします。

②著作権は連合大会委員会に帰属します。

③論文集やプログラムの発行日 (公知日) は、10月1日 (火) にする予定です。それを踏まえ、必要に応じ特許出願等の権利処理を済ませるようお願い致します。

申込及び原稿提出の締切 8月2日 (金) で締め切ります。

申込料 原稿 1 枚の場合講演 1 件につき 3,000 円、2 枚の場合講演 1 件につき 4,000 円です (CD-ROM 版論文集代含む)。講演者には事前に CD-ROM 版論文集を送付します。

払込先 郵便振替口座番号: 01350-7-89376

(ゆうちょ銀行 一三九店 (139) 当座 0089376)

加入者名: 電気・情報関連学会中国支部連合大会大会委員会

【注意】 ①郵便振替払込用紙の「払込取扱票」の通信欄には必ずシステムが発行した論文登録番号を記載して下さい。複数の講演申込料をまとめて振り込む場合は、論文登録番号及び著者名を必ず明記して下さい。

② HP から所定の様式を印刷の上、「郵便振替払込請求書兼受領証」を貼り付け、下記番号に FAX して下さい。

FAX [082] 232-6862, FAX に関してのお問合せ先: [082] 232-6628 (産興(株)担当 杉本・長谷川)

表彰 優秀論文に対する表彰制度があります。(各学会支部 HP 参照)

問合先 電気・情報関連学会中国支部連合大会実行委員会
〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学大学院
自然科学研究科 担当：塚田啓二
rentai@cc.okayama-u.ac.jp (お問合せはできるだけ
メールにてお願いします)
TEL [086] 251-8129, FAX [086] 251-8129

懇親会・会費 午後の一般講演終了後に懇親会を開催します。
(事前予約) 一般 3,000 円・学生 500 円
(当日受付) 一般 3,500 円・学生 1,000 円
お申込みは、HP <http://rentai.ccsv.okayama-u.ac.jp/>で
受け付けております。

主催 電気・情報関連学会各中国支部(電子情報通信学会・電
気学会・照明学会・映像情報メディア学会・情報処理学
会・電気設備学会)

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

——信越支部——

●講演会

日時 平成 25 年 8 月 9 日(金) 9:00~9:35
会場 長岡技術科学大学 311 講義室
題目 ソフトウェア無線環境を利用したプロジェクト型演習に
関する取り組み
講師 山田洋士(石川高専)
問合先 長岡技術科学大学 木村宗弘
TEL [0258] 47-9540
その他 聴講は無料、本会会員以外の方の聴講も歓迎
主催 電子情報通信学会信越支部

——関西支部——

●IEICE 関西支部 ICT 基礎講座

「OFDM 通信基礎講座」・「画像処理講座」

近年の情報通信関連開発では、必要とされる技術の多様化と開
発期間の短縮により、若手技術者が OJT を通して基礎知識や基
礎技術を習得することが難しくなっていると指摘されています。
また、これまで予想されなかった分野で情報通信技術が適用され
ることも増えており、大学・大学院教育で身に付けた技術分野を
越えた多彩な技術を取得する必要性が高まっています。

このような状況を鑑み、電子情報通信学会関西支部では、情報
通信に関する様々な技術を集中講義形式で学習できる講座
「IEICE 関西支部 ICT (Information and Communication Technol-
ogy) 基礎講座」を開催しています。

本講座は基礎的な知識や技術に重点を置きながら、基礎から展
開して最先端技術へ至るまで講義・実習することを目的としてい
ます。各講座の受講者数を 10 名程度の少人数に絞ることで講師
との双方向コミュニケーションを可能とし、短期間で先端技術の
基礎を習得することを狙っております。今年度の講座として
「OFDM 通信基礎講座」と「画像処理講座」を下記のとおり開講
致します。幸いに、これまで開催された講座は、受講生から大変
高い評価を頂いております。

講演会・講習会・学術研究集会等、本会が協賛等のもの

皆様の積極的な受講をお待ちしております。

日時 「OFDM 通信基礎講座」:
平成 25 年 8 月 1 日(木)、2 日(金) 9:40~16:50
「画像処理講座」:
平成 25 年 8 月 27 日(火)、28 日(水) 9:40~16:50

会場 中央電気倶楽部 215, 316 号室(大阪市北区堂島浜 2-1-
25, ドーゾマ地下センター南詰を右側に上がり、右へ約
50 m, 左側のレンガ造り建物)

内容 シラバスは下記 URL から御覧頂けます。
<http://www.ieice.org/kansai/ict.html>

講師 「OFDM 通信基礎講座」:吉田悠来(阪大)
「画像処理講座」:浦西友樹(阪大)、中島悠太(奈良先
端大)

受講料 会員:10,000 円、学生:3,000 円、非会員:25,000 円
(会員、非会員共に消費税込)

募集人数 5 名以上、最大 15 名(開講 2 週間前までに申込人数
が 5 名に達しない場合、開講しないこともあります)

申込方法 関西電気関連学会事務センターに電子メールで申し込
み下さい。

問合先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会関西支部

——本会が協賛等のもの——

(※は参加費割引あり)

第 19 回結晶工学スクール(2013 年)(※)

期日 平成 25 年 7 月 30 日(火)~8 月 1 日(木)
会場 名古屋大学 シンポジオン(名古屋市)
問合先 応用物理学会事務局分科会担当 岡山
TEL [03] 5802-0863, FAX [03] 5802-6250
divisions@jsap.or.jp
<http://annex.jsap.or.jp/kessho/index.html>

第 361 回講習会 第 21 回最先端の研究室(工場)めぐり「鉄道の持続的な発展を目指して—鉄道総合技術研究所」(※)

期日 平成 25 年 8 月 7 日(水)
見学先 鉄道総合技術研究所(国分寺市)
問合先 精密工学会
TEL [03] 5226-5191, FAX [03] 5226-5192
http://www.jspe.or.jp/event/koshukai_form.htm

講演会「ナノ炭素材料」(※)

期日 平成 25 年 8 月 21 日(水)
会場 日本化学会(東京都千代田区)
問合先 日本化学会関東支部 富樫
TEL [03] 3292-6163, FAX [03] 3292-6318
togashi@chemistry.or.jp
<http://kanto.csj.jp/>

女子中高生のための情報・メディア工房

期 日 平成 25 年 8 月 26 日 (月), 29 日 (木) (計 2 回)
会 場 津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス (東京都渋谷区)
問合先 津田塾大学女性研究者支援センター
TEL & FAX [042] 342-5142
jks2008@tsuda.ac.jp

第 126 回技術講習会「音響インパルス応答計測の基礎」講習会 (※)

期 日 平成 25 年 8 月 28 日 (水)
会 場 東京電機大学東京千住キャンパス (東京都足立区)
問合先 日本音響学会事務局
TEL [03] 5256-1020, FAX [03] 5256-1022

第 3 回コンピューターショナル・インテリジェンス研究会 (※)

期 日 平成 25 年 8 月 30 日 (金)
会 場 大阪大学コンベンションセンター (吹田市)
問合先 計測自動制御学会 部門協議会担当
TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

日本ハイパーサーミア学会第 30 回大会

期 日 平成 25 年 8 月 30 日 (金), 31 日 (土)
会 場 横浜シンポジア (横浜市)
問合先 千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター
齊藤一幸
TEL [043] 290-3328, FAX [043] 290-3933
kazuyuki_saito@faculty.chiba-u.jp

第 9 回サマーセミナー

期 日 平成 25 年 9 月 2 日 (月), 3 日 (火)
会 場 東レ総合研修センター (三島市)
問合先 SID 日本支部同セミナー事務局 担当 河野 (茂原ア
テックス)
TEL [0475] 23-1150, FAX [0475] 25-7703
sid-secretariat@atecs.co.jp

**教育システム情報学会第 38 回全国大会「地域に根ざし、世界や
世代を繋ぐ教育システムを目指して」**

期 日 平成 25 年 9 月 2 日 (月)~4 日 (水)
会 場 金沢大学角間キャンパス (金沢市)
問合先 アカデミーセンター (国際文献社内) 鶴蒔
TEL [03] 3362-9743, FAX [03] 5227-8632
jsise-desk@bunken.co.jp

生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会 2013 (LIFE2013)

期 日 平成 25 年 9 月 2 日 (月)~4 日 (水)
会 場 山梨大学甲府西キャンパス (甲府市)
問合先 LIFE2013 大会事務局 life2013@yamanashi.ac.jp

第 35 回第 2 種 ME 技術実力検定試験

期 日 平成 25 年 9 月 8 日 (日)
会 場 札幌医学技術福祉歯科専門学校 (札幌市), ほか
問合先 ME 技術実力検定試験事務局
TEL & FAX [03] 3813-5521 jimmu@megijutu.jp
http://megijutu.jp

第 37 回静電気学会全国大会 (※)

期 日 平成 25 年 9 月 10 日 (火), 11 日 (水)
会 場 千葉大学教育学部 (千葉市)
問合先 静電気学会事務局
TEL [03] 3815-4171 iesj@iesj.org

第 31 回レーザセンシングシンポジウム

期 日 平成 25 年 9 月 12 日 (木), 13 日 (金)
会 場 箱根湯本温泉ホテルおかだ (足柄下郡)
問合先 同シンポジウム実行委員会 福地哲生 (電力中央研究所
電力技術研究所)
TEL [046] 856-2121, FAX [046] 856-3540
lss31@lidar.nies.go.jp
http://www-lidar.nies.go.jp/lss31/

**標準化と品質管理全国大会 2013「日本再生と新たな価値の創造
—ジャパネクオリティで飛躍と成長—**

期 日 平成 25 年 10 月 3 日 (木), 4 日 (金)
会 場 都市センターホテル (東京都千代田区)
問合先 日本規格協会総務企画部企画調整課 岩垂・天野
TEL [03] 3586-8086, FAX [03] 3586-2014
sqtaikai@jsa.or.jp

2013 年度ニューガラス大学院 (※)

期 日 平成 25 年 10 月 3 日 (木)~17 日 (木) (計 4 日間)
会 場 アーバンネット神田カンファレンス (東京都千代田区)
問合先 ニューガラスフォーラム 企画部 丸山
TEL [03] 6279-2605, FAX [03] 5389-5003
tsutomu-maruyama@ngf.or.jp
http://www.newglass.jp

第 57 回宇宙科学技術連合講演会 (※)

期 日 平成 25 年 10 月 9 日 (水)~11 日 (金)
会 場 米子コンベンションセンター (BIG SHIP) (米子市)
問合先 日本航空宇宙学会事務局
TEL [03] 3501-0463, FAX [03] 3501-0464
sputlcom_ukaren57@jsass.or.jp
http://www.jsass.or.jp

第 56 回表面科学基礎講座—表面・界面分析の基礎と応用— (※)

期 日 平成 25 年 10 月 16 日 (水), 17 日 (木)
会 場 大阪大学コンベンションセンター (吹田市)
問合先 日本表面科学会
TEL [03] 3812-0266, FAX [03] 3812-2897
shomu@sssj.org http://www.sssj.org

**第 30 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウ
ム (※)**

期 日 平成 25 年 11 月 5 日 (火)~7 日 (木)
会 場 仙台国際センター (仙台市)
問合先 同シンポジウム事務局 (セミコンダクタポータル内)
TEL [03] 3560-3565
sensorsympo_2013@semiconportal.com

第33回ナノテストシンポジウム (NANOTS2013)
期 日 平成25年11月13日(水)~15日(金)
会 場 千里ライフサイエンスセンター(豊中市)
問合先 ナノテスト学会事務局 三浦克介・御堂義博(大阪大学大学院情報科学研究科中前研内)
TEL [06] 6879-7813, FAX [06] 6879-7812
NANOTS@ist.osaka-u.ac.jp
http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/

第56回自動制御連合講演会(※)
期 日 平成25年11月16日(土), 17日(日)
会 場 新潟大学工学部(新潟市)
問合先 <http://www.jsme.or.jp/conference/rengo56/rango56@eng.niigata-u.ac.jp>

動的画像処理実利用化ワークショップ DIA2014(※)
期 日 平成26年3月6日(木), 7日(金)
会 場 熊本大学黒髪キャンパス(熊本市)
問合先 画像応用技術専門委員会事務局 DIA2014 係(アドコム・メディア内)
TEL [03] 3367-0571, FAX [03] 3368-1519
iaip@adcom-media.co.jp

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication
Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.
Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.
Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

●…………… 国 際 会 議 ……………●

第16回コンピュータ医用画像処理ならびにコンピュータ支援治療に関する国際会議 (MICCAI)

期 日 2013年9月22日(日)~26日(木)
会 場 名古屋大学豊田講堂(名古屋市)
問合先 MICCAI 2013 組織委員会事務局(名古屋大学情報連携
統括本部情報戦略室 森研究室内)
TEL & FAX [052] 789-5689
kensaku@is.nagoya-u.ac.jp

第15回全反射蛍光X線分析法国際会議および第49回X線分析
討論会合同会議(※)

期 日 2013年9月23日(月)~27日(金)
会 場 大阪市立大学杉本キャンパス(大阪市)
問合先 福田常男(大阪市立大学大学院工学研究科)
TEL & FAX [06] 6605-2738
tfukuda@a-phys.eng.osaka-cu.ac.jp
http://www.a-chem.eng.osaka-cu.ac.jp/txrf2013/

第20回ディスプレイ国際ワークショップ(IDW'13)

期 日 2013年12月4日(水)~6日(金)
会 場 札幌コンベンションセンター(札幌市)
問合先 IDW'13事務局(バイリンガル・グループ内)
TEL [03] 3263-1345, FAX [03] 3263-1264
idw@idw.ne.jp http://www.idw.ne.jp/

第8回反応性プラズマ国際会議/第31回プラズマプロセッシング
研究会(ICRP-8/SPP-31)

期 日 2014年2月4日(火)~7日(金)
会 場 福岡国際会議場(福岡市)
問合先 九州大学システム情報・白谷研究室 担当 山木 圭
TEL & FAX [092] 802-3723
k.yamaki@plasma.ed.kyushu-u.ac.jp

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第58回澁澤賞——

応募資格

- (1) 電気の保安、信頼度の向上について、有効なシステム、機械器具、工具、工法、その他施設等の発明・工夫、設計・施工を行い、その実用化後3年以上を経過してその有効性を実証した方。
- (2) 電気技術規格・基準関係の委員会の委員等として、技術規格・基準の制改定を10年以上にわたり行い、電気の保安、信頼度向上について顕著な功績をあげた方。ただし、年数は通算とする。
- (3) 大学、大学院、研究所等に在籍し、電気の保安、信頼度向上のための調査、研究、及びそのサポート等を20年以上にわたり行い、顕著な功績をあげた方。ただし、年数は通算とする。
- (4) 学校・企業の研修所等の教育機関での教育・指導、通

信教育の添削指導、試験実施機関での問題作成、専門誌等への執筆活動等を通じて電気の保安、信頼度の向上のため電気関係の資格取得者を輩出させ、あるいは技術継承を図る等、人材の育成を20年以上にわたり行い、顕著な功績をあげた方。ただし、年数は通算とする。

- (5) (1)~(4)項以外、あるいは(2)~(4)項にまたがり、電気の保安の確保、信頼度の向上について長年にわたり顕著な功績をあげ、勤続または就業年数20年以上の方。ただし、年数は通算とする。

締切日 平成25年7月12日(金)必着

問合先 日本電気協会 澁澤委員会事務局
TEL [03] 3216-0554

——平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰
「科学技術賞」及び「若手科学者賞」受賞候補
者の推薦について——

標記の件につきまして、文部科学省研究振興局長宛て平成25年7月17日(水)までに、推薦方よろしくお取り計らい願います。特に女性の研究者・技術者及び科学技術賞技術部門への積極的な推薦をお願い致します。推薦にあたっては、文部科学省HPの公募情報に掲載されている「平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者の推薦について」を参照して下さい。

http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/index.htm

問合先 文部科学省研究振興局振興企画課奨励室
水野・矢崎・中村

TEL [03] 6734-4071 sinsyore@mext.go.jp

——平成25年度(第37回)丹羽保次郎記念論文賞——

受賞者の資格：情報工学等の関連分野を含む、広い意味の電子通信工学関係者のうち次に該当する者。

- (1) 大学院学生(修士課程及び博士課程)
- (2) 大学院修了または満期退学後2年(応募時において)以内の者
対象となる論文：次の条件を満足するもの。
 - (1) 掲載期間 平成23年9月1日~平成25年8月31日
 - (2) 著 者 応募者の単著、または共著の場合には本人の寄与が大部分のもの。
- (3) 次のような学会誌に掲載された1論文を対象とします。

電子情報通信学会、電気学会、映像情報メディア学会、日本音響学会、情報処理学会、応用物理学会、日本物理学会、IEEE等国内外の学会の学会誌及び論文誌等

推 薦：推薦者は大学院研究科委員長あるいはそれに準ずる職の方。

表賞及び件数：本賞と副賞、2名以内。

締切日：平成25年9月13日(金)必着

問合先：東京電機大学 丹羽保次郎記念論文賞事務局
担当 伊藤・河野

TEL [03] 5284-5230, FAX [03] 5284-5246

kenkyu-k@jim.dendai.ac.jp

<http://www.dendai.ac.jp/kinin/niwa/>

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●東北大学

公募人員 大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻ソフトウェア基礎科学分野 教授1名
 専門分野 プログラムや仕様記述などの形式化に基づいた開発手法や検証手法の構築を通して高信頼性・高生産性を有するソフトウェア開発に貢献するための研究と教育
 応募資格 博士号取得者
 着任時期 平成26年4月頃、またはそれ以降のなるべく早い時期
 応募締切 平成25年7月26日(金)必着
 問合せ先 専攻長 須川敏幸, sugawa@math.is.tohoku.ac.jp
 詳細 <http://www.is.tohoku.ac.jp/publicadv/index.html>

●都城工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 助教1名
 専門分野 情報工学の分野
 応募資格 ①着任時年齢32歳以下の方(雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号のイの適用)、②博士の学位を有する方(採用予定日までに取得見込みの方を含む。)、③高等専門学校の教育・研究・学生指導に熱意を持つ方
 採用予定 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年7月26日(金)必着
 問合せ先 総務課人事係 中原, TEL [0986] 47-1108

●長岡技術科学大学

公募人員 テニユアトラック教員 准教授または講師1名
 所属 産学融合トップランナー養成センター
 専門分野 電気電子工学(電子デバイス・フォトリソ工学分野)
 応募資格 博士の学位取得後10年以内の者で、上記の専門分野において、研究を推進している方
 着任時期 平成25年10月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年7月31日(水)必着
 問合せ先 センター長 古川 清, topun@vos.nagaokaut.ac.jp
 詳細 <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/annai/NUT-topun/NUT-topun.html>

●駒澤大学

公募人員 グローバル・メディア・スタディーズ学部 助手1名
 主要担当業務(予定) ①学部内情報システムの維持・更新, ②学部 Web ページなどの維持・更新, ③教員の IT を活用した授業の支援, ④教員の研究活動支援
 任期 3年を限度とし、再任はなし
 応募期限 平成25年8月2日(金)必着
 詳細 <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/recruit>

●日本工業大学

公募人員 電気電子工学科 准教授または助教1名
 専門分野 電気エネルギーに関する分野
 応募資格 博士の学位を有し、電気エネルギー関係の分野において、教育と研究指導を担当できる方。助教(専任講師相当)の場合、学部の教育と研究指導を担当できる方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年8月24日(土)必着
 問合せ先 電気電子工学科主任 石川 豊, yishika@nit.ac.jp
 詳細 <http://www.nit.ac.jp> の what's new

●熊本大学

公募人員 大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻 助教1名
 専門分野 情報工学, 電子工学, 通信工学のいずれかの分野
 応募資格 博士の学位を有する女性研究者で、研究者としての経験(PDを含む)を有する方
 着任時期 平成25年度内のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年8月30日(金)17時必着
 問合せ先 情報電気電子工学専攻長 松島 章
 matsua@cs.kumamoto-u.ac.jp
 詳細 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>

●群馬工業高等専門学校

公募人員 電子情報工学科 助教1名
 専門分野 情報工学
 担当科目 電子情報工学科における電子情報関係科目及び工学実験、卒業研究指導、専攻科生産システム工学実験等
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年8月30日(金)必着
 問合せ先 電子情報工学科長 鶴見 智
 TEL [027] 254-9282, tsurumi@ice.gunma-ct.ac.jp
 詳細 <http://www.gunma-ct.ac.jp/>

●兵庫県立大学

公募人員 電気系工学専攻電子情報工学部門 教授1名
 専門分野 フォールトトレランス・ソフトコンピューティングの医療工学分野への応用
 担当科目 情報論理学, 画像メディア工学, データベースなどソフトウェア関連科目
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年8月30日(金)必着
 問合せ先 電子情報工学部門教授 佐藤邦弘
 TEL [079] 267-4991, koubo157@eng.u-hyogo.ac.jp
 詳細 www.eng.u-hyogo.ac.jp/info/guide/fs_accept.html

●広島大学

募集人員 大学院工学研究院情報部門(計算機基礎学) 教授1名
 専門分野 コンピュータネットワークまたはコンピュータシステムの基礎分野
 担当科目 大学院: 情報工学に関する科目
 学部: 情報工学の専門科目から2科目程度
 着任時期 平成26年4月1日、またはそれ以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年8月30日(金)必着
 詳細 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/info/> を御覧下さい

●東京電機大学

公募人員 教授または准教授1名
 専門分野 回路・計測分野
 応募資格 博士の学位を有し大学院の教育研究指導が可能な方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年8月31日(土)必着
 問合先 工学部電気電子工学科電子光情報コース長 金杉昭徳
 kanasugi@mail.dendai.ac.jp
 詳細 <http://web.dendai.ac.jp/saiyo/>

●岡山大学

公募人員 准教授1名
 所 属 自然科学研究科産業創成工学専攻計算機科学講座
 専門分野 知能設計工学等の情報工学の分野
 応募資格 ①博士の学位, ②優れた研究業績, ③研究室運営の熱意
 着任時期 平成26年1月1日以降のなるべく早い時期
 応募締切 平成25年9月20日(金)必着
 問合先 計算機科学講座主任 太田 学
 TEL [086] 251-8174, ohta@suri.cs.okayama-u.ac.jp
 詳細 <http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/bosyu/kyoiku/kyoiku.html>

●八戸工業高等専門学校

募集人員 電気情報工学科 教授2名
 専門分野 電気電子工学全般(特に, エネルギー変換, パワーエレクトロニクス, 磁気応用)1名
 情報工学全般(特に, 情報通信, 組み込みシステム・センサ応用, VLSI応用)1名
 応募締切 平成25年9月30日(月)必着
 問合先 電気情報工学科長 工藤隆男
 TEL [0178] 27-7279, tkudoh-e@hachinohe-ct.ac.jp
 詳細 <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

 ◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧ください。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainbosshu.html>

◎次回締切 9月号掲載分 平成25年7月25日(木)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL: <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanbosshu.html>

——各種証明, 閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では, 各種の証明, 閲覧について, 下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお, 突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので, 必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は, TEL [03] 3433-6692

種 類	内 容	料 金 (税 込)	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200円/件 非会員 500円/件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300円/冊 コピー 10円/枚	料金は1冊(綴)ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は, 非会員の料金となります。

——銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）口座
自動引落しの割引特典のお知らせ——

銀行／ゆうちょ銀行（郵便局）の口座からの会費の自動引落し
が選ばれますと、次年度基本会費から、5%割引になる特典がご
ざいます。

手続きの詳細は下記の URL を御参照下さい。

—<http://www.ieice.org/jpn/service/kaihishiharai/koza.html>

なお、新規にお申込みを希望される方、また口座の変更を行う
方は 10月1日までに依頼書を事務局宛にて御送付下さい。

——論文誌の冊子体の廃止について——

本会では、1999年8月から論文誌の電子的公開を開始し、
2006年4月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオ
ンライン版とし、冊子体はオプションとしております。また、
2009年4月からは特殊員の皆様に対し、サイトライセンスを開
始してきました。これらにより、近年オンライン版での閲覧が定
着し、オプションとして冊子体を希望される方は減少しており
ます。

一方、現在、電子情報通信学会・横断システム (IEICE
Knowledge Discovery (略称：I-Scover)) などの新たなシステ
ムの構築、会員管理システム刷新、既存の論文査読／公開システ
ムの更改などを行っており、利用者の皆様のサービス向上及びオ
ンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めてい
るところです。

少子化等により会員数が漸減していく中で、今後も引き続き学

会活動を持続可能なものにしていくために、リソースの集中を図
ることが必要になっております。

その一環として、論文誌の冊子体を2014年4月号から廃止す
ることが2013年4月15日の理事会で決定されました。これまで
冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても、今後はオ
ンライン版の御活用をお願い致します。

御不便をおかけしますが、何とぞ御理解のほどよろしくお願
い申し上げます。

なお、論文誌の別刷は引き続き作成致します。

——平成25年7月号及び8月号
和・英論文誌特集・小特集テーマ——
和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

8月号 [和文] 電子情報通信分野における萌芽的研究

(通信ソサイエティ)

7月号 [和文] 若手研究者のためのブラッシュアップ

7月号 [英文] Internet Architectures, Protocols, and Manage-
ment Methods that Enable Sustainable Develop-
ment

8月号 [和文] 人や社会と共生するシステムを実現するネット
ワークソフトウェア

(エレクトロニクスソサイエティ)

7月号 [英文] Recent Advances in Integrated Photonic Devices
(情報・システムソサイエティ)

8月号 [和文] 画像の認識・理解

8月号 [英文] Reconfigurable Systems

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開
を開始しております。一般公開は、会員限定β版
での公開後2か月を経過した一部のコンテンツが
対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップ
ページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」
または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

——SoC 設計手法小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

SoC 設計手法小特集編集委員会

一つのチップ上に様々な機能を集積する SoC は、情報通信分野にとどまらず、社会基盤を形成する多くの分野において欠くことのできない構成部品となっています。こうした幅広い応用分野からの要求を満たすべく、SoC の一層の高集積化と異種機能の混載が進められています。同時に、社会基盤等、安全性が特に重視される応用に向けては、製造後の信頼性保証も重要となっています。そこで、今後の SoC とその応用分野の更なる発展を目的に、様々なアーキテクチャの検討、高位から物理レベルまでの回路設計手法、ライブラリ、リソグラフィー等の製造性を考慮した設計手法、更に次世代の SoC において必要となる新技術等、SoC の設計技術を対象分野とする小特集として出版 (平成 26 年 7 月号) します。皆様からの御投稿をお願い申し上げます。特に、回路とシステムワークショップでの発表論文の積極的な御投稿を期待します。

1. 対象分野

設計環境・ツール、組込みシステム、リコンフィギャラブルシステム、マルチコア・メニーコア設計、NoC 設計、システムレベル設計、IP ベース設計、動作合成・高位合成、論理合成・検証、レイアウト設計・検証、アナログ CAD、タイミング解析、テスト設計、低消費電力設計、高信頼性設計、耐雑音設計、DFM、リソグラフィー CAD

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは刷り上がり 2 ページ程度とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい。著者のうち少なくとも 1 名は本会会員である必要があります。本小特集の投稿にあたっては、次の点にも御注意下さい。

- ・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx で行えます。なお、登録の際、“Journal/Section” については “[Special-SO] Design Methodologies for System on a Chip” を選択して下さい。間違えて “[Regular-EA]” を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement (要サイン)” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を論文投稿締切日までに下記送付先 (編集幹事) まで郵便、FAX、電子メール等でお送り下さい。必ず電子投稿時に振られた Temporary ID を明記願います。
- ・初期投稿時に、編集可能な論文本体 (Word/TeX)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。
- ・条件付採録の場合、再提出期間が 7 週間程度と短いことをあらかじめ御了承下さい。
- ・採録論文数が多くなった場合には、一部次号に掲載される可能性があります。
- ・論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 9 月 12 日 (木) 必着

(電子投稿, copyright transfer, confirmation sheet 全て)

4. 書類送付先及び問合せ先

高島康裕 北九州市立大学国際環境工学部情報メディア工学科
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1-1
TEL [093] 695-3729, FAX [093] 695-3779
E-mail: takasima@kitakyu-u.ac.jp

5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ 小林和淑 (京都工繊大)

幹事 竹中 崇 (NEC), 佐藤高史 (京大), 高島康裕 (北九州市大)

委員 石原 亨 (京大), 和泉慎太郎 (神戸大), 大石亮介 (富士通研), 岡田健一 (東工大), 金本俊幾 (ルネサス), 金子峰雄 (北陸先端大), 木村晋二 (早大), 黒川 敦 (弘前大), 小平行秀 (会津大), 柴田裕一郎 (長崎大), 澁谷利行 (富士通研), 瀬戸謙修 (東京都市大), 宋 天 (徳島大), 高木一義 (京大), 高橋篤司 (東工大), 谷口一徹 (立命館大), 筒井 弘 (京大), 戸川 望 (早大), 富山宏之 (立命館大), 中武繁寿 (北九州市大), 中村祐一 (NEC), 永山 忍 (広島市大), 廣瀬哲也 (神戸大), 細川晃平 (NEC), 松本剛史 (東大), 室山真徳 (東北大), 山下 茂 (立命館大), 山田晃久 (シャープ), 弓仲康史 (群馬大), 吉川雅弥 (名城大), 渡邊貴之 (静岡県立大)

——離散数学とその応用小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

離散数学とその応用小特集編集委員会

英文論文誌 IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences では、離散数学とその応用小特集 (Special Section on Discrete Mathematics and Its Applications) を 2014 年 6 月号に掲載します。この小特集の目的は、今後ますます重要性を高めつつある離散数学とその電子情報工学分野への応用に関連する最新の研究成果を集積することにより、同分野の発展に貢献することです。下記対象分野に関するオリジナルの論文を募集しますので、奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

次に挙げる分野及びそれに関連する分野:

- ・アルゴリズム, データ構造, 計算の複雑さ
- ・グラフ, ネットワーク, マトロイド
- ・組合せ最適化
- ・並列アルゴリズム, 分散アルゴリズム
- ・離散幾何, 計算幾何, 計算代数
- ・符号理論, 暗号の基礎数論
- ・確率アルゴリズム, 数論アルゴリズム
- ・線形計画, 数値計画
- ・計算生物学, 生物情報学
- ・ペトリネット, 並行システム
- ・離散数学の応用
- ・アルゴリズム工学
- ・量子計算, 量子アルゴリズム, 量子暗号

2. 論文の執筆と取扱い

原則として、PAPER は刷り上がり 8 ページ以内、LETTER は 2 ページ以内とします。論文スタイルなどの詳細については、Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は

60日)を短縮する場合があります。採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載される場合があります。投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなくてはなりません。採録された場合、掲載別刷代をお支払い頂くことになりますので、あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿要領

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: オンライン投稿システム https://review.ieice.org/regist/regist_bqseinfo_e.aspx により、2013年9月20日(金)までに御登録・御投稿下さい。その際、“Journal/Section”の項目で、“[Special-DM] Discrete Mathematics and Its Applications”を選択して下さい。“[Regular-EA] Fundamentals”や他の特集を選択しないように御注意下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。

手順2: “Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”に必要な事項を御記入の上、2013年9月24日(火)までに、下記宛てに電子メール、FAX、郵送のいずれかの手段でお送り下さい。これらの書類がないと査読が開始されませんので御注意下さい。

送付先:

天野一幸
〒376-8515 桐生市天神町1-5-1
群馬大学大学院理工学府電子情報工学領域
TEL [0277] 30-1823, FAX [0277] 30-1801
E-mail: amano@gunma-u.ac.jp

4. 小特集編集委員会

委員長/ゲストエディタ 天野一幸(群馬大)
幹事 古賀久志(電通大), 定兼邦彦(NII)
編集委員 内澤啓(山形大), 宇野毅明(NII), 大館陽太(北陸先端大), 岡本吉央(電通大), 河内亮周(東工大), 河村彰星(東大), 来嶋秀治(九大), 小柴健史(埼玉大), 塩浦昭義(東北大), 渋谷哲朗(東大), 田中圭介(東工大), 玉置卓(京大), 垂井淳(電通大), 藤澤克樹(中大), 中野眞一(群馬大), 牧野和久(京大), 満保雅浩(金沢大), 水木敬明(東北大), 巳波弘佳(関西学院大)

——若手研究者のための未来開拓特集

(和文論文誌B) 論文募集——

若手研究者のための未来開拓特集編集委員会

ますます厳しくなる通信分野の国際競争において勝ち残っていくためには、若手研究者が力をつけ、活躍してくれることが望まれます。このためには、学位取得や職場でのスキルアップを目指す若手研究者を支援していくことが求められます。和文論文誌Bでは、一昨年から若手研究者に論文執筆の契機を与えることを狙いとして、若手研究者のための特集を企画してきました。今年も引き続き、和文論文誌B編集委員会の特別企画として、若手研究者による論文の特集号(2014年7月)を発行し、若手研究者に論文発表の場を提供することと致しました。

特集テーマは、技術分野を絞ることなく和文論文誌Bが対象とする技術全般を対象とします。論文の筆頭著者をおおむね40

歳以下の若手研究者・学生に限定することにより、日本における研究開発活動をより活性化させられる人材の育成・拡充の一助となることを目指すものとします。特に、優れた研究成果が得られているものの論文投稿の経験がない方、あるいは少ない方々には、是非、この機会を利用し論文発表されることを期待致します。多くの御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

(和文論文誌Bが対象とする全技術分野)

【技術領域: 基盤】 基礎理論, 電子通信エネルギー, 伝送方式・機器

【技術領域: 光】 光ファイバ, 光ファイバ伝送

【技術領域: ネットワーク】 ネットワークシステム, ネットワーク, インターネット, ネットワーク管理・オペレーション

【技術領域: 無線】 アンテナ・伝搬, 電磁環境・EMC, 無線通信技術, 地上無線通信, 放送技術, 衛星通信

【技術領域: 無線システム】 計測, 探査, 航行・誘導・制御方式, 宇宙利用システム

【技術領域: マルチメディアシステム】 マルチメディアシステム

2. 論文の執筆と取扱い

通常的一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切日: 2013年10月29日(火) 厳守

初回判定通知予定: 2013年12月下旬頃

最終判定通知予定: 2014年3月下旬頃

発行月: 2014年7月号

4. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送信されますので、メール内に記載のURLから「仮登録情報の修正/削除、電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先:

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館

5. 特集編集委員会

委員長 佐波孝彦(千葉工大)

幹事 山崎憲一(芝浦工大)

委員 通信ソサイエティ和文論文誌編集委員

6. 問合せ先

山崎憲一（芝浦工大）

TEL [03] 6722-2761 E-mail : yamaken@shibaura-it.ac.jp

——無線技術の根幹を支えるアンテナ・ 伝搬技術論文特集（和文論文誌 B）論文募集——

無線技術の根幹を支える アンテナ・伝搬技術論文特集編集委員会

MIMO 対応のスマートフォンや無線 LAN などの高速データ無線通信システムや、高画質テレビやラジオのデジタル放送、鉄道の乗車券やコンビニなどでの支払いに使用する電子マネーに代表される RFID など、無線技術が我々の社会生活に利用されている例は枚挙にいとまがありません。更に最近では、無線による機器への充電を可能とする電力伝送や、人体周辺における近距離無線ネットワークである BAN (Body Area Network) などの新しい応用技術についても盛んに検討されています。

これらのシステムを更に技術発展させてより利便性の高い無線システムを実現するため、アンテナ・伝搬関連の技術は無線技術の根幹を支えるものとして極めて重要な役割を担っています。そこで、本特集号（平成 26 年 9 月号）では、アンテナ・伝搬関連分野における最新の研究成果の論文を募集することとしました。特に企業の方、大学関係の方など、多くの皆様からの積極的な御投稿をお待ちしています。

1. 対象分野

アンテナ設計・解析・測定技術、広帯域アンテナ等各種

アンテナシステム、電磁界解析技術、伝搬チャネルの理論解析・モデル化・実験、アダプティブアレイ・MIMO などアンテナ・伝搬を活用した通信システム技術、電力伝送用アンテナ・伝搬技術、アンテナ・伝搬シミュレーション技術、その他、これらの融合技術を含むアンテナ・伝搬の関連分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常的一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。

査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切日：平成 26 年 1 月 6 日（月）厳守

最終判定予定：平成 26 年 5 月中旬

発行月：平成 26 年 9 月号

4. 投稿方法

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にア

クセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

FAX [03] 3433-6616 E-mail : wabun-b@ieice.org

※郵送時、封筒に「アンテナ・伝搬技術特集」と朱記して下さい。

5. 特集編集委員会

委員長 岩井誠人（同志社大）

幹事 笹森崇行（秋田県立大）、中野雅之（KDDI 研）

委員 有馬卓司（東京農工大）、岩井 浩（パナソニック）、北尾光司郎（NTT ドコモ）、木村雄一（埼玉大）、榊原久二男（名工大）、庄木裕樹（東芝）、野口啓介（金沢工大）、深沢 徹（三菱電機）、堀 智（小島プレス）、道下尚文（防衛大）

6. 問合せ先

中野雅之（株）KDDI 研究所

〒356-8502 ふじみ野市大原 2-1-15

KDDI 研究所無線プラットフォーム G

TEL [049] 278-7562, FAX [049] 278-7343

E-mail : m-nakano@kddilabs.jp

——エレクトロニクス分野における シミュレーション技術とその応用の 進展小特集（英文論文誌 C）論文募集——

エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術 とその応用の進展小特集編集委員会

計算機を利用したシミュレーション技術は、システムや装置、部品の設計技術の一部として極めて重要な役割を果たし、また様々なリスクや安全性の予測にも力を発揮しています。本会においてもマイクロ波、光、電子デバイスなどのシミュレーション技術は共通的な基盤技術として位置付けることができ、独創的なアイデアを定量的に検証し付加価値の高い研究成果へと結実させる道具としても必要不可欠です。一方で、シミュレーションの対象の複合化や規模の拡大、精度や効率の向上は年々進歩を遂げつつあります。そこで今回、「シミュレーション」というエレクトロニクス分野の共通的なテーマに関する最先端の研究成果を集め、最近の進展状況を俯瞰できるような特集として、「エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術とその応用の進展」小特集 “Special Section on Recent Advances in Simulation Techniques and Their Applications for Electronics”（平成 26 年 7 月号）の発行を企画しました。皆様からの積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術に関する

論文を広く募集します。主な分野は以下のとおりですが、これに限定するものではありません。

電子工学一般に関するシミュレーション技術・技法（電磁波、回路、半導体、システムなど）／シミュレーション高速化技術／シミュレーションの高精度化技術／複合シミュレーション技術／モデル化・最適化手法／既存シミュレータの比較検証（規範問題の提示など）／シミュレータ向け共通プラットフォーム技術／技術教育用電磁界解析シミュレータの構築／その他

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集では PAPER と BRIEF PAPER を募集します。掲載ページ数は刷り上がり PAPER：8 ページ、BRIEF PAPER：4 ページ以内を原則とします。論文の形式等の執筆の詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。なお、論文誌の査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1：論文の仮登録を Web ページ (https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) で行い、論文（図、表を含む）の電子ファイルをアップロードして下さい。なお、登録にあたり、“Journal/Section” は、“[Special-ES] Recent Advances in Simulation Techniques and Their Applications for Electronics” を選択して下さい。

手順 2：論文登録時に生成される著作権譲渡承諾書（Copyright Transfer and Page Charge Agreement）と仮登録確認用紙（Confirmation Sheet of Manuscript Registration）を下記まで電子メール添付、FAX、または郵送のいずれかの方法で送付して下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取り下げになることがあります。

4. 論文投稿締切 平成 25 年 9 月 27 日（金）必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

大貫進一郎 日本大学理工学部電気工学科
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14
TEL [03] 3259-0783, FAX [03] 3259-0762
E-mail: ohnuki.shinichiro@nihon-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

編集委員長 柴田随道（NTT）
編集幹事 大貫進一郎（日大）
編集委員 池田奈美子（NTT）、齊藤晋聖（北大）、柴山 純（法政大）、陳 春平（神奈川大）、辻 寧英（室蘭工大）、藤田和広（富士通）、馬 哲旺（埼玉大）、Tuptim Angkaw (Chulalongkorn Univ.)、Yih-Peng Chiou (National Taiwan Univ.)、Eng Leong Tan (Nanyang Technological Univ.)

【重要なお知らせ】 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——インターネット技術とその応用特集

(和文論文誌 D) 論文募集——

インターネット技術とその応用特集編集委員会

インターネットは、様々なサービスや活動の基盤として、社会を大きく変化させる原動力としてこれまで力強く発展してきました。更には、大規模災害等において重要なライフラインの役割も果たすなど、なくてはならない社会基盤としての地位を確立しています。その一方で、スマートフォンに代表されるコンピュータの小形化、高性能化に伴い、マルウェアや標的型攻撃による情報漏えいにより社会基盤としての安全性についての課題がクローズアップされています。社会基盤であるインターネットを豊かな社会生活や新しい産業の創出のために活用することを可能にする取組みも重要な課題となっています。インターネットを持続的に発展させ、これら社会的課題に応えることを目的として、インターネット技術とその応用に関連する最新のアイデアや取組み／成果を集め、広く共有して議論すべくインターネット技術とその応用特集（平成 26 年 6 月号）を企画致しました。皆様からの積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

以下のようなテーマを含め、これらに限らず広くインターネット技術とその応用に関連する分野の論文を積極的に御投稿頂きたく、期待しております。

- ・インターネットの計測・分析・評価と管理
- ・ネットワーク構築・運用・管理手法
- ・ネットワークアーキテクチャ・プロトコルと制御
- ・モバイル／ユビキタス／アドホックネットワーク技術
- ・オーバレイネットワーク技術とアプリケーション
- ・ネットワークエージェント技術
- ・コラボレーション技術、グループウェア、テレプレゼンス
- ・分散・グリッド・クラウドコンピューティング技術、仮想化技術
- ・リッチクライアント、マッシュアップ技術
- ・デジタルコンテンツ流通基盤としてのインターネット関連技術
- ・マルチメディア通信技術、QoS 管理技術
- ・インターネットにおけるセキュリティ対策技術と運用
- ・認証基盤技術とその応用
- ・インターネットを活用した環境保護
- ・教育、医療、福祉、災害対策、地球環境保全などの社会的活動に関わるインターネット活用手法
- ・流通／経済インフラとしてのインターネット活用手法
- ・インターネットの応用と情報倫理
- ・その他インターネット技術とその応用に関連する分野

2. 論文の執筆と取扱い

・論文（通常の一般論文）及びサーベイ論文を募集致します。それぞれのページ数など詳細な規定に関しては「和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html」を御参照下さい。特にサーベイ論文に関しては、積極的な御投稿をお待ちしております。

・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

下記 URL から登録を行って下さい。本特集では電子投稿のみ受け付けます。投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイル

を登録して下さい。仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx

【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

4. 投稿締切日 平成 25 年 9 月 2 日 (月) 厳守

5. 問合せ先

樋地正浩 東北大学
TEL [022] 217-6273, E-mail: hiji@econ.tohoku.ac.jp

6. 特集編集委員会

委員長 中村 豊 (九工大)
幹事 吉田健一 (筑波大), 樋地正浩 (東北大)
委員 池部 実 (大分大), 市川晃平 (奈良先端大), 臼井健 (KDDI 研), 衛藤将史 (NICT), 高倉弘喜 (名大), 伊達 進 (阪大), 友石正彦 (東工大), 野林大起 (九工大), 松浦知史 (奈良先端大), 宮地利幸 (NICT)

——「画像の認識・理解」特集

(和文論文誌 D) 論文募集——

画像の認識・理解特集編集委員会

「画像の認識・理解シンポジウム」は、情報・システムソサイエティパターン認識・メディア理解研究専門委員会と情報処理学会 CVIM 研究会が主催・共催している、当該分野の中心的な国内シンポジウムです。この「画像の認識・理解」特集の目的は、同シンポジウムで発表された優秀な研究成果を広く会員に伝えるとともに、画像認識・理解分野の将来を展望することにあります。

本特集 (平成 26 年 8 月号) は、投稿論文を MIRU2013 発表論文に限定しません。画像の認識・理解に関する和文の論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さい。なお、MIRU2013 に採択された研究発表のうち、特に優れた 7 件程度を選出し、通常の査読プロセスを経て採録に至った論文を「MIRU2013 推薦論文」として掲載します。

【注意】 情報処理学会 CVA Express として掲載された論文は学術雑誌論文になりますので、同一の内容をそのまま本特集に投稿することはできません (二重投稿の疑義がかかります)。発展させた内容を投稿した場合、CVA Express として掲載された論文からの差分のみで論文を評価することになります。

1. 対象分野

A. 幾何学的解析, 光学的解析, トラッキングとオプティカルフロー

A1: カメラ・幾何学的キャリブレーション A2: 多視点幾何 A3: Structure from motion/SLAM A4: ステレオ (二眼・多眼) A5: 照度差ステレオ A6: レンジファインダ (能動的手法) A7: 自由視点画像生成 A8: 三次元形状処理 A9: マッチング A10: 不変特徴量 A11: 統計的方法 A12: 最適化手法 A13: 照明・反射の解析 A14: 色彩解析 A15: レンダリング A16: 撮影原理・装置 A17: 対応点探索・特徴点追跡 A18: 移動体の追跡 A19: オプティカルフロー

B. パターン認識, 文書処理

B1: 特徴抽出 B2: 特徴選択 B3: 固有空間法 B4: カーネル法 B5: 識別理論 B6: 統計的学習 B7: 教師なし学習 B8: クラスタリング B9: 最近傍探索 B10: 事例ベース処理 B11: モンテカルロ法 B12: 時系列解析 B13: 物体検出 B14: 物体認識 B15: マルチモーダル処理・認識 B16: タグ・テキスト情報・位置情報 B17: Web マイニング B18: 文字認識 B19: 文書解析・文書理解

C. メディア処理, 映像処理

C1: 実世界適用・実時間処理 C2: 大規模画像・映像データ C3: 発話解析・マルチモーダル C4: インタラクション解析・アノテーション C5: 画像・映像検索 C6: 超解像画像生成 C7: 画像復元・修復 C8: 画質改善 C9: イメージモザイク C10: 画像領域分割 C11: 特徴量 (SIFT, HOG 等) C12: 対象領域抽出 C13: 変化・異常検出 C14: モルフォロジー

D. VR, HCI, ロボットビジョン, メディカル応用

D1: 拡張現実感・複合現実感 D2: テレプレゼンス・テレプレゼンス D3: 立体視・立体表示・三次元 UI D4: HCI, CSCW D5: マルチモーダルインタフェース D6: ウェアラブル・ユビキタスコンピューティング D7: 視聴覚融合・視触覚融合 D8: サーベイランス・侵入検知・異常検知 D9: ヒューマン計測・認証 D10: インタラクティブビジョン D11: カメラ・ディスプレイシステム D12: ロボットビジョン・ナビゲーション D13: ITS D14: 医用画像解析

2. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆要領は、通常の投稿論文と同一です。「投稿のしおり」は下記の URL で閲覧できます。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

・下記 URL から登録を行って下さい。本特集では電子投稿のみ受け付けます。仮登録の際に作成される投稿者チェックリスト並びに Copyright Transfer and Page Charge Agreement は、論文投稿締切日である平成 25 年 10 月 10 日 (木) までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx

・論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますが、あらかじめ御了承下さい。

送付先

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 10 月 10 日 (木) 厳守

4. 特集発行 平成 26 年 8 月

5. 問合せ先

特集編集委員長
池内克史 東京大学生産技術研究所
TEL [03] 5452-6242, FAX [03] 5452-6244
E-mail: ki@cvtl.iis.u-tokyo.ac.jp 及び cvtl-staff@cvtl.iis.u-tokyo.ac.jp

6. 特集編集委員会

編集委員長 池内克史 (東大)
編集副委員長 黄瀬浩一 (阪府大)
編集幹事 岡田隆三 (東芝), 阪野貴彦 (産総研), 堀田政二 (東京農工大)

編集委員 安倍 満 (デンソー IT), 石川 博 (早大), 井出一郎 (名大), 今岡 仁 (NEC), 大町真一郎 (東北大), 岡谷貴之 (東北大), 久野義徳 (埼玉大), 近藤一晃 (京大), 斎藤英雄 (慶大), 佐藤智和 (奈良先端大), 塩原守人 (富士通), 篠田浩一 (東工大), 長原 一 (九大), 馬場口 登 (阪大), 原田達也 (東大), 本谷秀堅 (名工大), 前田英作 (NTT), 増田 健 (産総研), 森 健策 (名大), 柳井啓司 (電通大)

——サイバーワールド小特集

(英文論文誌 D) 論文募集——

サイバーワールド小特集編集委員会

サイバーワールド (Cyberworlds) とは、ネットワーク接続された複数のコンピュータ上に、参加者の有無や二次元/三次元的に視覚化されるかどうかにかかわらず、意図的あるいは自然発生的に構築される情報世界若しくはコミュニティのことです。そのような実例として、異種のソーシャルネットワークサービスや、三次元の共有仮想環境、多人数が参加するオンラインゲーム上に創られるコミュニティが挙げられます。サイバーワールドは、実世界とも深い関連を持ち、実際の生活を強化するだけでなく、時には代替ともなり、現実のエコノミーの重要な構成要素になり得えます。本小特集 (平成 26 年 8 月号) の目的は、このようなサイバーワールドを実現するための最先端研究を採り上げ、関連する技術の更なる進展を加速させることにあります。

1. 対象分野

- ・ネットワーク化された共有仮想世界
- ・仮想協調空間
- ・サイバーワールドのための形状モデリング
- ・バーチャルヒューマンとインタ
- ・マルチモーダルな対話と表示
- ・拡張現実/複合現実のためのコンピュータビジョン
- ・認知情報学
- ・ブレイン・コンピュータインタフェース
- ・情動コンピューティング
- ・ソーシャルコンピューティング
- ・オンラインコミュニティ
- ・サイバーワールドにおける E-ラーニング
- ・多人数 Web ゲーム
- ・サイバースペースにおける芸術と文化, サイバー博物館
- ・サイバースペースの倫理と法律
- ・サイバーセキュリティ
- ・サイバースペースと福祉
- ・サイバースペースにおけるデータマイニングとウェアハウス
- ・サイバースペースにおけるビジュアルアナリティクス

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず "Journal/Section" で [Special-CY] Special Section on Cyberworlds を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 登録時に生成される "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" と "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 11 月 8 日 (金) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

茅 暁陽 山梨大学コンピュータ理工学科
〒400-8511 甲府市武田 4-3-11
TEL & FAX (055) 220-8652
E-mail: mao@yamanashi.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 茅 暁陽 (山梨大)

幹事 藤代一成 (慶大), 内藤 整 (KDDI 研)

委員 羽鳥好律 (東工大), 原崎秀信 (NEC), 宮崎慎也 (中京大), Alexei Sourin (Nanyang Technological University, Singapore), Lichan Hong (Google Research, USA), Hongbin Zha (北京大, 中国), Xiaogang Jin (浙江大, 中国), 中嶋正之 (Gotland University, Sweden), 宮田一乗 (北陸先端大), 伊藤貴之 (お茶の水女子大), 稲見昌彦 (慶大), 杉本麻樹 (慶大), 郷 健太郎 (山梨大), 豊浦正広 (山梨大), 細部博史 (法政大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

論文特集論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
音響学の発展を支える信号処理技術小特集	・25年7月12日(金) ・和文誌 A 26年4月号	水町光徳：九州工業大学大学院工学研究院電気電子工学専攻 E-mail：mizumach@ecs.kyutech.ac.jp	4月号	A分冊 4～6月号
Special Section on Communication Sciences and Engineering	・25年7月10日(火) ・NOLTA 26年4月号	Hiraku Okada：EcoTopia Science Institute, Nagoya University FAX [052] 789-3173 E-mail：ccs-ss-secretary2013@mail.ieice.org	5月号	
人とエージェントのインタラクション特集	・25年8月20日(火) ・和文誌 A 26年6月号	湯浅将英：湘南工科大学工学部コンピュータ応用学科 TEL [0466] 30-0215 E-mail：yuasa@sc.shonan-it.ac.jp	5月号	A分冊 5～7月号
離散数学とその応用小特集	・25年9月20日(金) ・英文誌 A 26年6月号	天野一幸：群馬大学大学院理工学府電子情報工学領域 TEL [0277] 30-1823, FAX [0277] 30-1801 E-mail：amano@gunma-u.ac.jp	7月号	A分冊 7～9月号 EA分冊 7～9月号
SoC 設計手法小特集	・25年9月12日(木) ・英文誌 A 26年7月号	高島康裕：北九州市立大学国際環境工学部情報メディア工学科 TEL [093] 695-3729, FAX [093] 695-3779 E-mail：takasima@kitakyu-u.ac.jp	7月号	A分冊 7～9月号 EA分冊 7～9月号

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
ISMICT2013 関連医療・ヘルスケアにおける情報通信技術小特集	・25年7月1日(月) ・英文誌 B 26年3月号	金ミンソク：東京工業大学大学院理工学研究科国際開発工学専攻 TEL [03] 5734-3633, FAX [03] 5734-3288 E-mail：mskim@ide.titech.ac.jp	4月号	B分冊 4～6月号 EB分冊 4～6月号
若手研究者のための未来開拓特集	・25年10月29日(火) ・和文誌 B 26年7月号	山崎憲一：芝浦工大 TEL [03] 6722-2761 E-mail：yamaken@shibaura-it.ac.jp	6月号	B分冊 6～8月号
無線技術の根幹を支えるアンテナ・伝搬技術論文特集	・26年1月6日(月) ・和文誌 B 26年9月号	中野雅之：(株)KDDI 研究所 TEL [049] 278-7562, FAX [049] 278-7343 E-mail：m-nakano@kddilabs.jp	6月号	B分冊 6～8月号

◎エレクトロニクスソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
集積回路設計技術に関する小特集	・25年7月20日(土) ・英文誌 C 26年4月号	宮野信治：(株)東芝半導体システム技術センター先端ワイヤレス・アナログ技術開発部 TEL [044] 548-2341, FAX [044] 548-8324 E-mail：shinji.miyano@toshiba.co.jp	4月号	C分冊 4～6月号 EC分冊 4～6月号
エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集	・25年8月19日(月) ・和文誌 C 26年5月号	平田晃正：名古屋工業大学大学院情報工学専攻 TEL [052] 735-7916, FAX [052] 735-7916 E-mail：ahirata@nitech.ac.jp	5月号	C分冊 5～7月号
先端半導体デバイスの基礎と応用小特集	・25年8月25日(日) ・英文誌 C 26年5月号	葛西誠也：北海道大学大学院情報科学研究科情報エレクトロニクス専攻 TEL [011] 706-6509, FAX [011] 716-6004 E-mail：kasai@rciqe.hokudai.ac.jp	6月号	C分冊 6～8月号 EC分冊 6～8月号

アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に関する小特集	・25年10月4日(金) ・英文誌 C 26年6月号	塚田敏郎：東京理科大学理工学部電気電子情報工学科 TEL [04] 7124-1501 Ext. 3756 FAX [04] 7122-5171 E-mail：tsukada.t@rs.tus.ac.jp	6月号	C分冊 6～8月号 EC分冊 6～8月号
エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術とその応用の進展小特集	・25年9月27日(金) ・英文誌 C 26年7月号	大貫進一郎：日本大学理工学部電気工学科 TEL [03] 3259-0783, FAX [03] 3259-0762 E-mail：ohnuki.shinichiro@nihon-u.ac.jp	7月号	C分冊 7～9月号 EC分冊 7～9月号

◎情報・システムソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
データ工学と情報マネジメント特集	・25年7月1日(月) ・和文誌 D 26年4月号	中島伸介：京都産業大学コンピュータ理工学部ネットワークメディア学科 E-mail：nakajima@cse.kyoto-su.ac.jp 鈴木伸崇：筑波大学図書館情報メディア系 E-mail：nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp	4月号	D分冊 4～6月号
データ工学と情報マネジメント小特集	・25年7月1日(月) ・英文誌 D 26年4月号	鬼塚 真：NTT ソフトウェアイノベーションセンター TEL [0422] 59-2820, FAX [0422] 59-2965 E-mail：onizuka.makoto@lab.ntt.co.jp	4月号	D分冊 4～6月号 ED分冊 4～6月号
フォーマルアプローチ小特集	・25年7月17日(水) ・英文誌 D 26年5月号	磯部祥尚：産業技術総合研究所セキュアシステム研究部門 FAX [029] 861-5285 E-mail：fa-submit-ml@aist.go.jp	5月号	D分冊 5～7月号 ED分冊 5～7月号
サイバーワールド特集	・25年7月30日(火) ・和文誌 D 26年5月号	原崎秀信：NEC 中央研究所 TEL [044] 431-7729, FAX [044] 431-7508 E-mail：Harasaki@bq.jp.nec.com	5月号	D分冊 5～7月号
実世界の音声情報処理のモデル化手法の進展とその応用小特集	・25年9月20日(金) ・英文誌 D 26年6月号	河井 恒：KDDI 研究所 TEL [049] 278-7432, FAX [049] 278-7510 E-mail：hi-kawai@kddilabs.jp	6月号	D分冊 6～8月号 ED分冊 6～8月号
インターネット技術とその応用特集	・25年9月2日(月) ・和文誌 D 26年6月号	樋地正浩：東北大学 TEL [022] 217-6273 E-mail：hiji@econ.tohoku.ac.jp	7月号	D分冊 7～9月号
画像の認識・理解特集	・25年10月10日(木) ・和文誌 D 26年8月号	池内克史：東京大学生産技術研究所 TEL [03] 5452-6242, FAX [03] 5452-6244 E-mail：ki@cvl.iis.u-tokyo.ac.jp 及び cvl-staff@cvl.iis.u-tokyo.ac.jp	7月号	D分冊 7～9月号
サイバーワールド小特集	・25年11月8日(金) ・英文誌 D 26年9月号	茅 暁陽：山梨大学コンピュータ理工学科 TEL [055] 220-8652, FAX [055] 220-8652 E-mail：mao@yamanashi.ac.jp	7月号	D分冊 7～9月号 ED分冊 7～9月号

IEICE Communications Express (ComEX)

投稿のご案内

IEICE Communications Express 編集委員会

通信ソサイエティでは、2012年6月にWebを用いたオンライン英文レター誌 IEICE Communications Express (ComEX)を創刊致しました。査読付き原著論文のオンラインジャーナルで、下記の特徴を有します。

- 本文 3,000 語程度, 図表 3 葉以下の簡潔フォーマット(大会の内容を海外発信するのに最適)
- 迅速な編集体制・論文公開 (約 19 日で 5 割の投稿を判定通知, 校閲を終え次第, 随時発行)
- 動画等のマルチメディアコンテンツの掲載が可能

○ 対象分野

基礎, 光, ネットワーク, 無線, 無線システム, マルチメディアシステムなど, 通信ソサイエティ英文論文誌と同一分野

詳細は, 下記 URL をご参照下さい。

<http://www.comex.ieice.org/>

○ 問合せ先

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部 (comex@ieice.org)

IEICE Communications Express 編集委員会 (2013 年 4 月 1 日現在)

編集委員長: 菊間信良(名工大)
編集副委員長: 山田寛喜(新潟大), 太田能(神戸大)
編集委員: 大槻知明(慶大), 上山憲昭(NTT), 関口高志(三菱電機),
関屋大雄(千葉大), 関谷勇司(東大), 太郎丸真(福岡大),
長谷川幹雄(東京理科大), 原井洋明(NICT), 萬代雅希(上智大),
藤元美俊(福井大), 山口良(ソフトバンクモバイル),
松本隆太郎(東工大), 米永一茂(NTT), Jian Yang(清華大)

アドバイザーメンバ(国内):
青山友紀(慶大), 井上友二(トヨタ IT 開発センター), 酒井善則(放送大),
吉田進(京大)

アドバイザーメンバ(海外):
Vijay K. Bhargava (The University of British Columbia, Canada) ,
Nevil Brownlee (The University of Auckland, New Zealand) ,
Serge Fdida (Pierre and Marie Curie University, France) ,
Lajos Hanzo (University of Southampton, UK) ,
Jim Kurose (University of Massachusetts, USA) ,
Kyeong-Sik Min (Korea Maritime University, Korea) ,
Toshio Morioka (Technical University of Denmark, Denmark) ,
Theodore S. Rappaport (New York University, USA) ,
Raymond Wai-Ho Yeung (The Chinese University of Hong Kong, China)